

天栄中学校区における学校規模適正化・  
適正配置に関するアンケート調査

集 計 結 果

令和2年6月  
鈴鹿市教育委員会

# 目 次

第1章 調査の概要	1
-----------	---

## 第2章 調査結果

1 回答者属性	2
2 求められる教育環境について	3
3 複式学級発生の予測がある小学校への対応について	4
4 複式学級に関して、心配なことについて	5
5 統廃合や小中一貫校に関して、心配なことについて	6
6 校区別集計	7
7 年代別集計	22
8 今後の小学校のあり方に関する自由意見（抜粋）	40

## 資料編

アンケート調査票等	69
-----------	----

# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的

このアンケート調査は、合川小学校と天名小学校において、2024年度から2026年度にかけて複式学級が発生する予測があることから、「鈴鹿市学校規模適正化・適正配置に関する基本方針」に基づき、両小学校を含む天栄中学校区の地域住民や保護者の皆様の意向把握を行い、今後の天栄中学校区における小学校のあり方について、早期の検討へつなげることを目的として実施しました。

## 2 調査対象者

天栄中学校区の地域住民，天栄中学校区の各小中学校の保護者

## 3 アンケート調査用紙の配布方法及び配布部数

- (1) 「広報すずか」(11月5日号)の配布時に合わせて、天栄中学校区にお住まいの各世帯に配布(配布部数4,305部)。
- (2) 天栄中学校区の各小中学校を通して、児童生徒の保護者に配布(配布部数1,054部)。

※当アンケート調査は個人での回答を想定しており、一世帯あたり一回答と限っていない。上記の配布方法以外に、地区市民センターにもアンケート調査用紙を設置し、また、スマートフォン等を利用したインターネットによる回答も可能とした。

## 4 回答状況

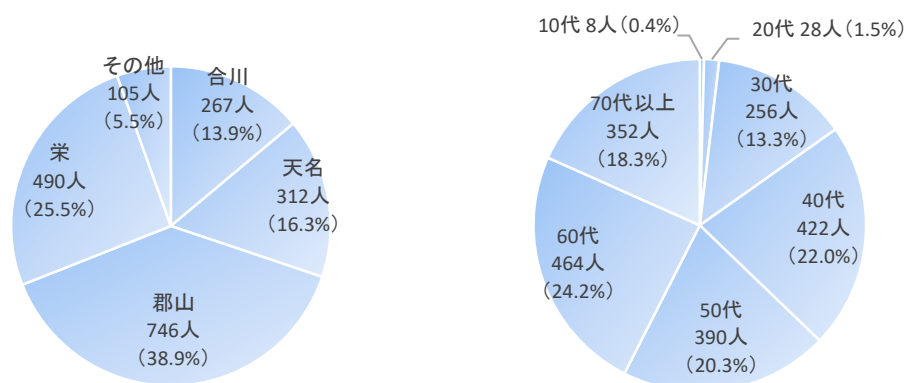
アンケート調査用紙による回答	1,682件
インターネットによる回答	238件

## 第2章 調査結果

### 1 回答者属性

#### ○居住区別割合, 年代別割合 (問1, 問2)

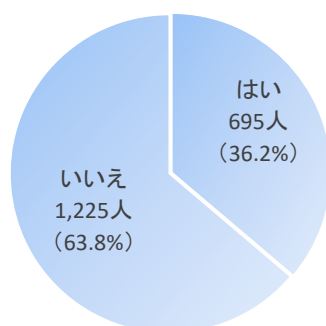
回答者が居住する小学校区の割合をみると、「合川」267人(13.9%),「天名」312人(16.3%),「郡山」746人(38.9%),「栄」490人(25.5%),「その他」105人(5.5%)となりました。年代については、「10代」8人(0.4%),「20代」28人(1.5%),「30代」256人(13.3%),「40代」422人(22.0%),「50代」390人(20.3%),「60代」464人(24.2%),「70代以上」352人(18.3%)となりました。



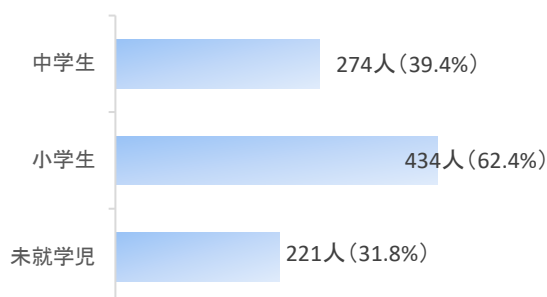
#### ○中学生以下のお子さんの有無について (問3)

回答者のうち、695人(36.2%)が中学生以下のお子さんをお持ちで、お子さんの属性は「中学生」274人(39.4%),「小学生」434人(62.4%),「未就学児」221人(31.8%)となっています。

##### ・中学生以下のお子さんはいませんか



##### ・「はい」と答えた方におけるお子さんの属性

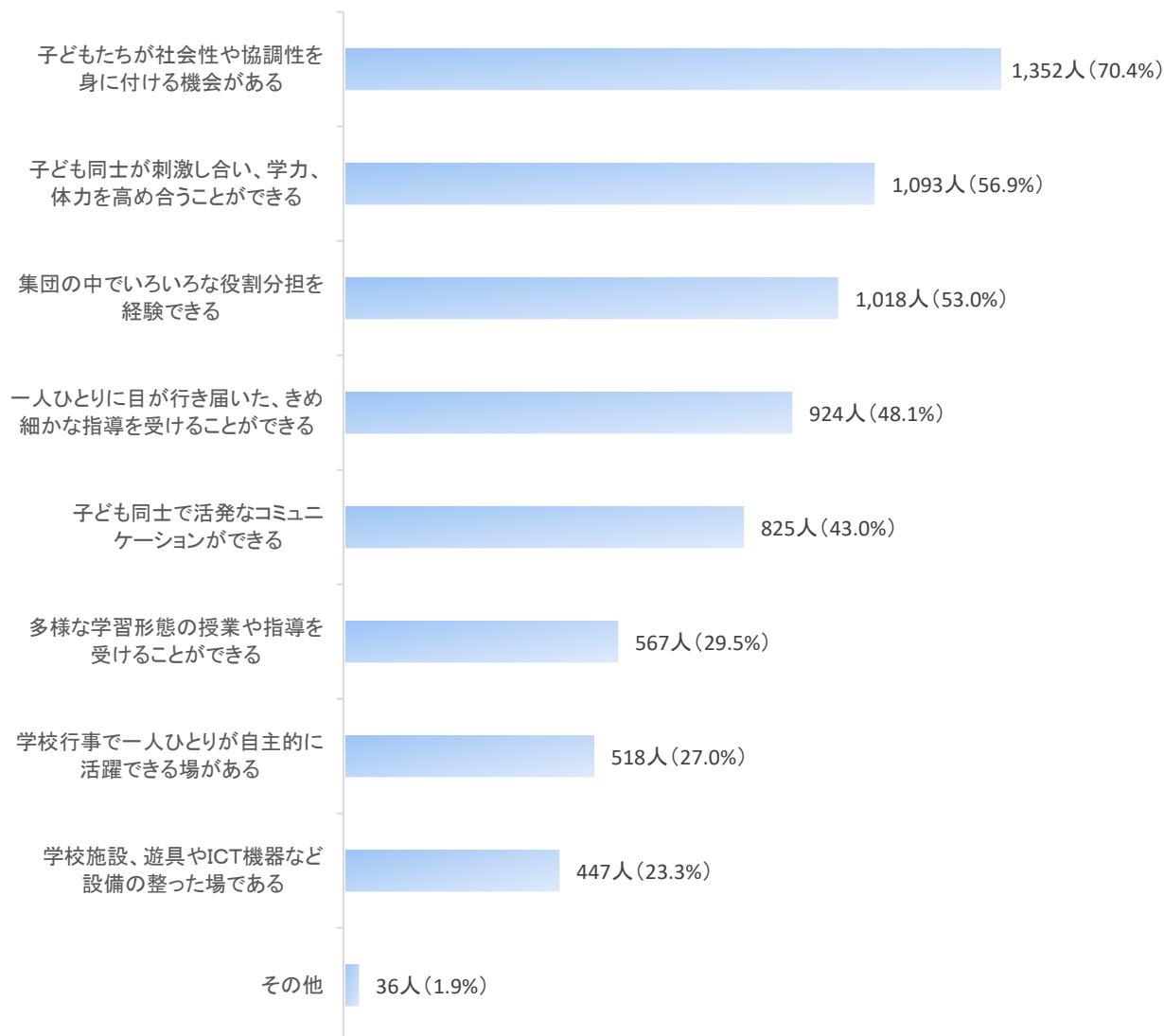


※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

## 2 求められる教育環境について

○学校規模適正化・適正配置を考える上で、特にどのような教育環境を求めますか（問4）

選択回答のうち最も多かったのは「子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある」で、1,352人（70.4%）、続いて「子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる」が1,093人（56.9%）、「集団の中でいろいろな役割分担を経験できる」が1,018人（53.0%）となっています。

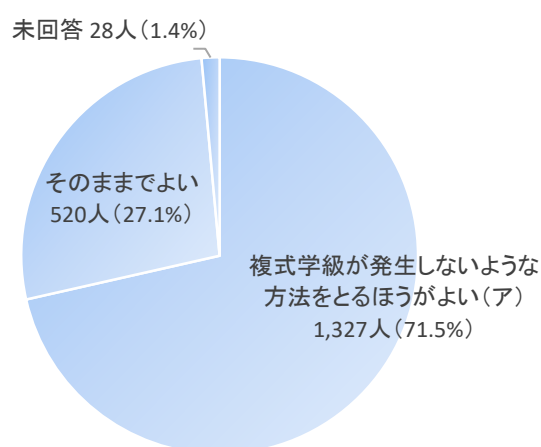


※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

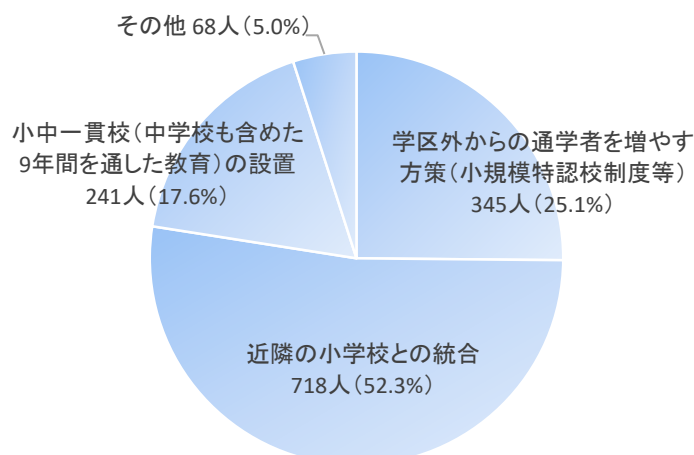
### 3 複式学級発生の予測がある小学校への対応について

○児童数が少なく、複式学級発生の予測がある小学校について、どう考えますか（問5）

「複式学級が発生しないような方法をとるほうがよい（ア）」1,327人（71.5%）, 「そのままよい」520人（27.1%）, 「未回答」28人（1.4%）となりました。



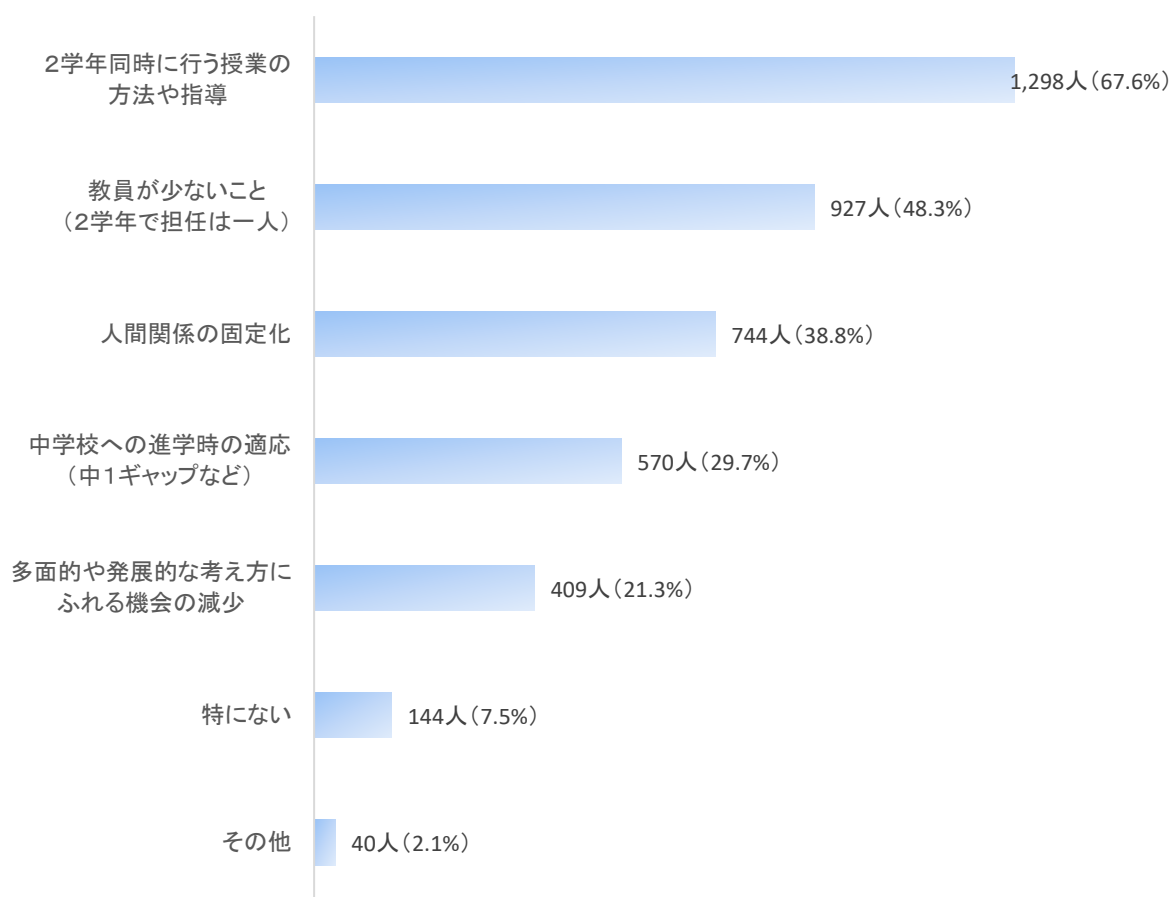
また、上記（ア）の具体的な方法については、「学区外からの通学者を増やす方策（小規模特認校制度等）」345人（25.1%）, 「近隣の小学校との統合」718人（52.3%）, 「小中一貫校（中学校も含めた9年間を通した教育）の設置」241人（17.6%）, 「その他」68人（5.0%）となりました。



## 4 複式学級に関して、心配なことについて

### ○複式学級に関して、心配なことは何ですか（問6）

選択回答のうち最も多かったのは「2学年同時に行う授業の方法や指導」で1,298人（67.6%）、続いて「教員が少ないこと（2学年で担任は一人）」が927人（48.3%）、「人間関係の固定化」が744人（38.8%）となっています。

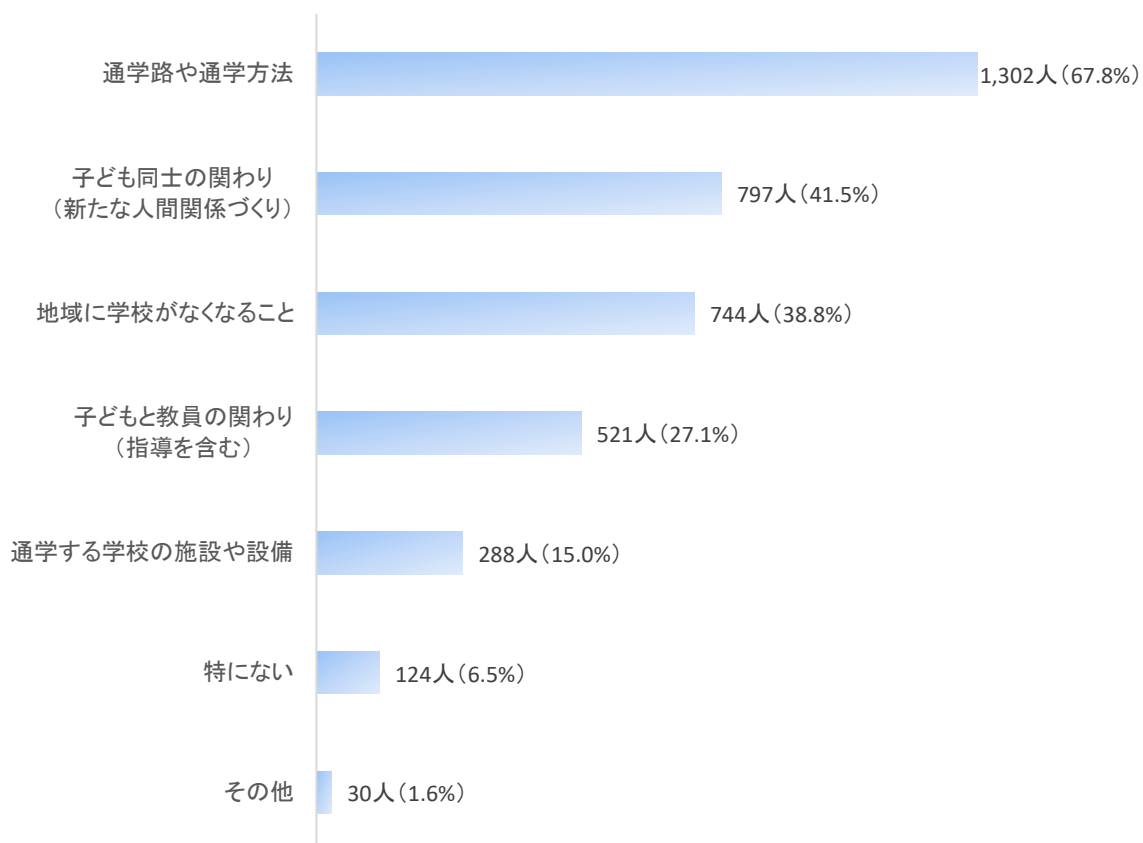


※複数選択可能なため、合計は100%にはなりません。

## 5 統廃合や小中一貫校に関して、心配なことについて

○学校のあり方が変わること（統廃合や小中一貫校）に関して、心配なことは何ですか（問7）

選択回答のうち最も多かったのは「通学路や通学方法」で1,302人（67.8%）、続いて「子ども同士の関わり（新たな人間関係づくり）」が797人（41.5%）、「地域に学校がなくなること」が744人（38.8%）となっています。



※複数選択可能のため、合計は100%にはなりません。

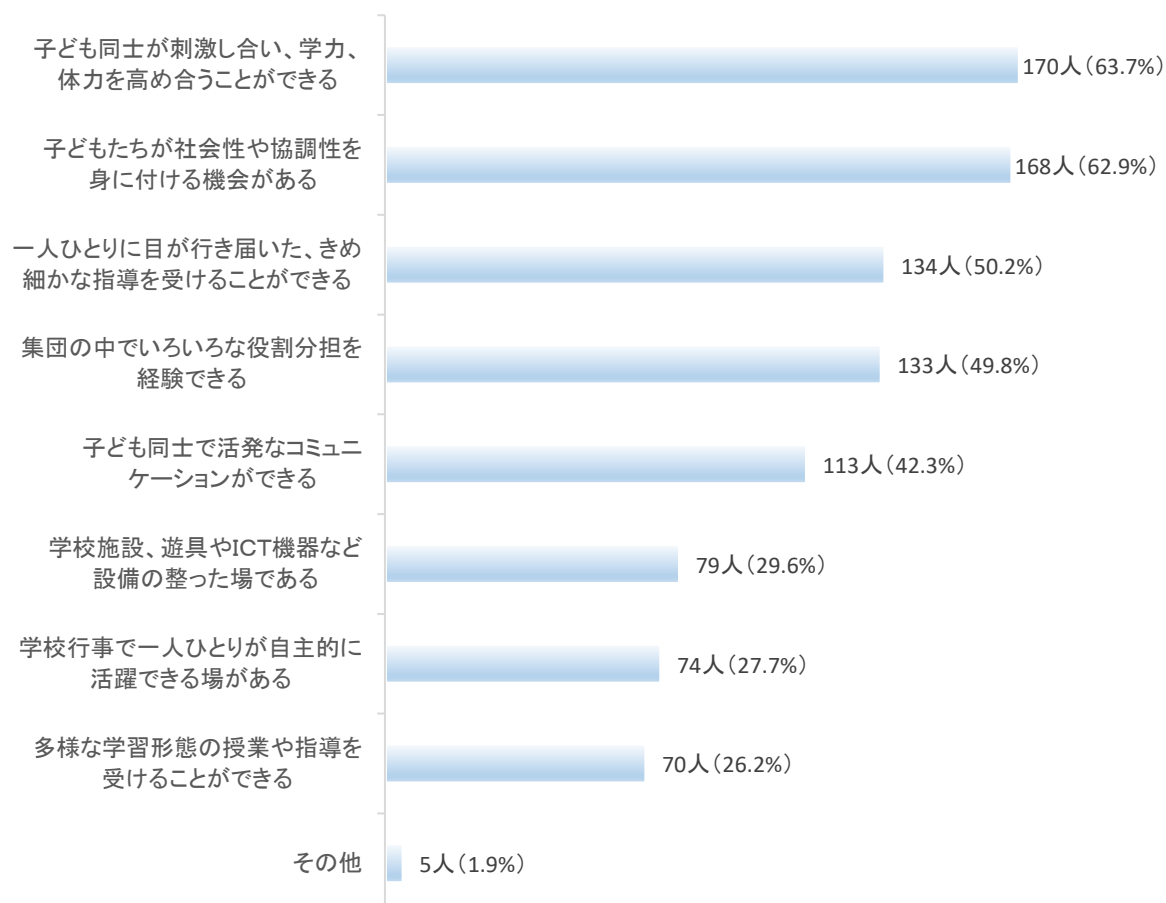


## 6 校区別集計

### (1) 合川小学校区 (回答数：267件)

○学校規模適正化・適正配置を考える上で、特にどのような教育環境を求めますか (問4)

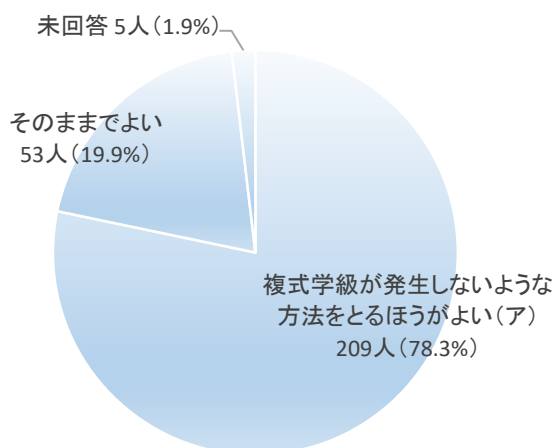
選択回答のうち最も多かったのは「子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる」で170人(63.7%)、続いて「子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある」が168人(62.9%)、「一人ひとりに目が行き届いた、きめ細かな指導を受けることができる」が134人(50.2%)となっています。



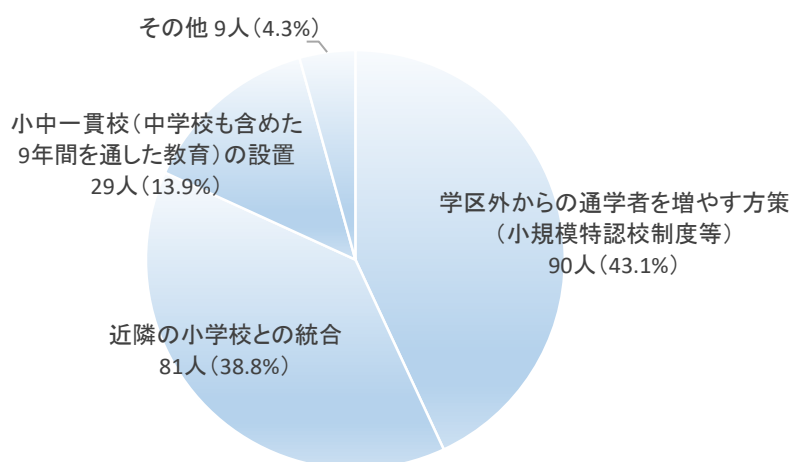
※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

○児童数が少なく複式学級発生の予測がある小学校について、どうお考えですか（問5）

「複式学級が発生しないような方法をとるほうがよい（ア）」209人（78.3%）,「そのままよい」53人（19.9%）,「未回答」5人（1.9%）となりました。

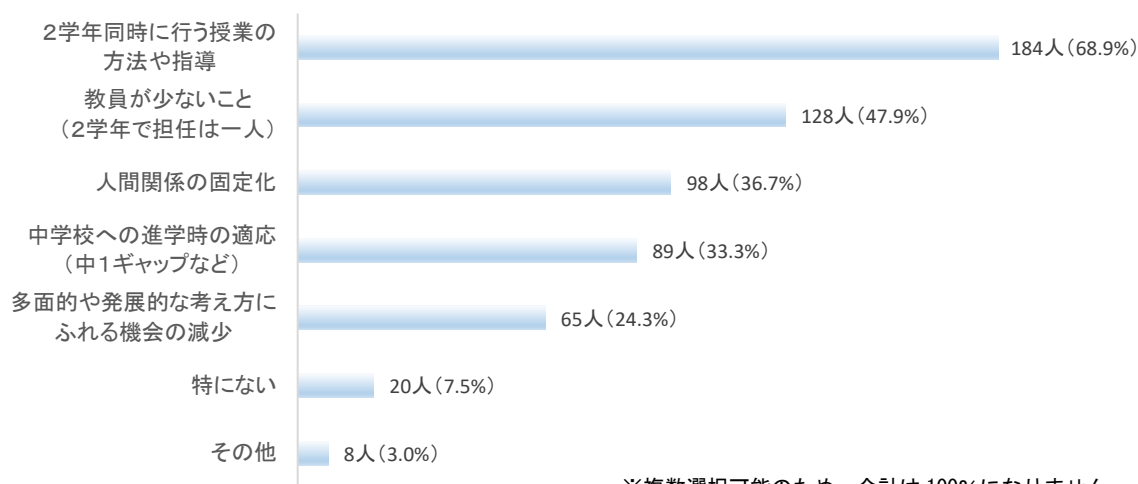


また、上記（ア）の具体的な方法については、「学区外からの通学者を増やす方策（小規模特認校制度等）」90人（43.1%）,「近隣の小学校との統合」81人（38.8%）,「小中一貫校（中学校も含めた9年間を通した教育）の設置」29人（13.9%）,「その他」9人（4.3%）となりました。



## ○複式学級に関して、心配なことは何ですか（問6）

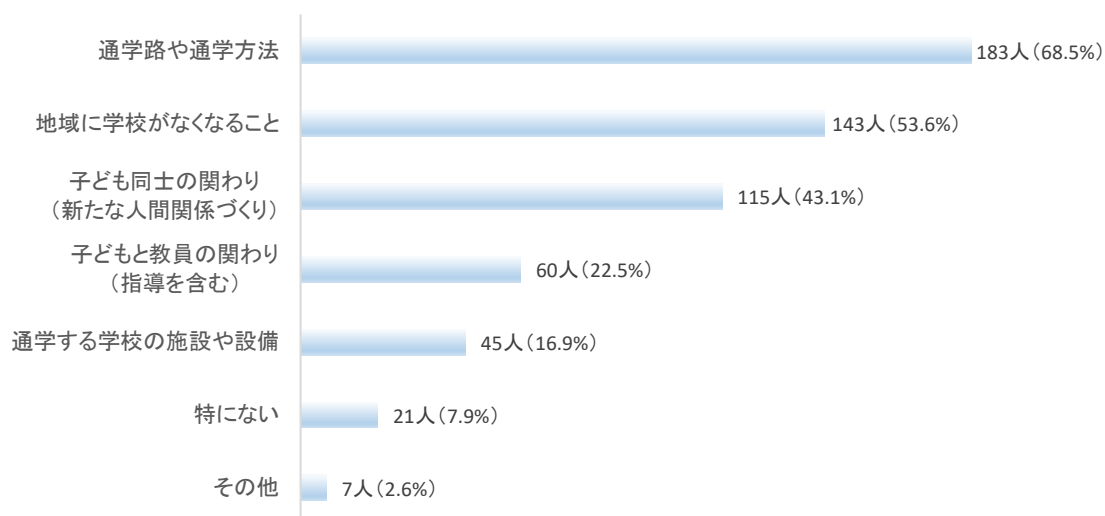
選択回答のうち最も多かったのは「2学年同時に行う授業の方法や指導」で184人（68.9%）、続いて「教員が少ないこと（2学年で担任は一人）」が128人（47.9%）、「人間関係の固定化」が98人（36.7%）となっています。



※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

## ○学校のあり方が変わること（統廃合や小中一貫校）に関して、心配なことは何ですか（問7）

選択回答のうち最も多かったのは「通学路や通学方法」で183人（68.5%）、続いて「地域に学校がなくなること」が143人（53.6%）、「子ども同士の関わり（新たな人間関係づくり）」が115人（43.1%）となっています。

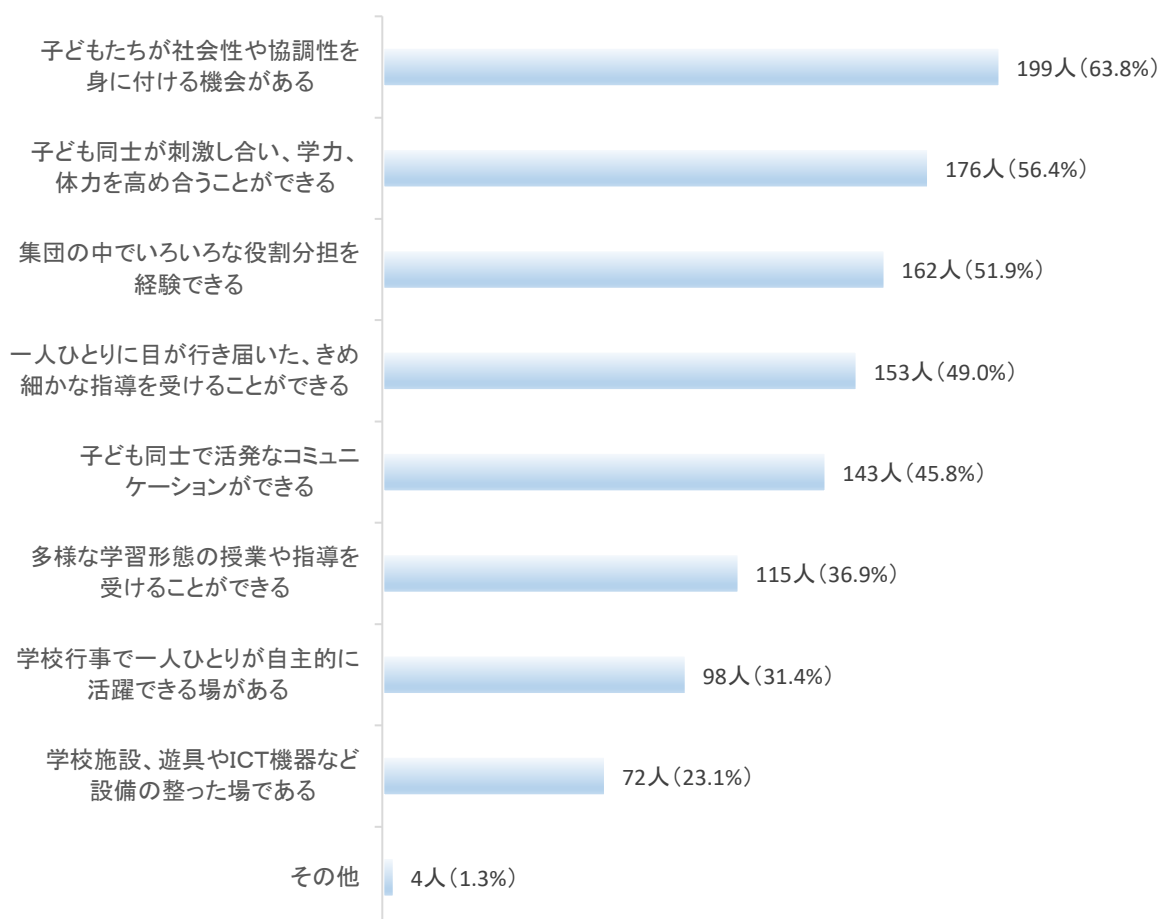


※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

## (2) 天名小学校区 (回答数：312件)

○学校規模適正化・適正配置を考える上で、特にどのような教育環境を求めますか (問4)

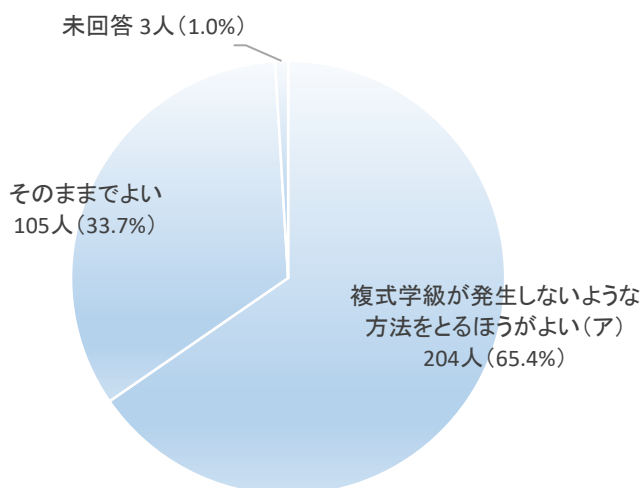
選択回答のうち最も多かったのは「子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある」で199人(63.8%)、続いて「子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる」が176人(56.4%)、「集団の中でいろいろな役割分担を経験できる」が162人(51.9%)となっています。



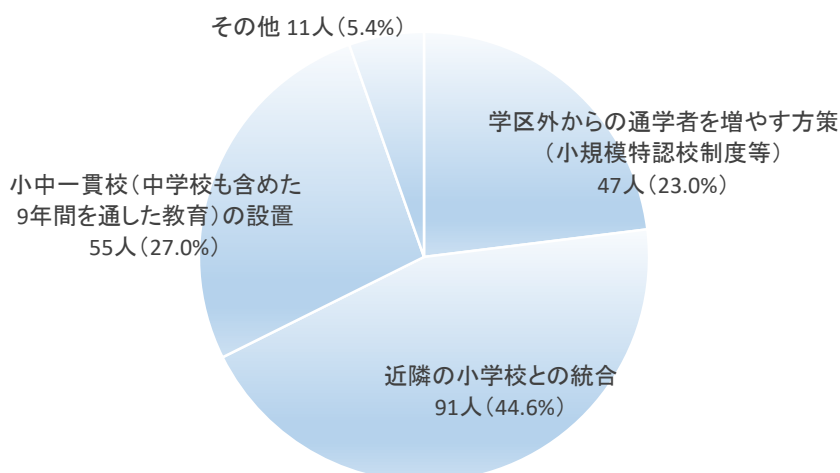
※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

○児童数が少なく複式学級発生の予測がある小学校について、どうお考えですか（問5）

「複式学級が発生しないような方法をとるほうがよい（ア）」204人（65.4%）,「そのままよい」105人（33.7%）,「未回答」3人（1.0%）となりました。

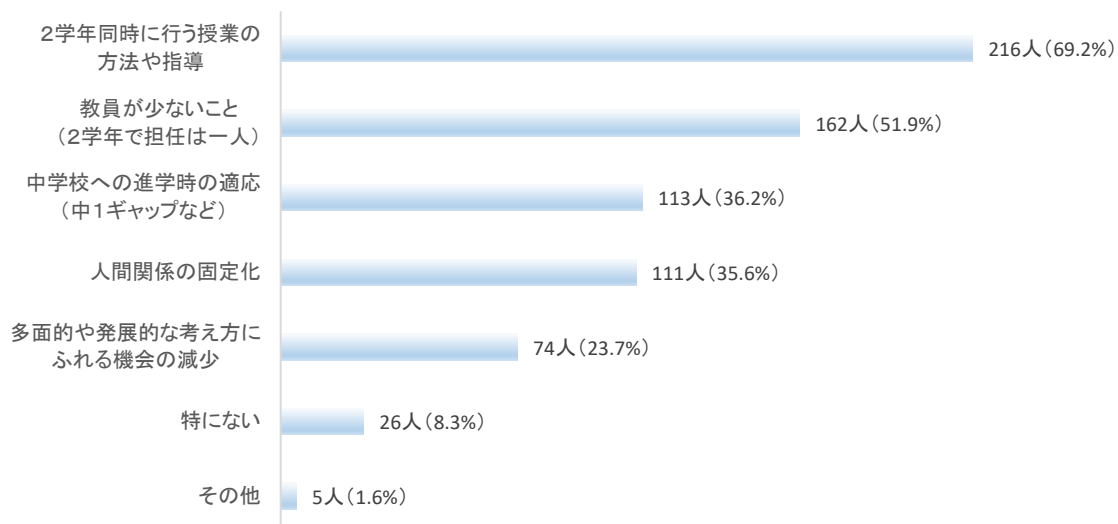


また、（ア）の具体的な方法については、「学区外からの通学者を増やす方策（小規模特認校制度等）」47人（23.0%）,「近隣の小学校との統合」91人（44.6%）,「小中一貫校（中学校も含めた9年間を通した教育）の設置」55人（27.0%）,「その他」11人（5.4%）となりました。



## ○複式学級に関して、心配なことは何ですか（問6）

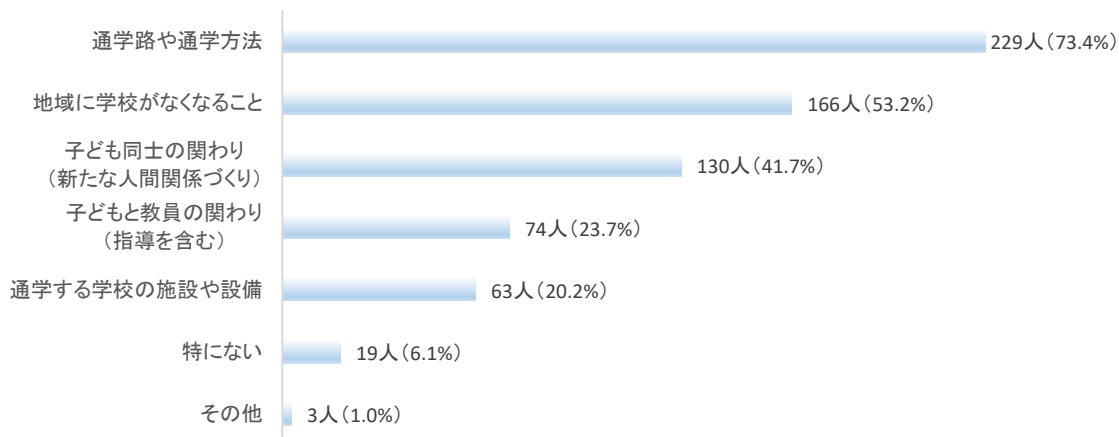
選択回答のうち最も多かったのは「2学年同時に行う授業の方法や指導」で216人（69.2%）、続いて「教員が少ないこと（2学年で担任は一人）」が162人（51.9%）、「中学校への進学時の適応（中1ギャップなど）」が113人（36.2%）となっています。



※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

## ○学校のあり方が変わること（統廃合や小中一貫校）に関して、心配なことは何ですか（問7）

選択回答のうち最も多かったのは「通学路や通学方法」で229人（73.4%）、続いて「地域に学校がなくなること」が166人（53.2%）、「子ども同士の関わり（新たな人間関係づくり）」が130人（41.7%）となっています。

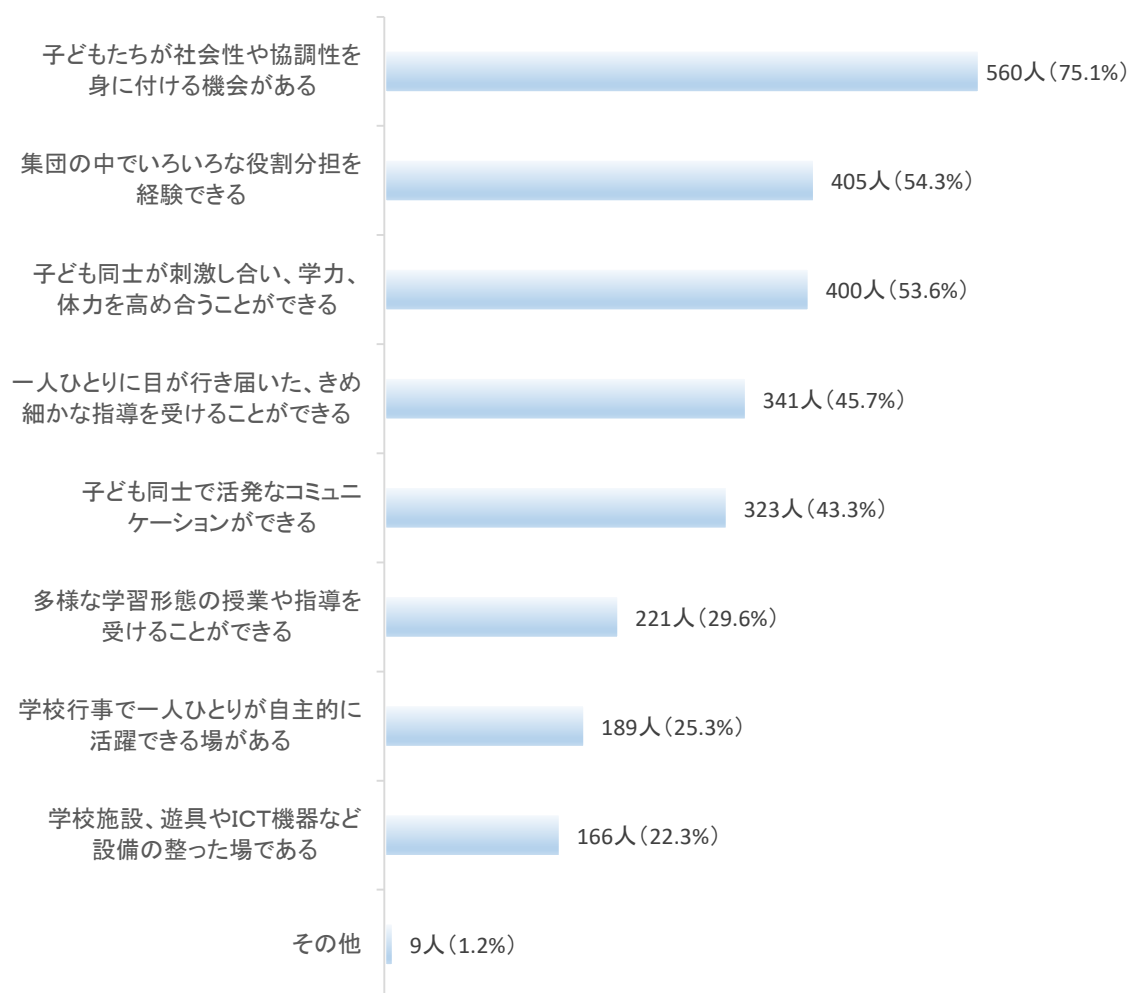


※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

### (3) 郡山小学校区 (回答数：746件)

○学校規模適正化・適正配置を考える上で、特にどのような教育環境を求めますか (問4)

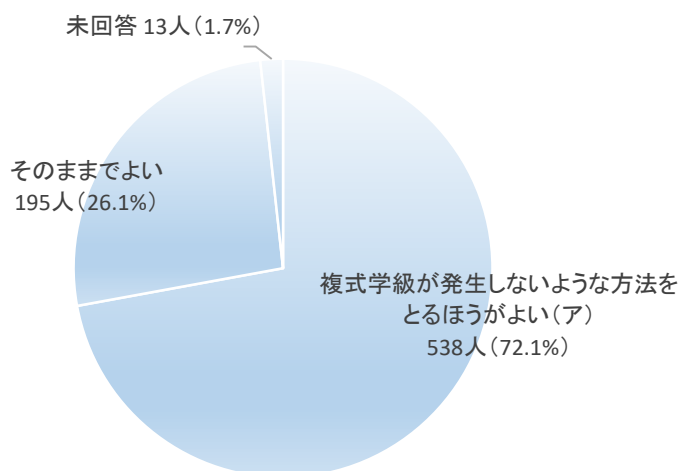
選択回答のうち最も多かったのは「子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある」で560人(75.1%)、続いて「集団の中でいろいろな役割分担を経験できる」が405人(54.3%)、「子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる」が400人(53.6%)となっています。



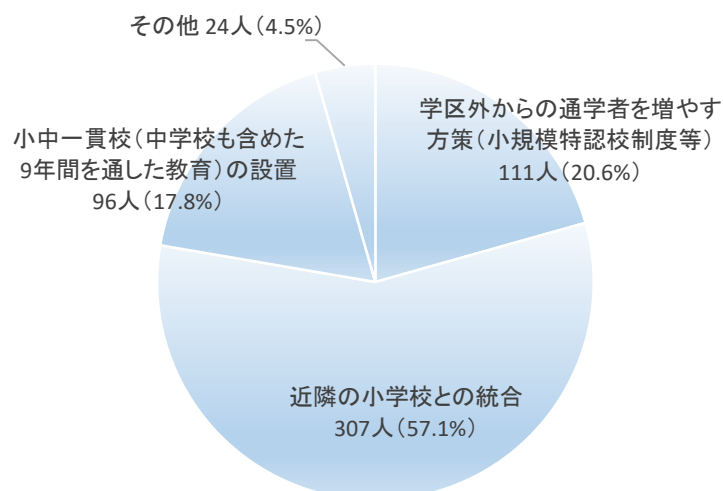
※複数選択可能なため、合計は100%になりません。

○児童数が少なく複式学級発生の予測がある小学校について、どうお考えですか（問5）

「複式学級が発生しないような方法をとるほうがよい（ア）」538人（72.1%）,「そのままよい」195人（26.1%）,「未回答」13人（1.7%）となりました。



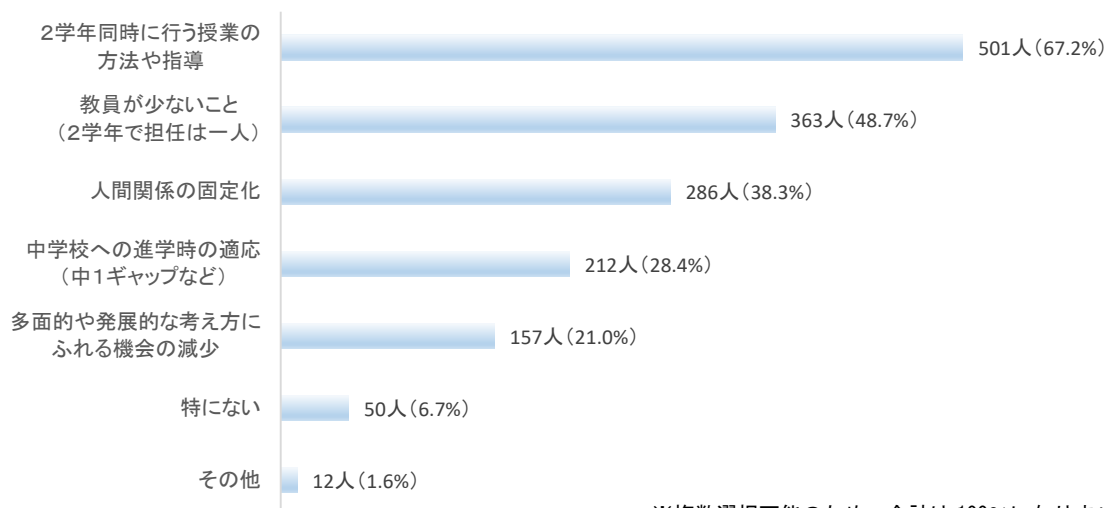
また、（ア）の具体的な方法については、「学区外からの通学者を増やす方策（小規模特認校制度等）」111人（20.6%）,「近隣の小学校との統合」307人（57.1%）,「小中一貫校（中学校も含めた9年間を通した教育）の設置」96人（17.8%）,「その他」24人（4.5%）となりました。





## ○複式学級に関して、心配なことは何ですか（問6）

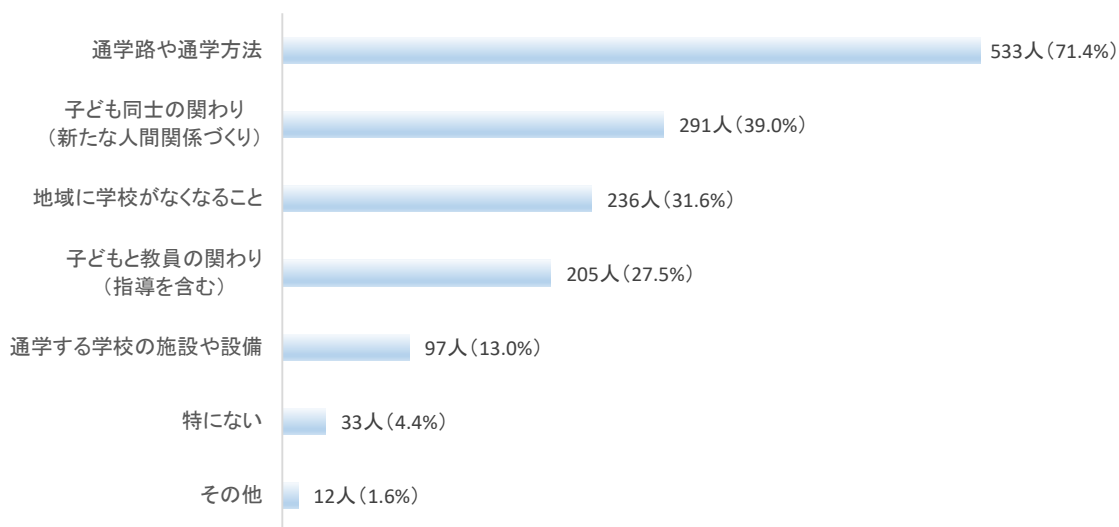
選択回答のうち最も多かったのは「2学年同時に行う授業の方法や指導」で501人（67.2%）、続いて「教員が少ないこと（2学年で担任は一人）」が363人（48.7%）、「人間関係の固定化」が286人（38.3%）となっています。



※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

## ○学校のあり方が変わること（統廃合や小中一貫校）に関して、心配なことは何ですか（問7）

選択回答のうち最も多かったのは「通学路や通学方法」で533人（71.4%）、続いて「子ども同士の関わり（新たな人間関係づくり）」が291人（39.0%）、「地域に学校がなくなること」が236人（31.6%）となっています。

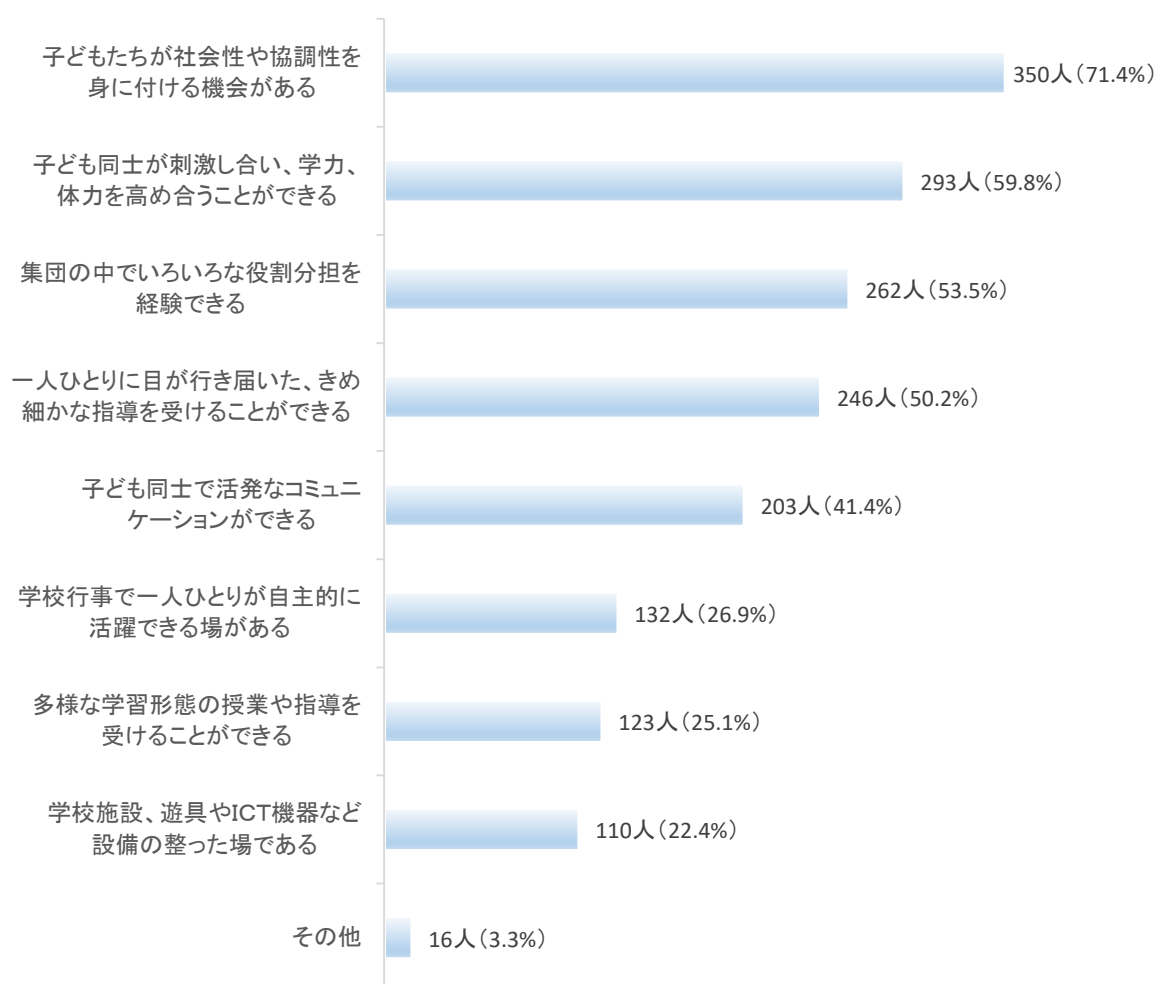


※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

#### (4) 栄小学校区 (回答数：490件)

○学校規模適正化・適正配置を考える上で、特にどのような教育環境を求めますか (問4)

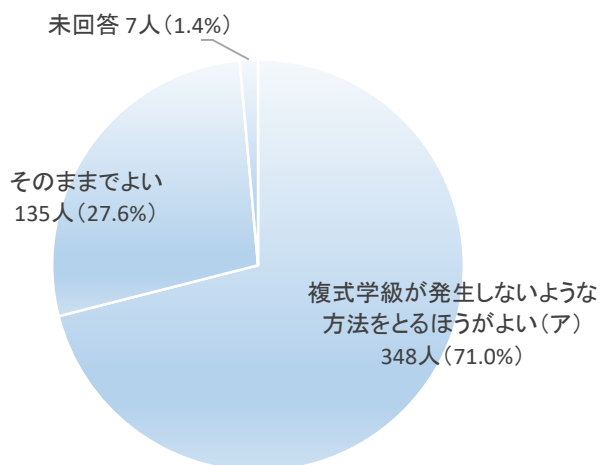
選択回答のうち最も多かったのは「子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある」で350人(71.4%)、続いて「子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる」が293人(59.8%)、「集団の中でいろいろな役割分担を経験できる」が262人(53.5%)となっています。



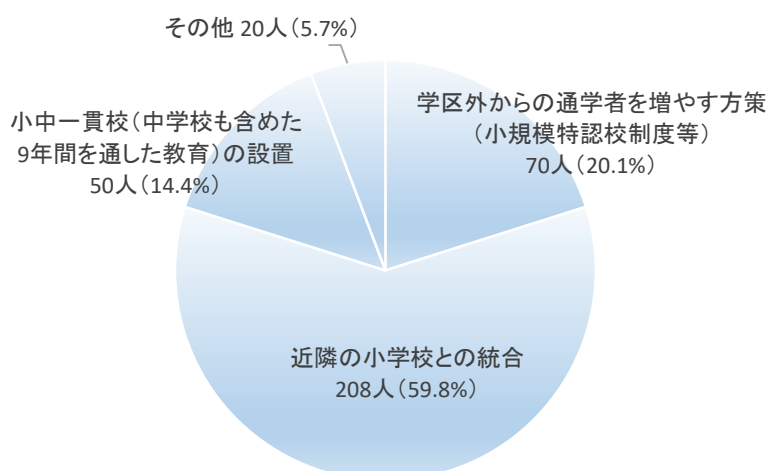
※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

○児童数が少なく複式学級発生の予測がある小学校について、どうお考えですか（問5）

「複式学級が発生しないような方法をとるほうがよい（ア）」348人（71.0%）,「そのままよい」135人（27.6%）,「未回答」7人（1.4%）となりました。

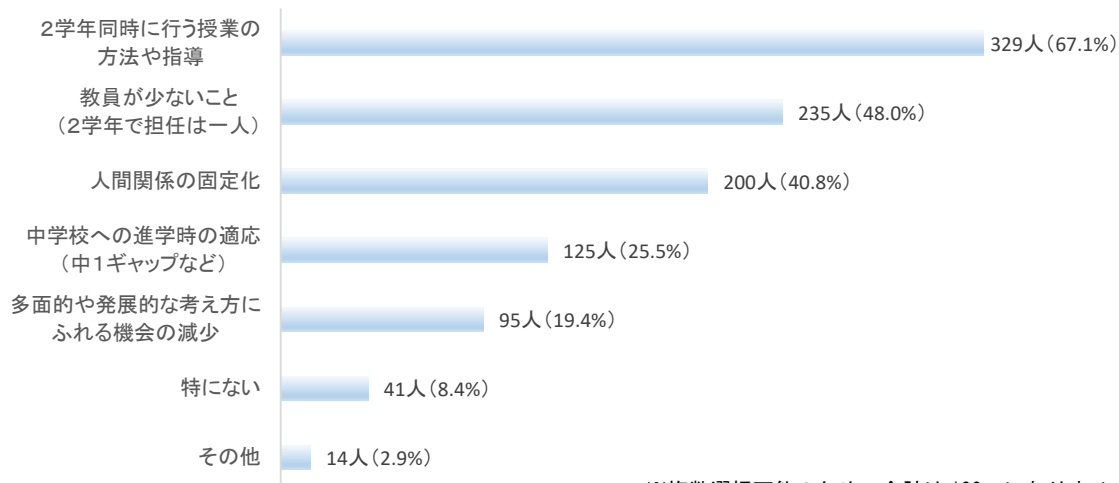


また、（ア）の具体的な方法については、「学区外からの通学者を増やす方策（小規模特認校制度等）」70人（20.1%）,「近隣の小学校との統合」208人（59.8%）,「小中一貫校（中学校も含めた9年間を通した教育）の設置」50人（14.4%）,「その他」20人（5.7%）となりました。



## ○複式学級に関して、心配なことは何ですか（問6）

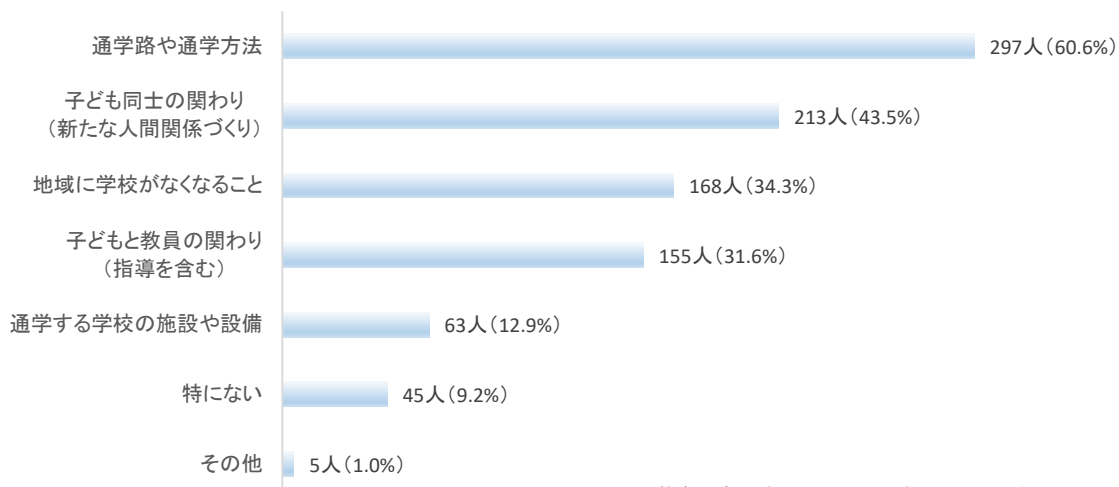
選択回答のうち最も多かったのは「2学年同時に行う授業の方法や指導」で329人（67.1%）、続いて「教員が少ないこと（2学年で担任は一人）」が235人（48.0%）、「人間関係の固定化」が200人（40.8%）となっています。



※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

## ○学校のあり方が変わること（統廃合や小中一貫校）に関して、心配なことは何ですか（問7）

選択回答のうち最も多かったのは「通学路や通学方法」で297人（60.6%）、続いて「子ども同士の関わり（新たな人間関係づくり）」が213人（43.5%）、「地域に学校がなくなること」が168人（34.3%）となっています。

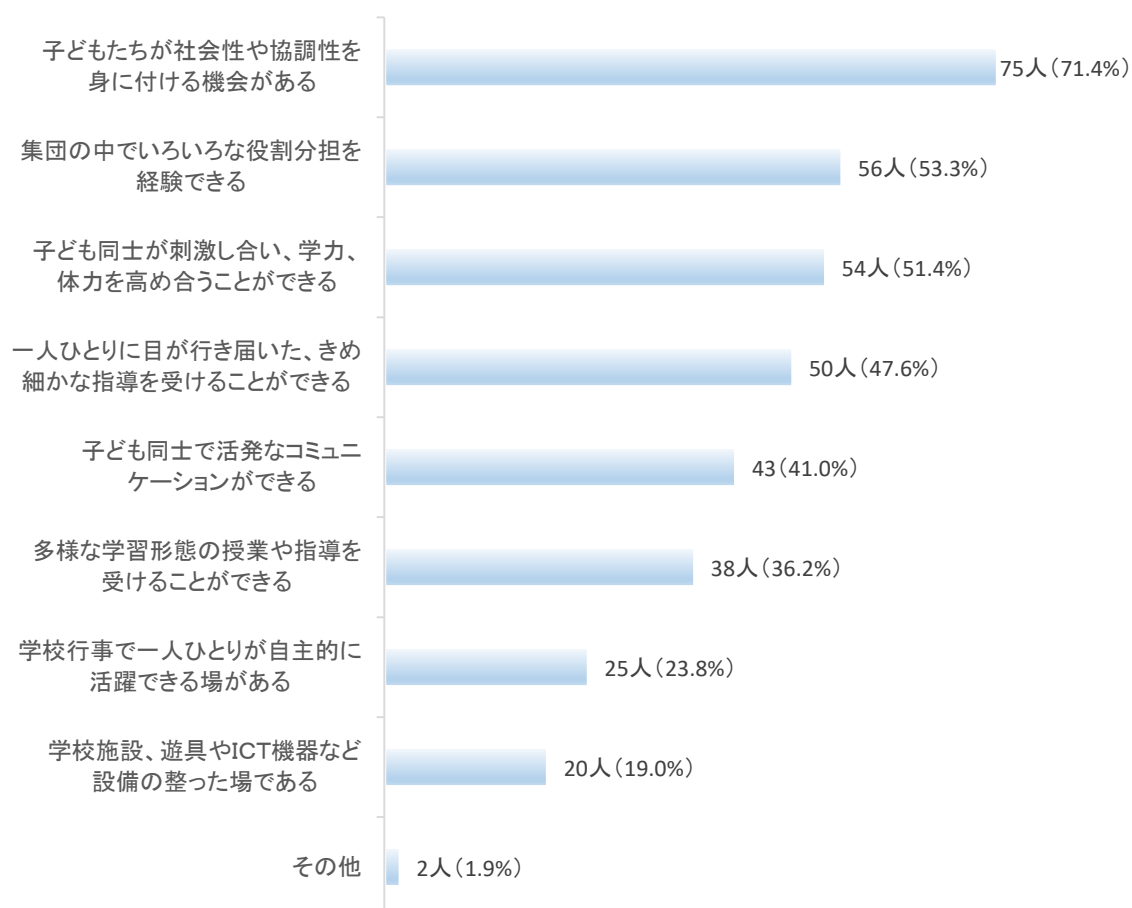


※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

(5) その他(小規模特認校制度, 通学区域の弾力化, 学区外通学の利用者など)(回答数: 105件)

○学校規模適正化・適正配置を考える上で、特にどのような教育環境を求めますか(問4)

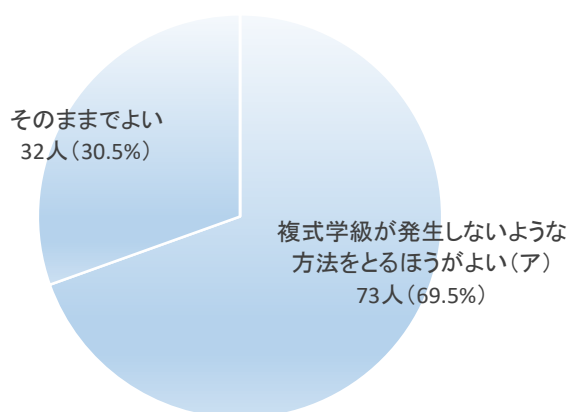
選択回答のうち最も多かったのは「子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある」で75人(71.4%), 続いて「集団の中でいろいろな役割分担を経験できる」が56人(53.3%), 「子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる」が54人(51.4%)となっています。



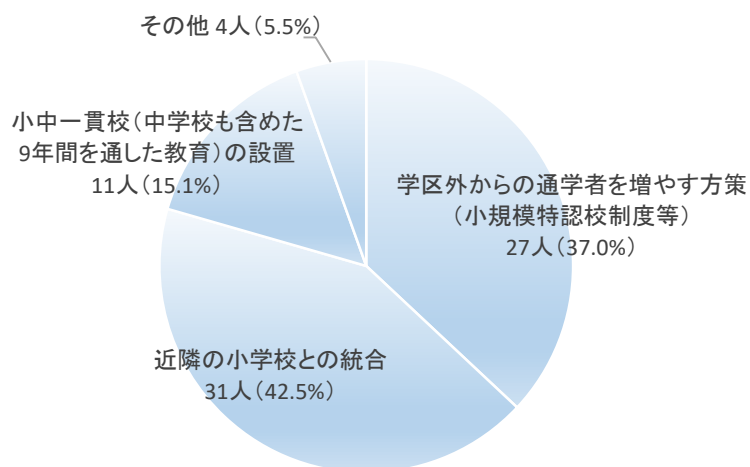
※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

○児童数が少なく複式学級発生の予測がある小学校についてどうお考え  
ですか（問5）

「複式学級が発生しないような方法をとるほうがよい（ア）」73人（69.5%）,「そのまま  
でよい」32人（30.5%）,「未回答」0人（0%）となりました。

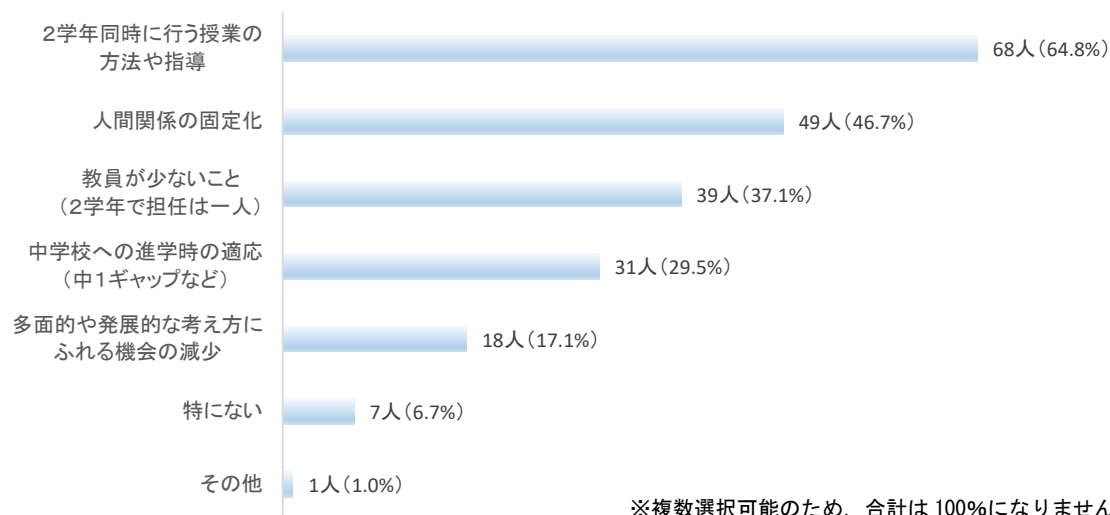


また、（ア）の具体的な方法については、「学区外からの通学者を増やす方策（小規模  
特認校制度等）」27人（37.0%）,「近隣の小学校との統合」31人（42.5%）,「小中一貫校  
（中学校も含めた9年間を通した教育）の設置」11人（15.1%）,「その他」4人  
（5.5%）となりました。



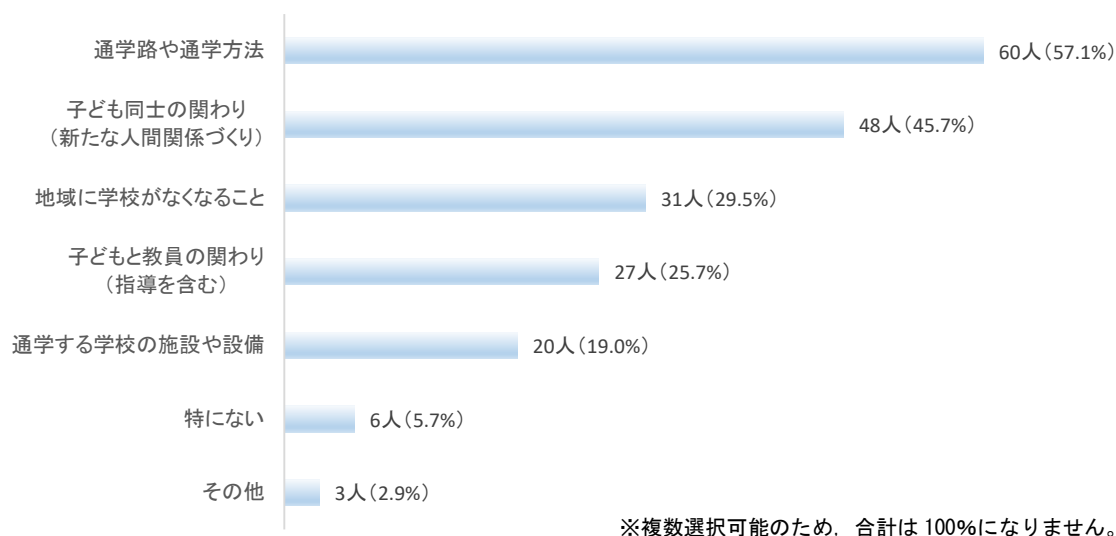
## ○複式学級に関して、心配なことは何ですか（問6）

選択回答のうち最も多かったのは「2学年同時に行う授業の方法や指導」で68人（64.8%）、続いて「人間関係の固定化」が49人（46.7%）、「教員が少ないこと（2学年で担任は一人）」が39人（37.1%）となっています。



## ○学校のあり方が変わること（統廃合や小中一貫校）に関して、心配なことは何ですか（問7）

選択回答のうち最も多かったのは「通学路や通学方法」で60人（57.1%）、続いて「子ども同士の関わり（新たな人間関係づくり）」が48人（45.7%）、「地域に学校がなくなること」が31人（29.5%）となっています。

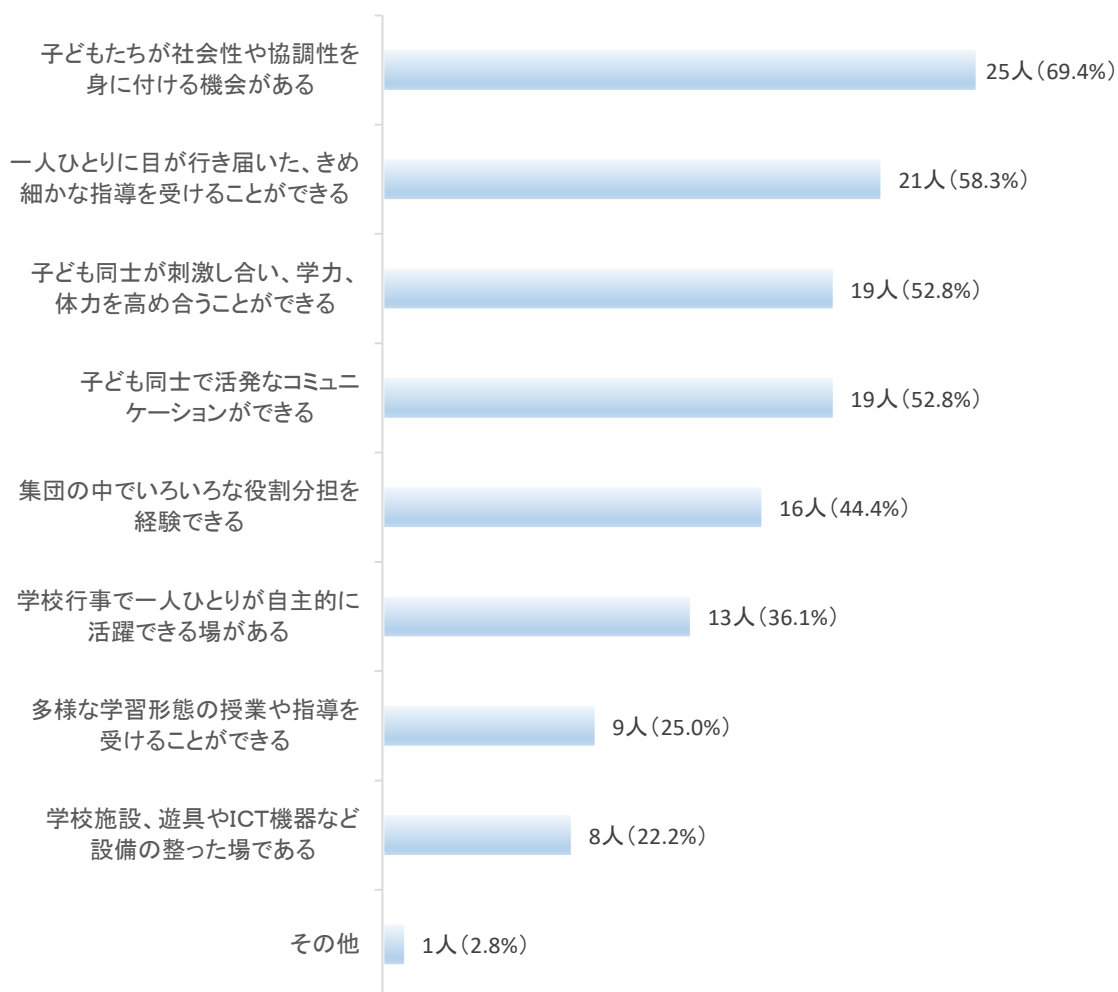


## 7 年代別集計結果

### (1) 10代・20代の集計結果（回答数：36件）

○学校規模適正化・適正配置を考える上で、特にどのような教育環境を求めますか（問4）

選択回答のうち最も多かったのは「子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある」で25人（69.4%）、続いて「一人ひとりに目が行き届いた、きめ細かな指導を受けることができる」が21人（58.3%）、「子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる」「子ども同士で活発なコミュニケーションができる」がそれぞれ19人（52.8%）となっています。

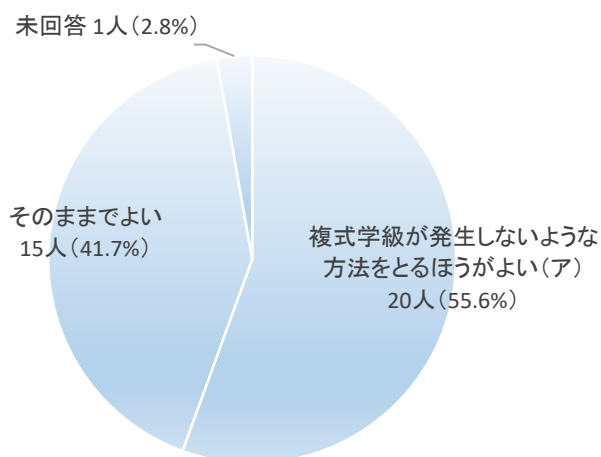


※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

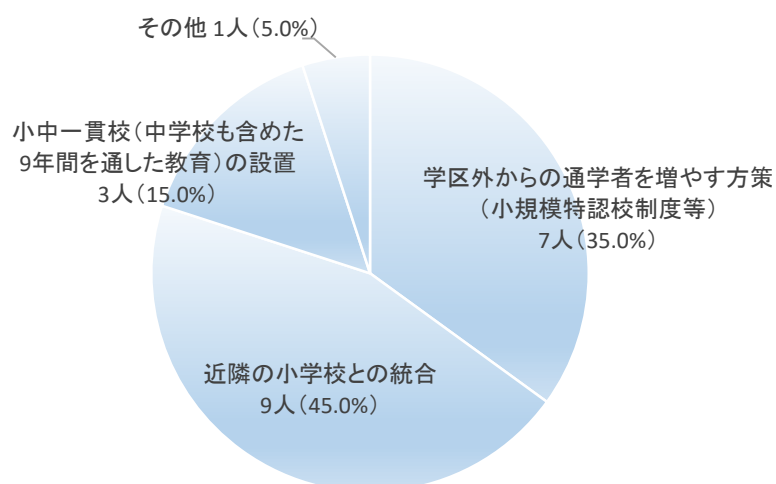


○児童数が少なく複式学級発生の予測がある小学校についてどうお考え  
ですか（問5）

「複式学級が発生しないような方法をとるほうがよい（ア）」20人（55.6%）,「そのまま  
までよい」15人（41.7%）,「未回答」1人（2.8%）となりました。

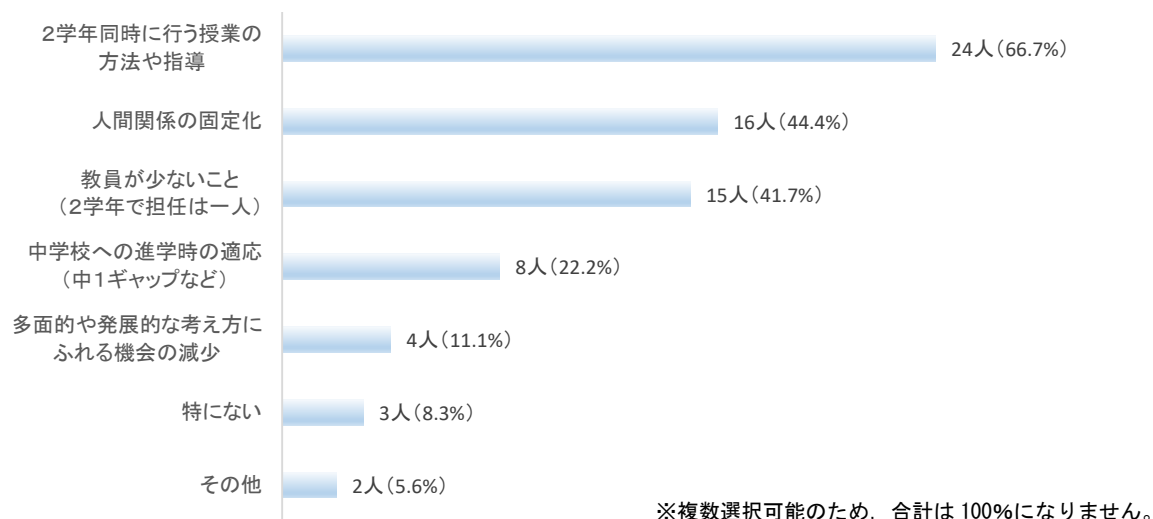


また、（ア）の具体的な方法については、「学区外からの通学者を増やす方策（小規模  
特認校制度等）」7人（35.0%）,「近隣の小学校との統合」9人（45.0%）,「小中一貫校  
（中学校も含めた9年間を通した教育）の設置」3人（15.0%）,「その他」1人（5.0%）  
となりました。



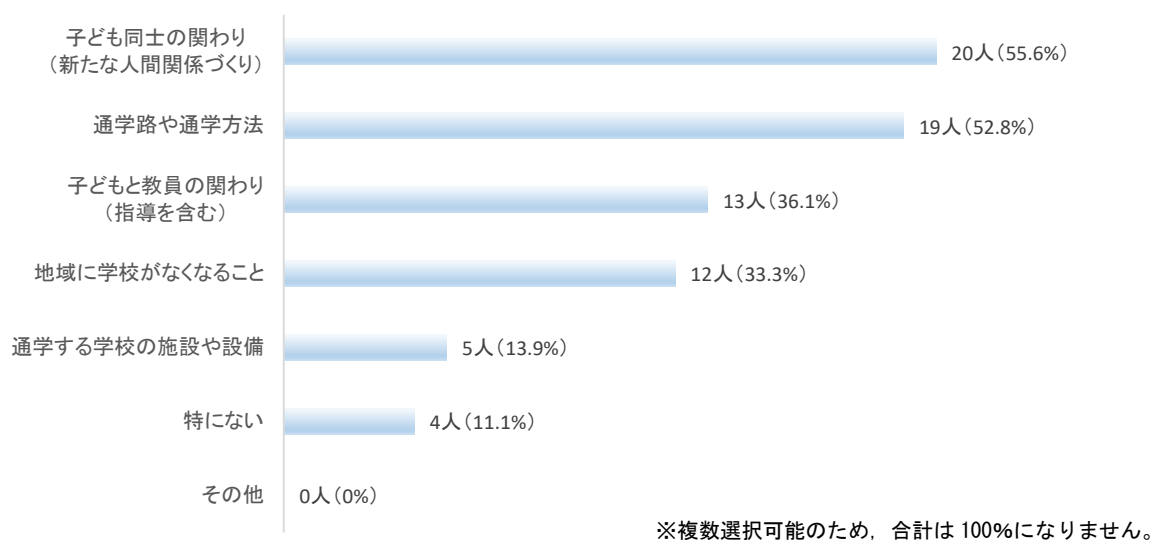
## ○複式学級に関して、心配なことは何ですか（問6）

選択回答のうち最も多かったのは「2学年同時に行う授業の方法や指導」で24人（66.7%）、続いて「人間関係の固定化」が16人（44.4%）、「教員が少ないこと（2学年で担任は一人）」が15人（41.7%）となっています。



## ○学校のあり方が変わること（統廃合や小中一貫校）に関して、心配なことは何ですか（問7）

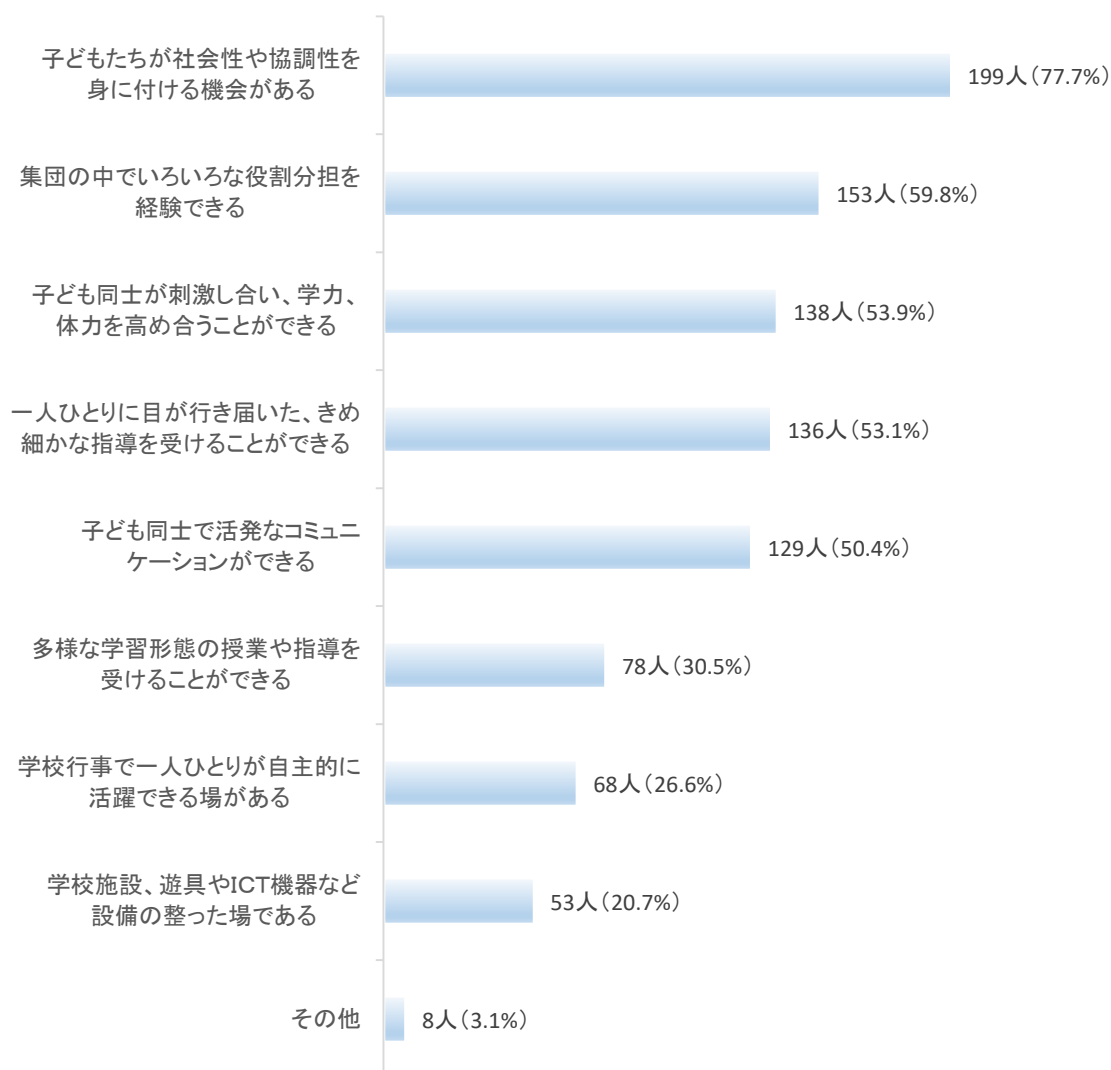
選択回答のうち最も多かったのは「子ども同士の関わり（新たな人間関係づくり）」で20人（55.6%）、続いて「通学路や通学方法」が19人（52.8%）、「子どもと教員の関わり（指導を含む）」が13人（36.1%）となっています。



## (2) 30代の集計結果（回答数：256件）

### ○学校規模適正化・適正配置を考える上で、特にどのような教育環境を求めますか（問4）

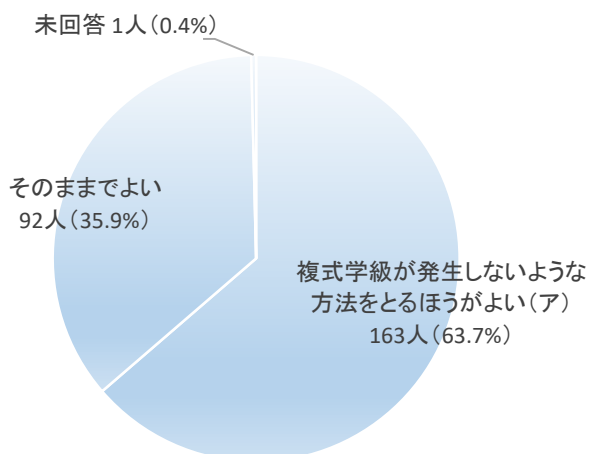
選択回答のうち最も多かったのは「子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある」で199人（77.7%），続いて「集団の中でいろいろな役割分担を経験できる」が153人（59.8%），「子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる」が138人（53.9%）となっています。



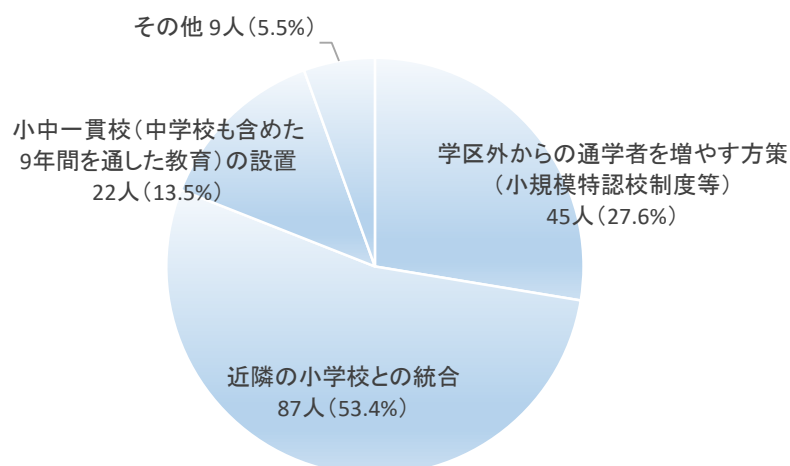
※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

○児童数が少なく複式学級発生の予測がある小学校についてどうお考え  
ですか（問5）

「複式学級が発生しないような方法をとるほうがよい（ア）」163人（63.7%）,「その  
ままでよい」92人（35.9%）,「未回答」1人（0.4%）となりました。

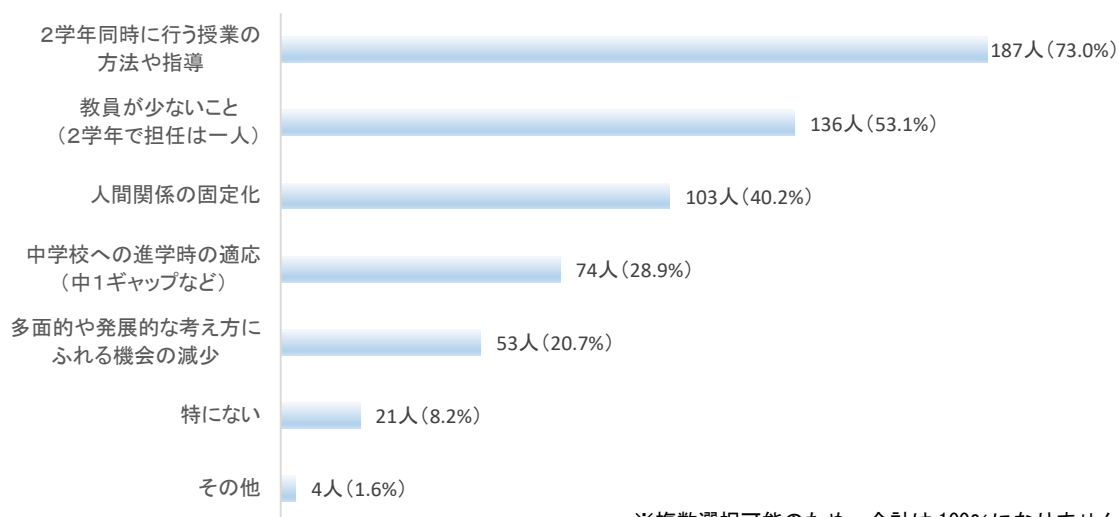


また、（ア）の具体的な方法については、「学区外からの通学者を増やす方策（小規模特認校制度等）」45人（27.6%）,「近隣の小学校との統合」87人（53.4%）,「小中一貫校（中学校も含めた9年間を通じた教育）の設置」22人（13.5%）,「その他」9人（5.5%）となりました。



## ○複式学級に関して、心配なことは何ですか（問6）

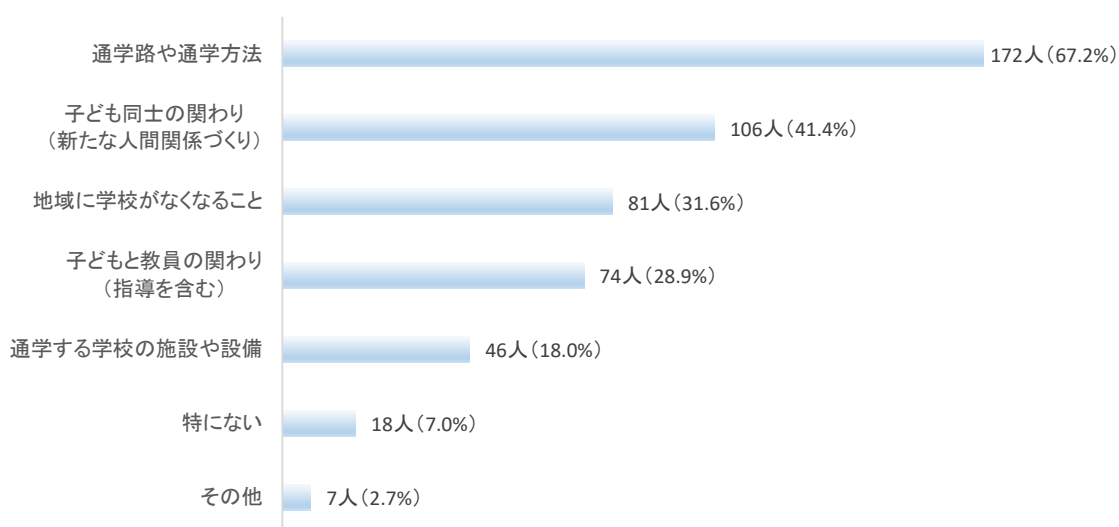
選択回答のうち最も多かったのは「2学年同時に行う授業の方法や指導」で187人（73.0%）、続いて「教員が少ないこと（2学年で担任は一人）」が136人（53.1%）、「人間関係の固定化」が103人（40.2%）となっています。



※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

## ○学校のあり方が変わること（統廃合や小中一貫校）に関して、心配なことは何ですか（問7）

選択回答のうち最も多かったのは「通学路や通学方法」で172人（67.2%）、続いて「子ども同士の関わり（新たな人間関係づくり）」が106人（41.4%）、「地域に学校がなくなること」が81人（31.6%）となっています。

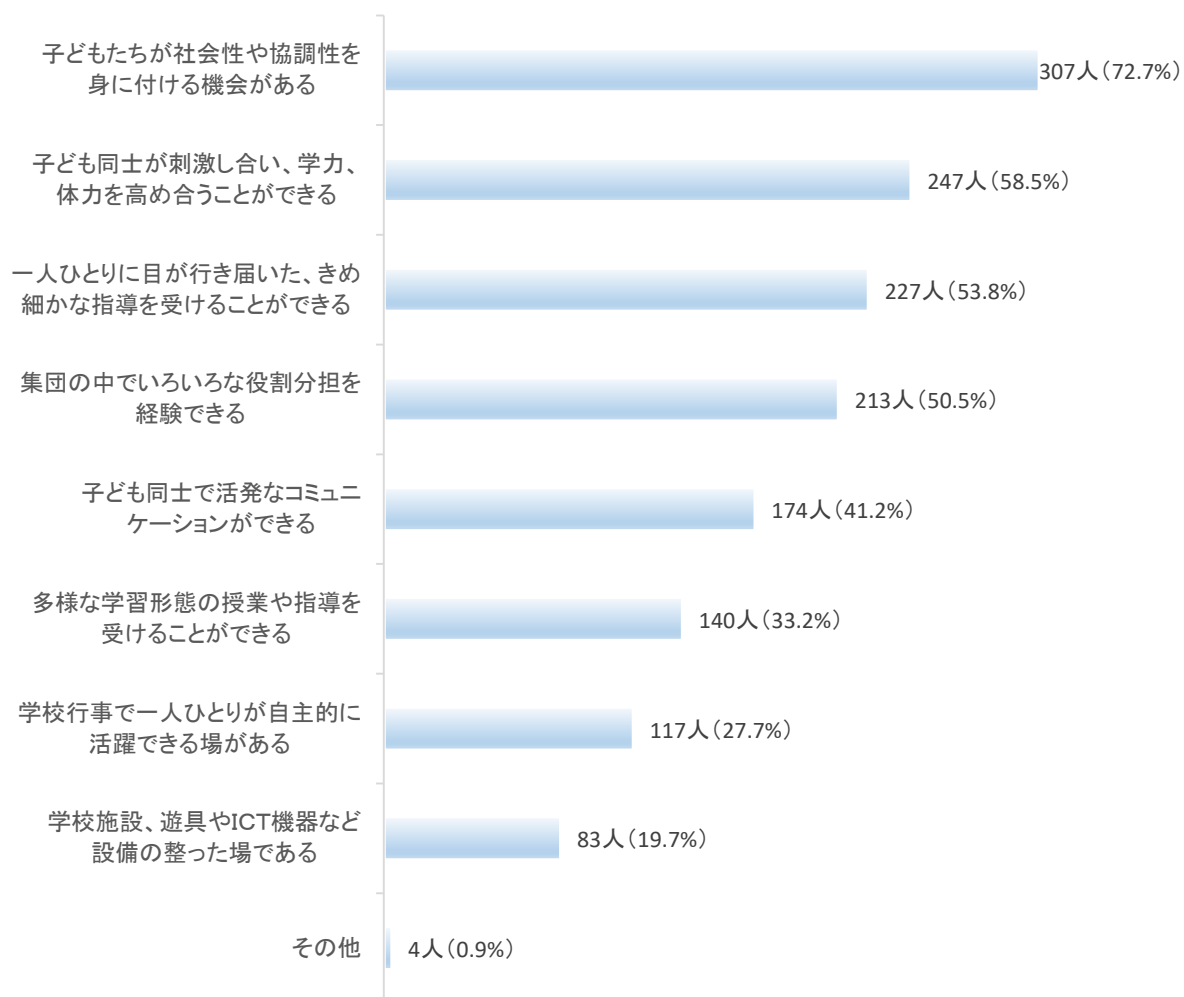


※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

### (3) 40代の集計結果（回答数：422件）

#### ○学校規模適正化・適正配置を考える上で、特にどのような教育環境を求めますか（問4）

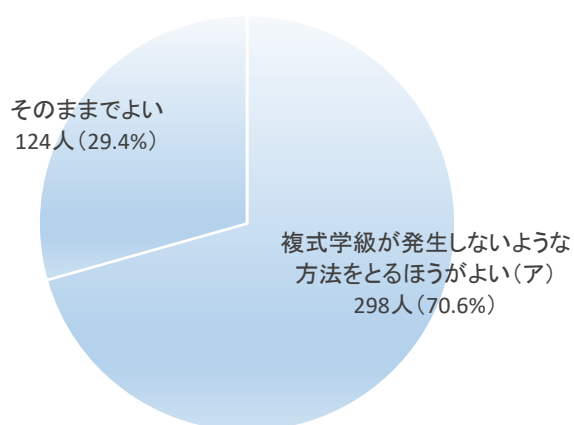
選択回答のうち最も多かったのは「子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある」で307人（72.7%），続いて「子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる」が247人（58.5%），「一人ひとりに目が行き届いた、きめ細かな指導を受けることができる」が227人（53.8%）となっています。



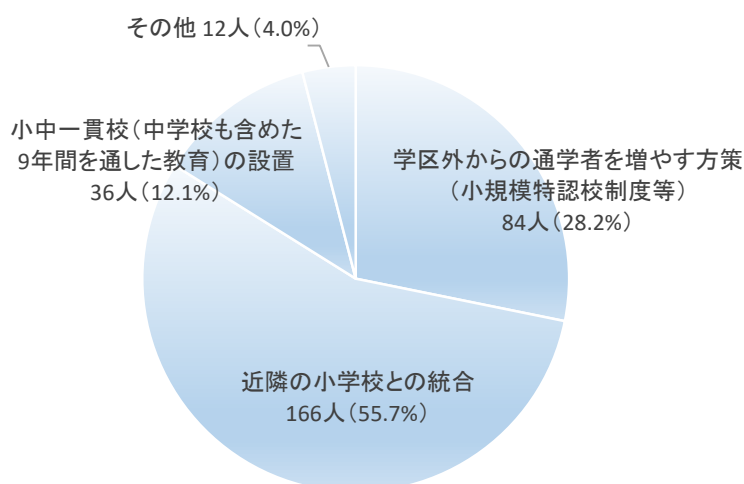
※複数選択可能なため、合計は100%になりません。

○児童数が少なく複式学級発生の予測がある小学校についてどうお考え  
ですか（問5）

「複式学級が発生しないような方法をとるほうがよい（ア）」298人（70.6%）,「その  
ままでよい」124人（29.4%）,「未回答」0人（0%）となりました。

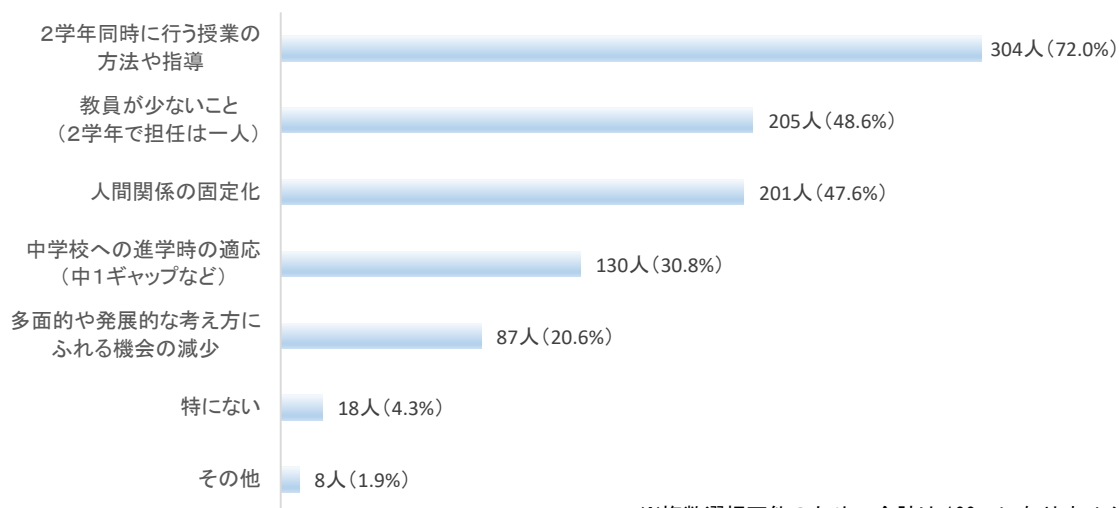


また、（ア）の具体的な方法については、「学区外からの通学者を増やす方策（小規模特認校制度等）」84人（28.2%）,「近隣の小学校との統合」166人（55.7%）,「小中一貫校（中学校も含めた9年間を通した教育）の設置」36人（12.1%）,「その他」12人（4.0%）となりました。



## ○複式学級に関して、心配なことは何ですか（問6）

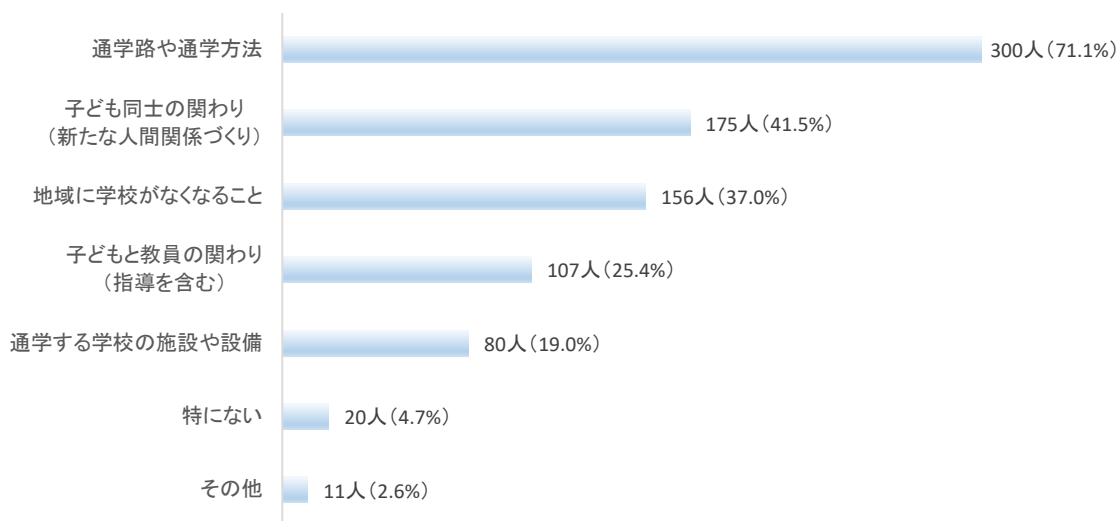
選択回答のうち最も多かったのは「2学年同時に行う授業の方法や指導」で304人（72.0%）、続いて「教員が少ないこと（2学年で担任は一人）」が205人（48.6%）、「人間関係の固定化」が201人（47.6%）となっています。



※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

## ○学校のあり方が変わること（統廃合や小中一貫校）に関して、心配なことは何ですか（問7）

選択回答のうち最も多かったのは「通学路や通学方法」で300人（71.1%）、続いて「子ども同士の関わり（新たな人間関係づくり）」が175人（41.5%）、「地域に学校がなくなること」が156人（37.0%）となっています。



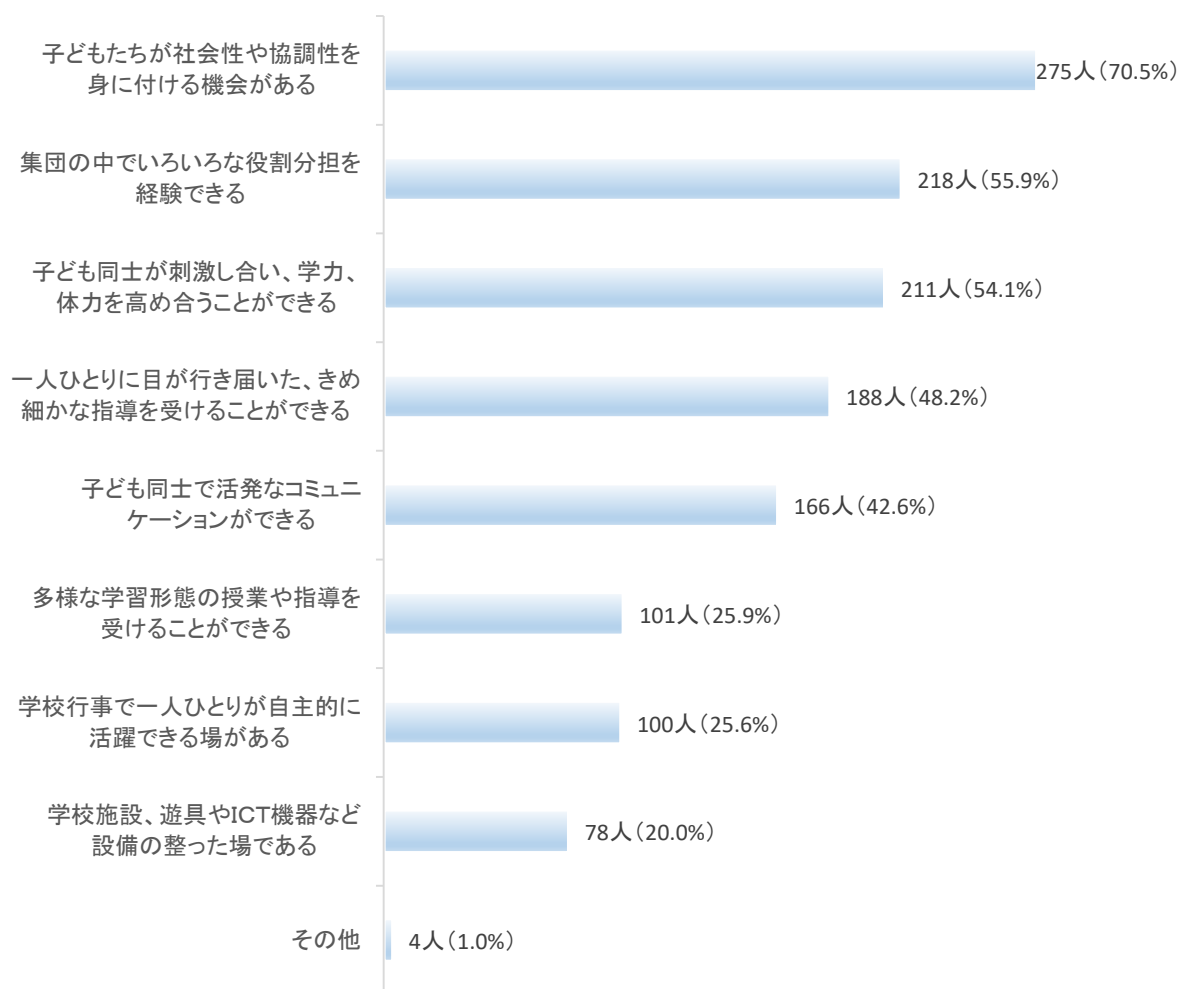
※複数選択可能のため、合計は100%になりません。



#### (4) 50代の集計結果（回答数：390件）

○学校規模適正化・適正配置を考える上で、特にどのような教育環境を求めますか（問4）

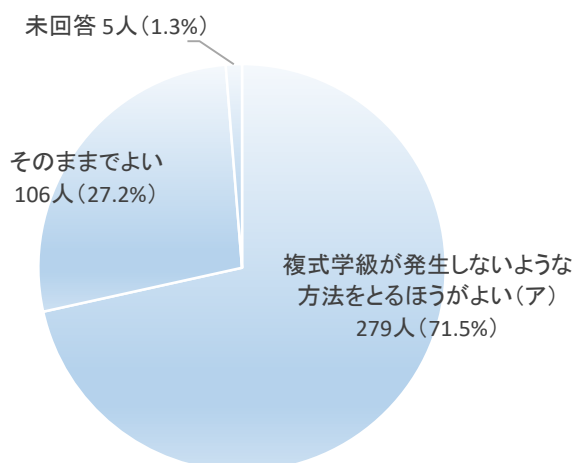
選択回答のうち最も多かったのは「子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある」で275人（70.5%），続いて「集団の中でいろいろな役割分担を経験できる」が218人（55.9%），「子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる」が211人（54.1%）となっています。



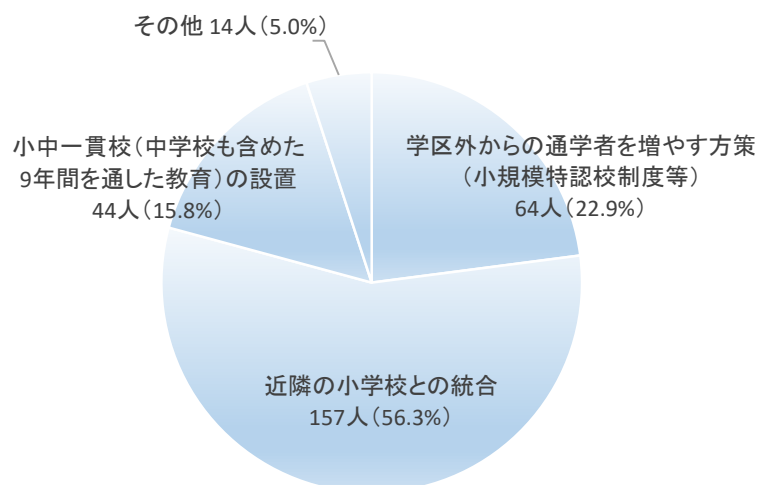
※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

○児童数が少なく複式学級発生の予測がある小学校についてどうお考え  
ですか（問5）

「複式学級が発生しないような方法をとるほうがよい（ア）」279人（71.5%）,「そのまま  
でよい」106人（27.2%）,「未回答」5人（1.3%）となりました。

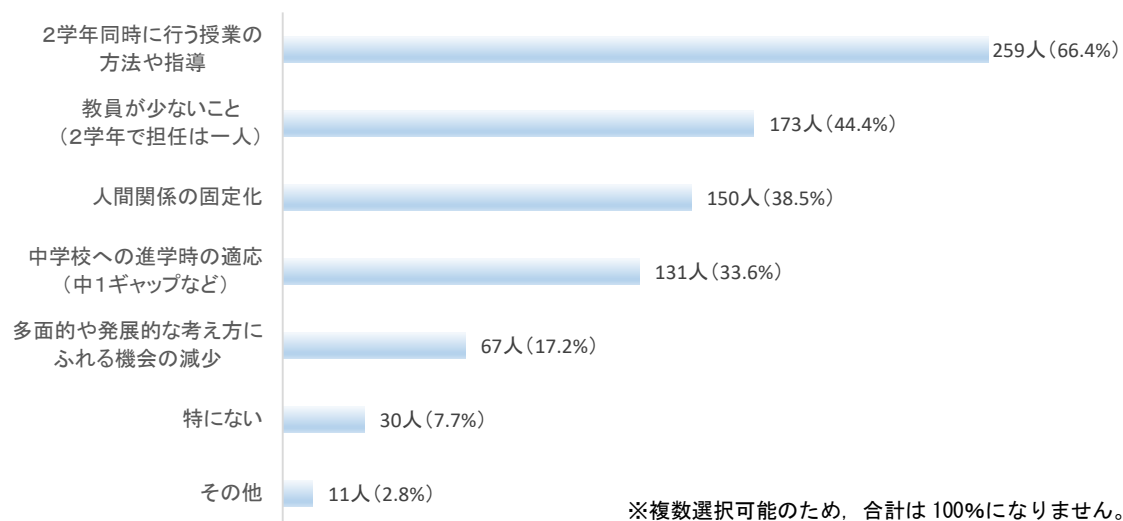


また,（ア）の具体的な方法については,「学区外からの通学者を増やす方策（小規模特  
認校制度等）」64人（22.9%）,「近隣の小学校との統合」157人（56.3%）,「小中一貫校  
（中学校も含めた9年間を通した教育）の設置」44人（15.8%）,「その他」14人（5.0%）  
となりました。



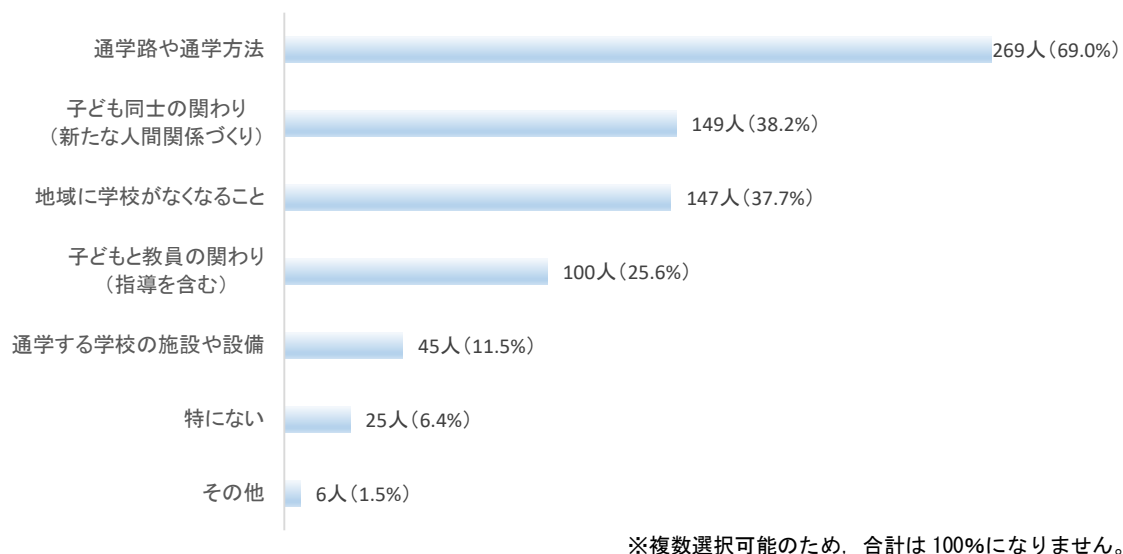
## ○複式学級に関して、心配なことは何ですか（問6）

選択回答のうち最も多かったのは「2学年同時に行う授業の方法や指導」で259人（66.4%）、続いて「教員が少ないこと（2学年で担任は一人）」が173人（44.4%）、「人間関係の固定化」が150人（38.5%）となっています。



## ○学校のあり方が変わること（統廃合や小中一貫校）に関して、心配なことは何ですか（問7）

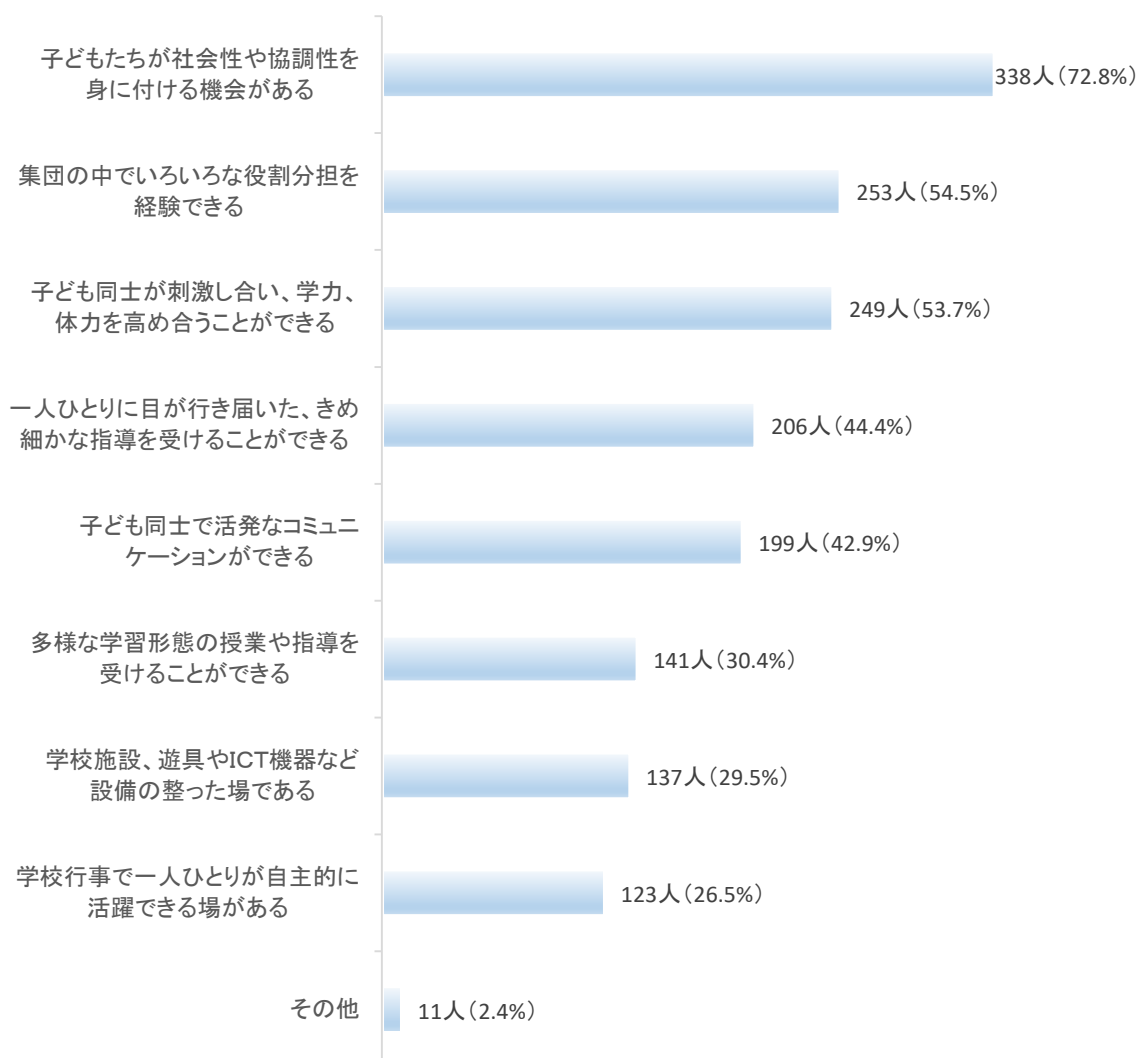
選択回答のうち最も多かったのは「通学路や通学方法」で269人（69.0%）、続いて「子ども同士の関わり（新たな人間関係づくり）」が149人（38.2%）、「地域に学校がなくなること」が147人（37.7%）となっています。



## (5) 60代の集計結果（回答数：464件）

### ○学校規模適正化・適正配置を考える上で、特にどのような教育環境を求めますか（問4）

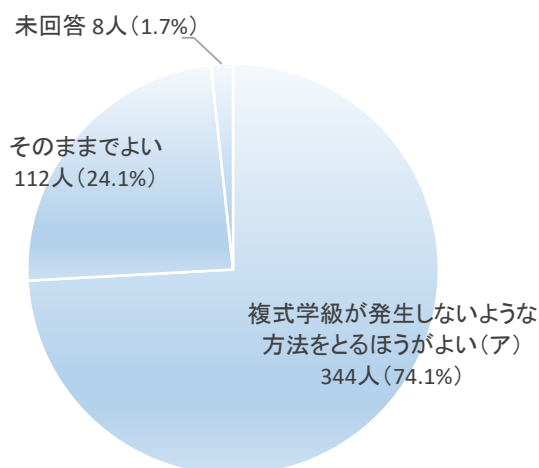
選択回答のうち最も多かったのは「子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある」で338人（72.8%），続いて「集団の中でいろいろな役割分担を経験できる」が253人（54.5%），「子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる」が249人（53.7%）となっています。



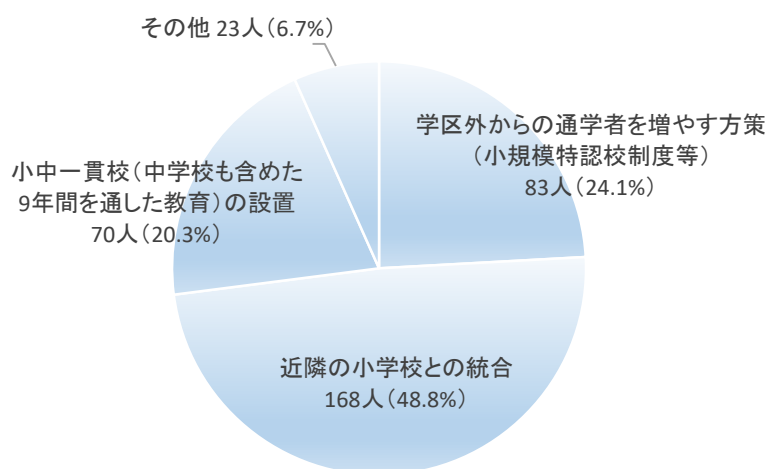
※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

○児童数が少なく複式学級発生の予測がある小学校についてどうお考え  
ですか（問5）

「複式学級が発生しないような方法をとるほうがよい（ア）」344人（74.1%）,「その  
ままでよい」112人（24.1%）,「未回答」8人（1.7%）となりました。

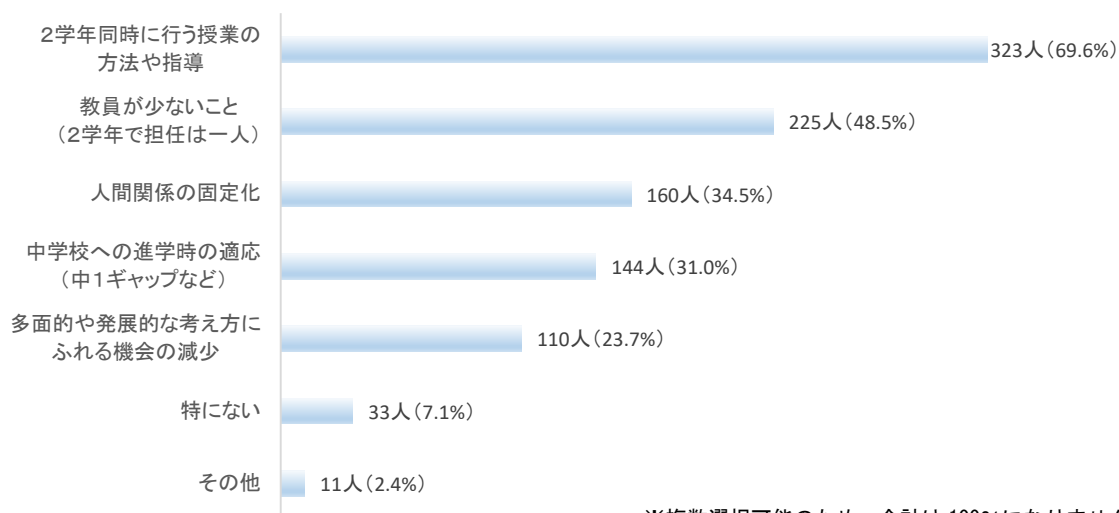


また、（ア）の具体的な方法については、「学区外からの通学者を増やす方策（小規模特認校制度等）」83人（24.1%）,「近隣の小学校との統合」168人（48.8%）,「小中一貫校（中学校も含めた9年間を通した教育）の設置」70人（20.3%）,「その他」23人（6.7%）となりました。



## ○複式学級に関して、心配なことは何ですか（問6）

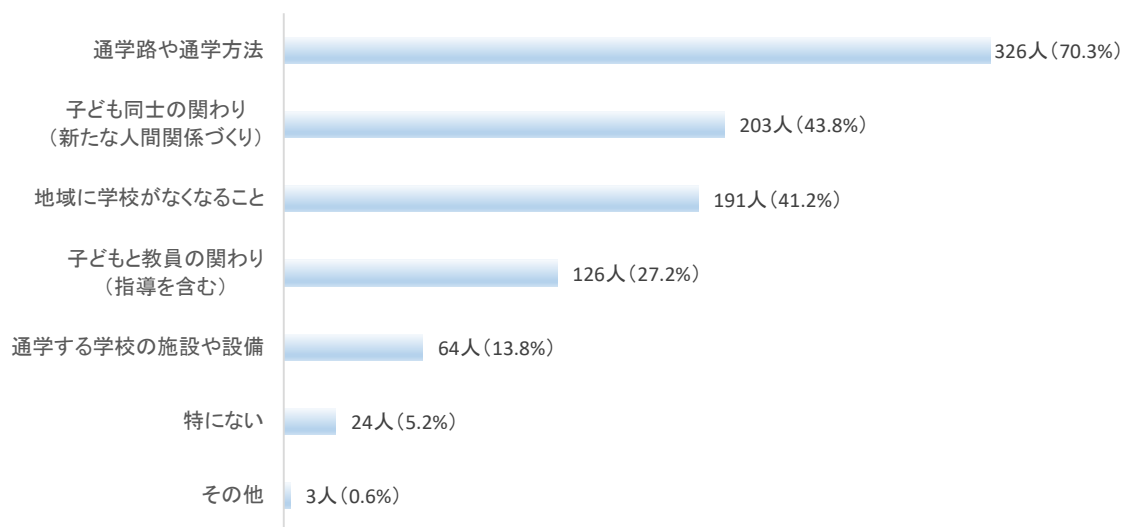
選択回答のうち最も多かったのは「2学年同時に行う授業の方法や指導」で323人（69.6%）、続いて「教員が少ないこと（2学年で担任は一人）」が225人（48.5%）、「人間関係の固定化」が160人（34.5%）となっています。



※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

## ○学校のあり方が変わる（統廃合や小中一貫校）に関して、心配なことは何ですか（問7）

選択回答のうち最も多かったのは「通学路や通学方法」で326人（70.3%）、続いて「子ども同士の関わり（新たな人間関係づくり）」が203人（43.8%）、「地域に学校がなくなる」が191人（41.2%）となっています。

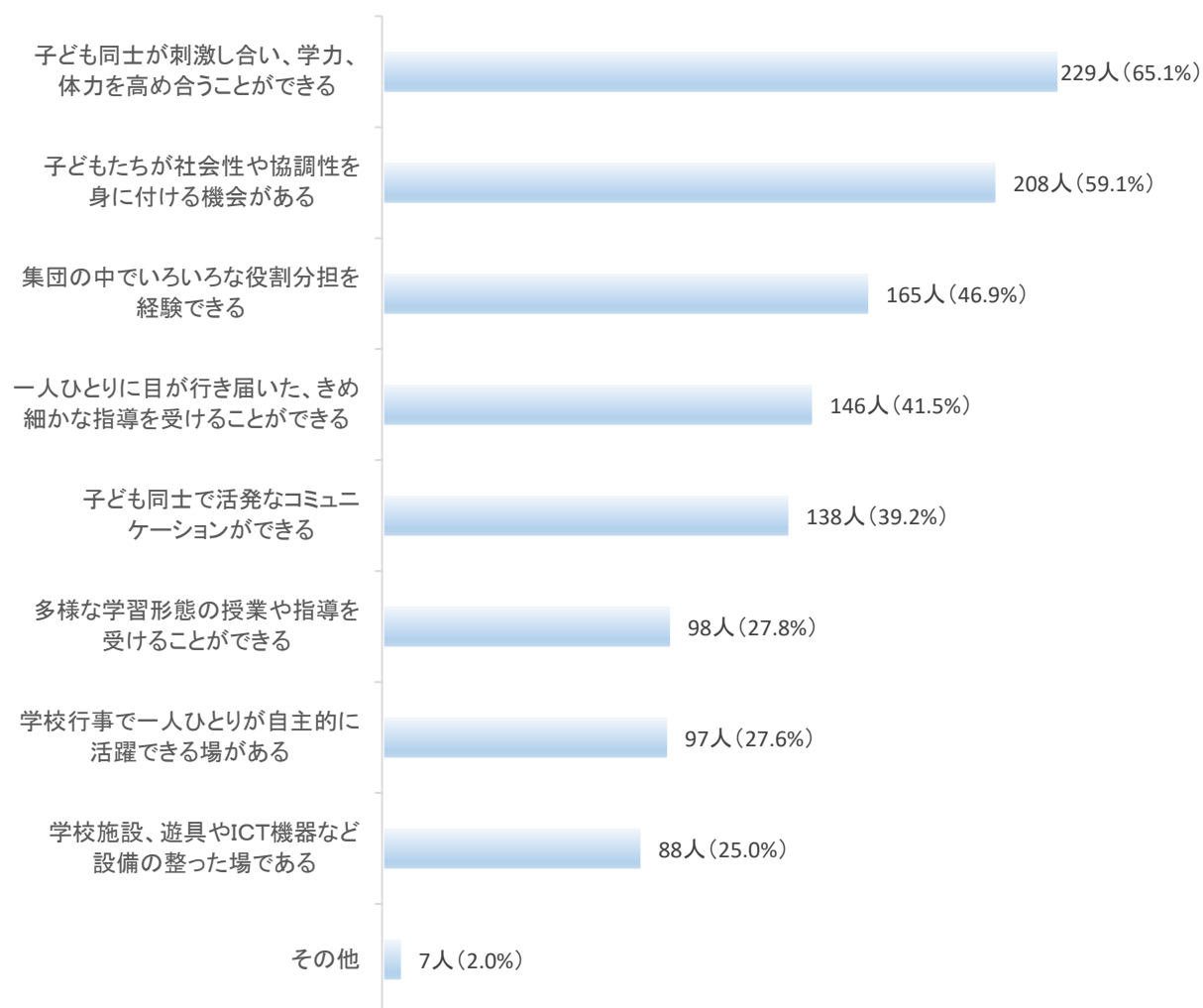


※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

## (6) 70代以上の集計結果 (回答数: 352件)

○学校規模適正化・適正配置を考える上で、特にどのような教育環境を求めますか (問4)

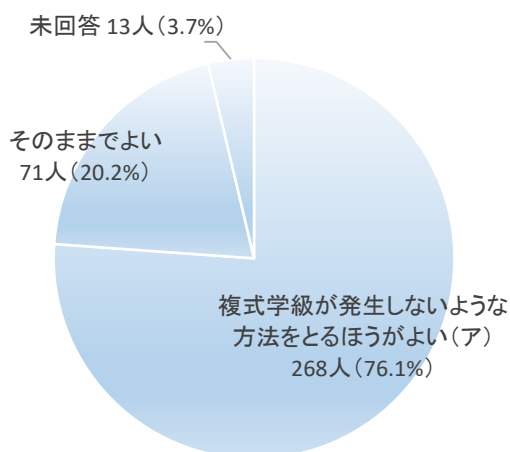
選択回答のうち最も多かったのは「子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる」で229人(65.1%), 続いて「子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある」が208人(59.1%), 「集団の中でいろいろな役割分担を経験できる」が165人(46.9%)となっています。



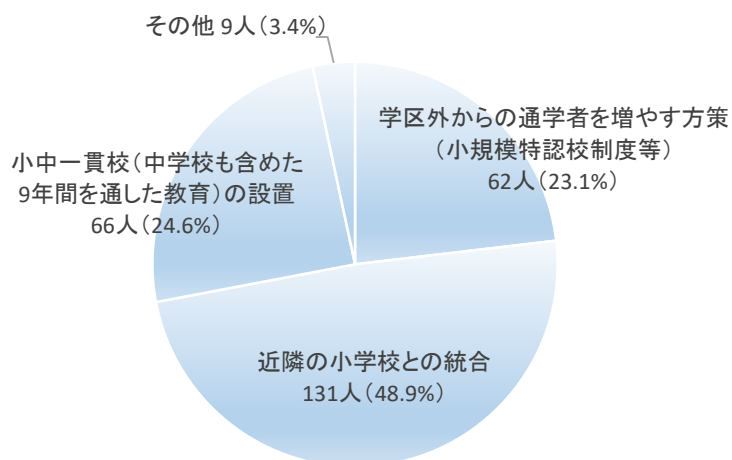
※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

○児童数が少なく複式学級発生の予測がある小学校についてどうお考え  
ですか（問5）

「複式学級が発生しないような方法をとるほうがよい（ア）」268人（76.1%）,「その  
ままでよい」71人（20.2%）,「未回答」13人（3.7%）となりました。



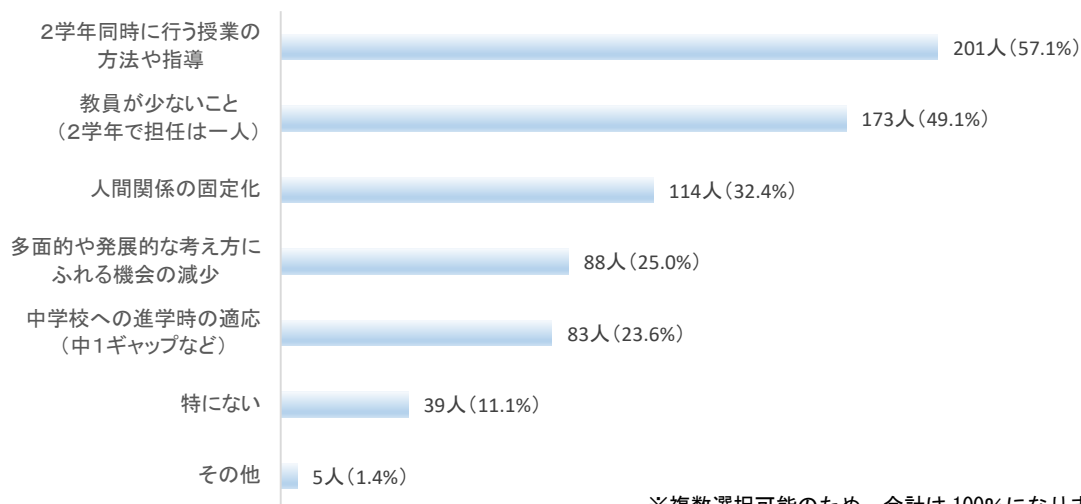
また、（ア）の具体的な方法については、「学区外からの通学者を増やす方策（小規模特認校制度等）」62人（23.1%）,「近隣の小学校との統合」131人（48.9%）,「小中一貫校（中学校も含めた9年間を通した教育）の設置」66人（24.6%）,「その他」9人（3.4%）となりました。





## ○複式学級に関して、心配なことは何ですか（問6）

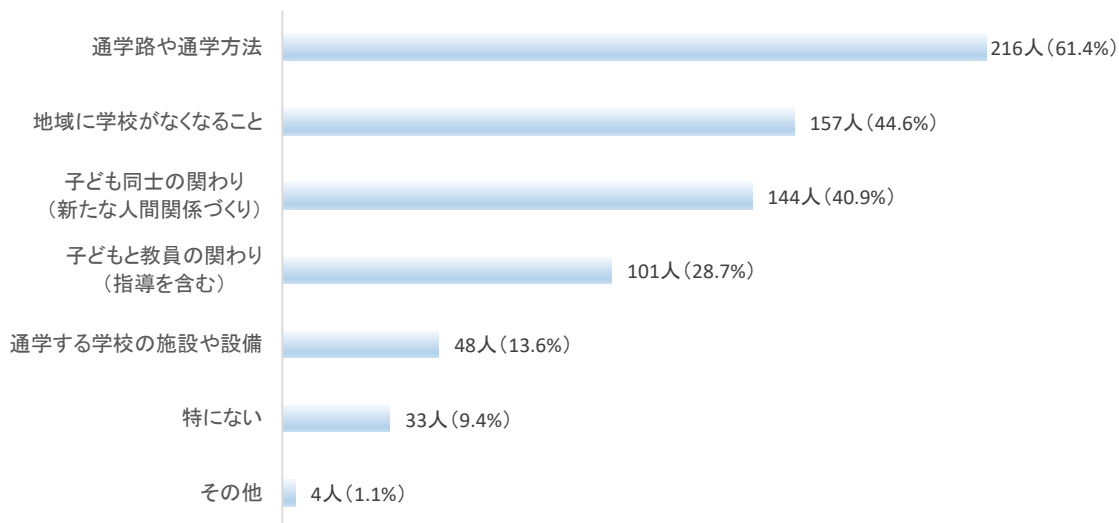
選択回答のうち最も多かったのは「2学年同時に行う授業の方法や指導」で201人（57.1%）、続いて「教員が少ないこと（2学年で担任は一人）」が173人（49.1%）、「人間関係の固定化」が114人（32.4%）となっています。



※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

## ○学校のあり方が変わること（統廃合や小中一貫校）に関して、心配なことは何ですか（問7）

選択回答のうち最も多かったのは「通学路や通学方法」で216人（61.4%）、続いて「地域に学校がなくなること」が157人（44.6%）、「子ども同士の関わり（新たな人間関係づくり）」が144人（40.9%）となっています。



※複数選択可能のため、合計は100%になりません。

## 8 今後の小学校のあり方に関する自由意見（抜粋）

皆様からいただいた、学校規模適正化・適正配置に関する様々なご意見につきまして、テーマごとに分類し、そのいくつかを掲載します。

### （1）学校の存続について

地区	年代	意見
合川	40代	現在の教育環境をできる限り維持していただきたい。学校が統合される等はさみしく思います。地域においても「村おこし」ではないですが、地域ごとに（自治会ごと）変わろうとしています。地域ごとの伝統や文化の継承を私たちも担い、「地域の活性」や「持続可能な地域」を可能にする為、協力分担していきたいと考えておりますので、教育環境につきましても、十分な検討よろしく願いいたします。
合川	40代	統廃合にはしないでほしい。今の時代、SNS やネットを使って他の学校と授業や交流をすればよい。地域に学校がなくなるのはよくない。
合川	50代	地域からいったん学校が無くなってしまうと、次に新しく作るのはかなり難しいはず。なので、たとえ最後の一人になっても、地域の学校に通いたい子供がいるかぎり、統廃合などはせず学校は存続させるべき。
天名	30代	小規模でも豊かな環境づくりはできると思うので、減らすことや失くすことよりも、存続させる方向性を考えていただきたいと思います。
天名	30代	子供や若い方が少ない地域なので学校がなくなると益々人口の減少に繋がるのではないか心配。人数が少ない分、一人一人目が行き届き、地域の方々と交流があるよい学校なのでなくなるまいほしい。
天名	30代	地域から小学校が無くなること、母校が無くなるのが非常に寂しく思います。私の母校ではありませんが、子供たちにとっては6年間過ごした大切な母校です。卒業生が遊びに来ている姿も良く見かけます。問4の質問は、適正化・適正配置されなくても小規模校でも十分できていることだと思います。
天名	40代	天名小学校が廃校になると、町が消滅する可能性があるため存続させるべきだ。市は財政ばかりではなく、地域の伝統、文化、コミュニティにこそ重点を置くべきだ。天名小学校の校舎は築50年。ここまで放置されたことが問題だ。国から長寿化プロジェクトを要請されているはずであり、天名小学校も対象に入れるべきである。
天名	40代	人口の減少により、子供の数も減っている現状は止められないことかもしれませんが、何か施策があれば統廃合などしなくてすむ方法もあるかもしれません。何もせずに決まってしまうより、現状を守る策を考えていただければと思います。

天名	40代	統廃合ありきの風潮に不安しかありません。近隣の小学校の様子を聞いていると、統廃合には反対です（あまりいい噂は聞かないので）。ただ、10年20年の長い目でみたと、統廃合が避けられないこともわかっています。今の教育環境には全く不満はありません。小規模校ならではの教育を受けることができ、先生方には感謝しかありません。
天名	40代	廃校、複式学級ではなく、学校を存続させる方法を考えてください。
天名	50代	鈴鹿市はコミュニティスクールを推し進めているのだから、天名・合川というコミュニティに欠かせない小学校をむしろ守るべきだ。
天名	60代	今後は今よりも人数が増える可能性もあり、過疎化予防のためにも地元小学校を残しておきたい。
天名	70代以上	子供たちがみんな天名小学校卒業していますので、少数の数になりますが、出来る限り地元のままでお願いしたいです。
郡山	30代	今後、校区内に新たな住民が入ってくる見込みがないのであれば、統合も否めないと思いますが、子どもの環境変化や学校がなくなることは地域にとっては寂しいことなので、できれば今の形を希望します。市内では、白子や旭が丘地区など一部に人口集中していますが、地域差が生まれてくるので、市全体として考えていただけるとうれしいです。
郡山	40代	田舎ではスクールバスで通学し、なおかつ複式学級の子でも普通の大人になっているので、問題ないと思っている。
郡山	40代	地域に学校は必要。地震の時など避難する際にも活躍する。地域で子どもたちを見守る役割の1つにもなっているので、小学校はなくしてはいけない。
その他	40代	簡単に統廃合をしてほしくありません。この問題についての地域の中での関心の薄さが気がかりです。現在高学年以上の保護者にとっては他人事です。また、就学まで時間がある乳幼児家庭も合併をあきらめているところがあると思います。問題は、いずれ合併をするのであればいつかということです。途中で学校が変わることが前提であれば、別の選択肢もあったはずで。
合川	50代	地域特性を最大限注視してギリギリまで現状環境を維持してもらいたい。統合はそれから構わない。
合川	60代	地域の活動や地域の将来のために、小学校は必要である。たとえ、複式学級になっても小学校は残すべき。統廃合や小中一貫校には反対である。人口減少や過疎化による児童数の減は、学校教育問題だけではなく、地域と行政が一体となって問題に取り組むべきである。
合川	70代以上	あくまでも現在の小学校区での運営を望みますが、仮に複式学級や統廃合への移行後、社会情勢の変化や該当学童数が増え、小学校区の条件を満たした時点で、現在の小学校区へ復活してほしいと思います。

天名	40代	天栄中学校区はどの小学校も子供（児童数）が少ない。統合する方法もありますが、少人数でもいいと思います。私の子供は天名でした。少人数でクラスのみんが仲良くて、今でも（成人しても）仲良しなので、親としてもほほえましいです。
天名	50代	地域に小学校がなくなることは悲しいことです。天名地区は卒業生が子育てをするにはとても良い環境だと言います。出来ればこの地区に戻って子育てをしたいという意見も聞きます。本気で地区や行政が残すということに努力をすべきである。そして学校も特色のある小学校に向けて地域とともに進むべきだ。
天名	60代	2学期になって、運動会の練習している児童の声、賑わい。いつまでもあってほしいと願うのは、私だけではないと思いますが・・・。
天名	70代以上	我が町の学校として残してほしい気持大だが、児童数減が見込まれる現状を見るとほっておくことはできない。複式学級にしても統廃合にしても、一長一短大変難しいが、改革やむなしと思う。
郡山	50代	できれば地域内に老若男女が、平均して関わることが、健全な社会や精神育成には大事だと思います。地域に学校はあってほしいですね。
郡山	60代	少子化により、考えざるを得ない問題と思いますが、地域の子供たちは、その地域での安心感とか、地元（愛）感を感じているはずで。それが統合により、よその地域の学校に通う事に対しての、子供たちの不安感とか孤立感を感じないか、そんな事を考えてしまいます。
郡山	60代	交通事情、災害、不審者を考慮するなら、子供達は近い地域での学びが最善かもしれません。
郡山	70代以上	子どもたちの姿が見えることは、年寄りにとってもはげみになります。現校区内の学校が閉じられることのない様願います。
栄	50代	地域の学校をなくす統廃合には反対です。学校をなくすことは、その地域の発展をとぎすことになります。学校が残れば、孫世代が祖父母の家に戻ってきて、子育てをその地域でするということも、これから先あり得ると思います。学校がなくなれば巢立ったきりで、その地域に誰ももどってこないのではと思います。
栄	60代	どの時代も、団地ができ、人口が増え、その年代の方が高齢化になると人口減少になるという問題は、今の日本全体の問題です。過疎化は避けられないでしょう。子供達の負担を考えると、統廃合は通学の面で大変だと思います。できることであれば、存続を希望します。小規模特認校制度の導入もありかと思います。
栄	60代	統廃合は少子化により仕方のない事だが、地域にとっては、学校がなくなると、元気・活気がなくなります。何とか生き残る方法がないのか。

## (2) 複式学級での教育について

合川	30代	複式学級でも近隣小学校の合併でもたくさん問題が出てくるので、できれば複式学級も合併もしないで、今の小学校で1学年ずつの授業ができるといいなと思います。もっと若い世代の人が住めるよう、町づくりをしていかないといけないと思います。
合川	40代	複式学級の場合の学力低下が心配です。
合川	40代	複式学級はしない方がよいと思う。予算の関係もあると思うが、少人数でも一学年一クラスがよいと思う。
郡山	40代	子どもの人数が少ない分、一人ひとりに目が行き届きやすいのは良いですが、2学年同時に行う授業の方法や指導で、色々な工夫が多々考えていく必要があるのかなと思います。
郡山	60代	子ども達には、社会に出れば競争はあります。集団生活の中でいろいろと身に付けなくてはいけない事もあります。複式学級で心配なのは学力の差。クラス替えがなく、もし人間関係で何かあれば、それが一番心配です。
栄	30代	栄幼稚園は複式学級ですが、一人ひとりに目が行き届いたきめ細かな指導を受けることができています。年中さんは年長さんから生活態度やスポーツで刺激を受け、年長さんは年中さんを思いやる優しい心を持っています。複式学級でも全く問題ありません。小学校も複式学級になって問題ないと思います。
栄	30代	違う学年同士がいっしょに授業をうけるのはむずかしいのではないのでしょうか？！同じ学年でも一人一人できる・できないの差があるのに、どうやって授業を進めていくのか疑問です。
栄	40代	複式学級になった場合、異なる学年の生徒をどのように教えていくのか、授業内容の不安があります。先生には質問しやすい雰囲気かもしれませんが、生徒同士人間関係が固定化されるのが少し不安です。
栄	40代	どの地区を見ても子供の数が減少していることはいなめないですが、1学年の子供の数がどれだけ少なくても複式学級にすべきではないと思います。先生数が減少すると同時に1人の先生に対する負担が大きくなりすぎます。現状（先生の数）を維持できる様、先生を採用して行って欲しいです。
栄	60代	小学校6年生の場合は、中学校に入る前なので、2学年同時にしないほうがよい。
その他	40代	地域に小学校がなくなるのは寂しいことだと思う。低学年の国・算以外なら、複式も可能だと思うが、高学年では実技科目以外を複式にするのはあまりにも無茶だと感じる。正規教員でなく講師先生を活用することで、複式を回避できないのだろうか。
合川	40代	子どもがクラスで気の合う友だちがいなかった時、上の学年や下の学年で友だちを作っていたので、複式学級には理解できます。子どもの数が増えることはないのに、マイナスな面も考えなくてはいけないが、複式学級のプラス面をより多く見つけて、保護者に理解してもらいたいと思います。

合川	50代	複式学級について、マイナスなイメージばかりが先行しています。私自身もそうでした。合川小学校の現在の取組みも良いと思っていましたが、いずれ頭打ちになってしまうことも考えられます。先日、メディアで「イエナプラン教育」を見ました。年齢問わないグループ学習教育、複式学級に似た教育方法でした。
合川	70代以上	今の子どもたちが統廃合や一貫教育の仕組みについて、又、複式学級とはどのようなものなのか理解してないと思う。保護者や地域住民も一部の者を除き、同様だと思います。まわりの意見を聞く前に、主体となる子どもたちの考えを聞いて、その意見を尊重するべきだと思います。
天名	60代	統廃合よりは複式学級のほうが良いと思う。魅力的、特徴的な教育環境や地域づくりで他県他地域からの学童(転入)の取り込みが出来ないか。
天名	60代	現状のままで複式学級を避ける。その手段として、スクールバスを運行して、学区の垣根を越えて小規模校・大規模校の生徒の均平化を図る。スクールバスは朝夕運行して生徒を運び、平日昼間は高齢者の足となるような多目的運行を図る。2~4学級が適正な規模としているので、1学級や5学級以上が問題であるということ、教育委員会にもっとアピールすべきです。特に大規模の問題を声高にすべきです。
天名	70代以上	複式学級になった場合、子供の教育を考えると、当地域の学校への入学希望する保護者が余計に少なくなる可能性がある。この際、他のエリアより進んだ教育環境を用意し、この地域での子育てを希望する保護者が増えるよう図ることが必要と考えます。
郡山	20代	複式学級だとどのように授業が進んでいくのか心配です。また、教員側も複式学級の経営の仕方に悩みをかかえると思います。人数が少ないことでできない授業も出てくるし、できる限り人数が多いほうが良いと考えます。
郡山	20代	複式学級にすることにより、異学年交流が生まれやすいことや、カリキュラムを弾力的に編成することは可能になるかもしれない。しかし、教員が疲弊していくことは間違いない。2学年を担当することで、教材研究や授業準備の負担は2倍、複式学級を組む規模の学校となると、教員の数も少ないため校務の負担も大きく、労働環境の悪化を招くことになると思う。この状態こそ、子どもたちのためにならない。教員が笑顔で教壇に立てなければ、子どもたちも笑顔になれるわけがない。教員の定数改善を市としても全力をあげて取り組んでいただきたい。
郡山	50代	少人数の学校の方が、先生と生徒の関係が良好に見えました。ですので、少人数の学校が増えてくるのは悪い事ではないと思うものの、やはり2学年の授業を一人の先生が担うというのは難しいのではないかと思います。
郡山	50代	複式学級では、落ち着いて勉強できなくなるのでは…と心配しています。できるだけ、単独の学級で指導していただきたいです。少人数で多面的、発展的な考え方が育ちにくいという点については、インターネットを使って他の学校の生徒とできるだけ交流してもらえたらと思います。

郡山	60代	近年子供の数が減少にあります。親との同居（子）が少なくなってきている様子です。家の近くに学校がなくなることが心配です。複式学級になっても仕方がないのではと思います。
郡山	60代	子どもがこれ程少なくなったからには、それなりの手段を考えるしかないだろう。親としては、遠くの学校へ通わせるより、地元の方が何かあった時迎えとか、学校へ足を運びやすいのではないだろうか。子どもも低学年は特に親元を離れるというストレスがあると思うので、安心感を持たせる学校づくりを考えてほしい。
郡山	60代	小学校教育は、子どもたちの学校生活の基礎・基本と言えるものだと考えます。よって、複式学級を設置しなければならなくなった場合は、教員の複式学級担当を経験した県内・県外の教員から実際に研修を受講したり、大学の専門教員から一定期間研修を受けるなどの施策を講じる必要性を感じます。担当教員だけの責任にしたり、義務感を押し付けるようなことがないように慎重に実施してほしいと感じます。
郡山	60代	年々、子どもたちが少なくなっていくのは、時代の流れとは言え寂しいかぎりです。家の前を通学する小学生の声が聞こえる日は、その一日が明るく感じられます。地理的に統合よりは複式の方が良いのではないかと私は思います。私も小学校4年の時に複式を経験しましたが、違和感はなかったですし、下の子の勉強に対してアドバイスをすることで私自身も成長できました。
郡山	60代	複式学級が発生することは、しかたがないと思います。教育の適正化と少子化を両立しようとする、さけては通れない問題だと思う。早期に決断をすることで、問題点の洗い出しや実施してわかることなど反対ばかりでなく、複式学級を実施する方向で検討してほしい。
郡山	60代	複式学級を何校か見てきたがどの校の生徒ものびのびと学校生活をおくっていた。先生との関係も良好であった。人口が減少しているから仕方がない。
郡山	70代以上	時代の流れ（少子化）で致し方ないかと思うが、複式学級実施となると数多くの問題が発生すると思われる。児童数が減少したからと単純に考えずにぎりぎりまで考慮して欲しい。
栄	40代	複式学級になっても、国語・算数・英語は学年別で授業をした方がよい。体育・音楽・図工・生活などは2学年一緒がよい。私は、すでに子育てが終了していますが、地域に子供たちの姿が見かけなくなったことは寂しく思います。小学校の頃はのびのびと地域の人に囲まれて育つのが良いと思います。
栄	50代	過疎の地域に妻が住んでいて、経験上、学年をまたぐ学級はよくない、学力的に問題があるということでした。例えば、1回の授業で40分、1クラスに1年生と2年生がいるとして、1年に授業20分自主20分、2年に自習20分授業20分のようなことになったということでした。

栄	60代	少子化の流れは変わることはなく、但し、小学校の統廃合は通学距離が長くなることから交通事故等心配である。複式学級で教育が出来ない事はなく、かつ教職員の効率化にもなる。何事もムダを削除する必要がある。教育はある程度家庭にまかすべきであり、個々の自主性を尊重すべきと考える。
栄	60代	少子化問題が現実身近である事が分かりました。複式学級の担任に人格や資質の選考は重要であると思います。心ある方なら、良いクラスになっていける可能性があると思います。
栄	60代	複式学級だと、教員への負担も多くなる事は、少なくとも子供への影響も出てくると思われるので、2学年に1人の担任は考えてほしい。事前に複式学級を経験している所への見学や現場研修が必要ではないかと思う。子供への負担を少なくしてほしい。多人数で行う運動会等は、近くの学校と合同で行うなど、融通をきかせてもらえようかと思う。
栄	70代以上	複式学級では授業の進捗に影響があると思われる。

### (3) 小規模特認校について

合川	30代	小規模特認校ならではの学力向上により取り組んで頂きたいです。合川小学校だけでなく、天栄中学校も。他校区と差別化し魅力あるモデル校区にしてみたいかでしょうか。また学区外からの受け入れを促進してほしいです。最近鈴鹿市の小規模特認校メリットの発信が不足していると感じています。学校統合ありきで進めているのではないのでしょうか。質の向上に伴う生徒数増加があるべき姿だと思います。上手く宣伝すれば生徒が集まると思います。
天名	30代	天名小学校は以前から少ないなと思っていたのですが、本当にさらに少人数が増してきました。複式学級となると1学年で担任は、一人で多学年を同時に見ることは大変だと思います。いい点もあるのですが……。天名小学校も小規模特認校制度をとるとまた変わってくると思います。人数が少ないからすぐ廃校はせず、天名小学校をこれからも運営できるようなんとか続けてほしいものです。天名小学校は少ないけど強みもあって、天名小しかない行事もありますので……。今後とも天名小学校に通わせたいと思います。
天名	70代以上	今後、天栄中学校区の小学校人数は減少傾向が目に見えている。地域に根差した小学校のあり方は困難。発想の転換をせまられていることを前提に、180度頭を切り替え、学区外からの(マンモス校)通学者を増やす各校特色ある学校開拓を望む。例：スポーツ、IT、英語、情報などに力を入れる教育
郡山	50代	学校の人気が出るよう特色ある教育、スポーツ等を実施、他地区、他県から人が集まるように新しい学校を作る。



栄	30代	合川小学校、天名小学校に校区外からいろいろな理由で来たい（イジメなどで転校したい）子どもたちが来やすく、親の負担を減らす為、市内全域にスクールバスを走らせるとよいと思う。イジメだけではなく、桜島小のようなマンモス校でのきめ細かな指導が望めないことを不満に思っている方々への学校選びの選択の一つにもなると思う。
栄	40代	合川小学校の取り組みにすごく興味があります。生徒数が少ないから先生を減らすより、他方面から、通いたくなるような教育で生徒数を増やしていく方法に賛成です。
その他	30代	タブレット、英語教育などもっとやるべきだと思います。
その他	40代	小規模特認校制度にて合川小学校へ通学させていますが、他校との差別化を図らなければ、入学希望をされる児童はいなくなると思います。統廃合される場合、やはり、その地域に学校がなくなるというのは、その地域が衰退する要因になります。その後のことまで見据えた形で検討が必要かと思います。
その他	40代	小規模特認校制度を利用して通わせていただいています。学童も含めてとても良い環境を与えていただいていると日々感じております。色々難しいかと思いますが、小規模特認校制度は良いと思います。
その他	40代	少人数学級なら、きちんと指導をすれば、学力が上がると思います。きめ細かい指導を行い、少人数学級に通わせたいと思える小学校を作るべきだと思います。天名小は将来、統廃合するには惜しい立地の学校だと思います。震災時の避難地として最適だからです。その立地を活かして、複式学級を考える前に地域色のある魅力的な学校づくりを進めていくべきだと考える。
その他	40代	小規模特認校制度を利用しています。学校の雰囲気がとても良く、異学年交流が盛んで、子どもも楽しく通っています。今回は宿泊学習で天栄中学校区の子たちと交流出来ましたが、他の学年でも交流が出来るようになれば、中学校へ進学した時にスムーズに移行できるのでは無いかと考えています。ご検討いただければと思います。
その他	40代	合川小学校は、今の人数・環境がベストであると思いますので、もっと小規模認定特例校ならではの特色をアピールし、児童数を確保して、存続していくことを望みます。人数が少ないことをマイナスでとらえていくのではなく、それを利点に変えていくことはできないでしょうか。小規模認定特認校制度には、まだまだ色々な可能性があるはずで、もっとみんなで、子供たちを育てる環境づくりについて、考えていきたいです。
合川	60代	地域に学校がなくなる事には反対である。小規模特認校制度をもっと色々な人に知ってもらい、利用できる児童が多くなったらいいと思う。
合川	70代以上	合川小学校と合川公民館は、地区民のコミュニティの中心となっている。特認校として合川小学校が存続することを望む。行事が出来なくなる学童数になれば統合も必要となると考える。

郡山	50代	小規模特認校制度はとて面白い取組みだと思います。
郡山	60代	校区外からでも通学したい、させたいと思うような特色ある教育活動（例えば英語教育、地域伝統芸継承等）に力を入れて行っていく。
栄	60代	鈴鹿市の場合、どこも街というところはないと思うけれど、その中でも、ここにしか無い、ここでしか学べない何かを考えていけば、校区を越えて「入学したい」と思う親が増えるかと。今の時代、若い親はしっかりと自分の意見を持っていると思います。

#### (4) 統廃合の検討について

合川	20代	とにかく外灯が少ないので危ない。危険な道も多すぎる。合川地区ですが少し暗くなるだけで危ない。天栄中学校への道も車が子供たちスレスレで通っているのに、何故対策がとられないのか不思議です。統合するなら早く統合してほしい。2・3年通って統合となる子たち、いきなり生徒数が増える先生方…そして保護者…皆不安なので早めに発表してしっかり準備していける環境を作ってほしい。
合川	30代	人数が少なく先生の目が行き届く事はとても良い事だと思いますが、友人関係やコミュニケーションもとても大事な事と考えています。子供の事を考えると統合する事を前向きに検討して頂きたいです。
合川	40代	小さな学校を何校も存続させても維持費がかかるので統合すればよいと思う。スクールバスなどで通学すればよいのではないかな。
合川	40代	子供が少なくなり、運動会、文化祭などの行事ができなくなると子供たちがかわいそうなので、近隣の学校と統合して子供の人数を増やしてほしい。学校が遠くなくても、スクールバスとかを活用しても統合してほしい。
合川	50代	複式学級にならないように努めてほしいです。各地区で学校規模適正化委員会を立ち上げるのだったら、小学生や未就学児をお持ちの保護者に委員になってもらった方がいいと思います。
合川	50代	6年間クラス替えがない環境は、時に子ども達に厳しい面があります。地域に子どもの姿がなくなるのは寂しいですが、スクールバスを出していただいて、統合、または小中一貫教育をすすめてほしいです。
合川	60代	複式学級にするくらいなら、スクールバスを利用するなどして統合の方を希望します。
天名	30代	あと7年後には子供の数が減り、小学校のあり方を最近考えます。本当に子供にとって何が一番いいのかと考えてあげるのが大切だと思います。孤立している島の小学校ではないので、スクールバス等を検討していただいて、1学年3クラスほどのクラスを作っていただきたいです。クラス替えや運動会、色々な人と関わり、社会人になっても、コミュニケーションがとれるような、そんな教育を望んでいます。

天名	30代	クラス替えがないのがかわいそうに思います。ある程度の人数がいたほうが先生の数も増やせるし、統合して同じ学年の子供が60人くらいいる環境のほうが良いと思う。通学をどうするのが課題ですが・・・。
天名	30代	今の小学校も小規模ですが、アットホームな感じで、現時点は何の不安もありません。ですが、7年後には児童の数も減り、学校として成り立たなくなります。環境の変化があると思いますが、統廃合にしてもらって、クラス替えのある学年、友達が増える、学校行事に活気が出て充実した日々をおくってもらいたいです。
天名	30代	統廃合を行うべきだと思います。今現在で小さいお子さんのいる家庭の意見をもっと聞いてほしい。小学生のお子さんのみえる家庭でのアンケートだけだと、小学校の存続を希望する意見が多くなるように思います。その頃には小学校を卒業することになるのに・・・。
天名	30代	近隣の小学校との統合を選択しましたが、天栄中学校区の全部の小学校を一つにするのではなくて、児童の少ない天名と合川での統合がいいと思います。
天名	30代	大人の事情で複式にするのはどうなのでしょう？単純に考えたら…ですが、授業時間が半分なくなるっていうのはどうかと。仮に複式学級になったとしても、その場しのぎになる気がします。今は複式学級でなんとかかなっても、後に人数は減っていきます。いずれ統合しなければならなくなるのではないのでしょうか？どうしようもなくなってから動くより、今のうちから先を見据え、統合した方が人件費の面でもいいのかと思います。新しい学校で新しい事をたくさん取り入れてほしいです。
天名	30代	教育に手薄になるだろう複式には反対です。子供たちの教育面を第一に考えてください。結局は天栄中で仲間になるなら、小学校から統合した学校に通うことを望みます。早く決断してください。
天名	30代	複式はさげたいです
天名	40代	1クラスの人数が少ないのは、刺激が少なく、友達も固定されます。早急に小学校を統合し、1クラスの生徒数を増やし、刺激し合える環境にしてほしいです。
天名	40代	小学校を統合し、1クラスの人数を少なくとも20名以上にしてほしいです。刺激も少なく、競争心も生まれません。早く統合してほしいです。
天名	40代	複式学級より統合したほうが良いのではないかと。教師の指導力に大変不安がある。2学年同じで大丈夫なのか。それよりは統合したほうが・・・と思います。通学方法をどうするのか、悩みどころではありますが。
天名	40代	社会条件（人口減少、低成長、防災力）を考慮すると、統廃合することはやむを得ないと考える。ただし、天栄中学校区の各小学校は、小学校と地域が一体となった伝統的行事が多く行われているため、地域自治を壊すようなことがあってはならない。小学校は、地域活動の重要インフラであるため、土地・建物を地域住民が有効利用できるよう、特段の配慮があつてしかるべきだ。

天名	50代	統廃合にして、通学にかかるのなら、スクールバスを出す。中学校でもなじみの顔ぶれで、進学時に慣れやすいのでは、と思う。
天名	60代	今の少人数の学習形態はとてありがたいと思っています。しかし、複式学級になれば先生の負担が大きくなり、子供たちの学習にも支障が出てくるように思います。
郡山	30代	子ども同士が、刺激しあい能力等を高めあうことや、様々な考え方の人間がいることを感じてほしい。そのため、固定化や視野が狭くなると考えられる複式学級は望まない。
郡山	30代	まだまだご近所付き合いがある地域だと感じます。地元に敬意と誇りを持てる子供たちであってほしいと思います。一番は身近な学区で学べる事だと思いますが、そう遠くない所に小学校がたくさんあるので、統廃合されたらそれはそれで、多学級になり、子供の成長にもつながるのかなと思います。
郡山	30代	複式学級に関しては、やはりそうならないように適正化をすぐに行っていただきたい。学区外からの通学者を増やす方策には限界があり、素早く行うには、統合が現実的であると思います。社会で生きていく力を育てていくためには、少ない人数で学ぶことよりも、多くの人数の中で学び合いながらすごしていく方が、多様性が育つためそのようにしていただきたいと思う。様々なことを考えていただかないと難しい問題ですが、期限を設定して早急に対応していただくことをお願いしたいです。
郡山	30代	マンモス校も心配ですが、やはり2・3クラスあった方が、いろんな友達という関わりの中で、心を成長させてもらいたいと思っています。スクールバスにした場合、子どもの運動不足が大変気になりますので、その対策もしていただけたらと思います。
郡山	40代	統合したあとも、通常より数多い教師を配置し、子どものつながりをサポートする必要がある。年配者の意見ではなく、子をもつ保護者の意見に重きをおいてほしい。
郡山	40代	近隣の小学校との統廃合がより良いと思います。理由としては、生徒数が少人数化しつつける可能性が高いとわかっているのであれば、早い段階で統廃合するのが、対象となる子ども達や親御さんの心配という気がかりが減ると思うからです。もちろん、この件に関する話し合いは十分に行われていく必要があります。しかし、統廃合することで気になることは、やはり通学方法だと思います。新しい学校へ通う子にはスクールバスを出すなど通学の負担を平等にするべきだと思います。ただし、歩くことの大切さを考えると学校手前で下車し、そこから集団登校（下校も同様）にするのが良いと思います。

郡山	40代	時代の流れには逆らえません。児童数の減少は仕方ない事。いつまでも少人数、細かな指導、異年齢ふれ合いなど言っている場合ではありません。子供達同士の人間関係が固定され、いずれ中学を卒業し、大勢いる高校に行った時のギャップで委縮してしまい大変しんどい思いをするのは子供達本人。役所仕事としてのんびりしていないで、早急に統廃合を進め、通学方法は、旧小学校と新小学校間はスクールバスを出すべきです。経費を捻出するのが市の役目、頑張って下さい。もっと早くスピード感を持って下さい。
郡山	40代	本来は、現学校がそのままであって、中学で新しく仲間が増え、人間関係の大切さを知ってもらいたいと思いますが、それでは生徒の数が少ない小学校から中学校に上がった時、ストレスやプレッシャーなどで、不登校になってしまったりするのもかわいそうだと思うので、複式学級になるところは統廃合も仕方がないのかなと思います。一番は中学に入学時の学力に差がないようにしてあげるべきだと思います。
郡山	40代	統廃合をしていただいた方が、子供同士のふれあいが多くなるのでいいと思います。ただ、毎日の通学等に送迎が関わってくると思うので、保育園のようには無理かもしれませんが、朝早くから解放、バス通学などを配慮して頂くといいかなと思います。
郡山	40代	統廃合になる事で教職員が増加し、効果的な教員配置や、業務分担が出来るメリットがある。と期待できる効果を書いてあったが、教職員が増加するのに、児童の大きな環境変化に対応する教職員の不足の課題も想定される。とも書かれており、教職員は、今よりも十分に児童に対して対応できるのか、出来ないのか、どちらなのか、わかりづらい。生徒の人数の予測しか書かれておらず、その人数に対して教職員が何人の配置になるのかも知りたい。統廃合になるとして、保護者、地域の協力と、十分な教職員が配置されるならば、安心出来る。
郡山	40代	6年間同じクラスで進級するのはコミュニケーションの取り方を学べない。固定観念がつきやすい。統合してスクールバスを出した方が経費もかからないのでは？複数クラスの方が、子どもが学ぶ事が増える気がする。
郡山	40代	今は、いじめ等人間関係で困ることもあるので、一学級より最低二学級あれば逃げ場もできるのではないかな。
栄	30代	天栄中学校区の中で、特に合川・天名は子供が少ないですが、その親御さんは地元を大切にしている方が多いです。行政の立場からでなく一市民としてこの問題を考えていただきたいです。天栄中学校区の4校の小学校は中学で一緒になるので中学校進学前から絆も深まるし、複式にするより統廃合にする方がずっとずっとメリットが多いと思います。複式にしても、どう前向きにとらえても、デメリットの方が多く感じますし、いろいろな方とこの話をしますが、複式を望んでいるという意見を聞いたことがありません。
栄	40代	複式学級はデメリットが多いと思います。統廃合でも小中一貫でも良いと思いますが、スクールバス等を充実させる方がコストもかからないのでは？

栄	40代	子どもの減少により単学級になっているが、子どもにとってもっといい環境があるのではないかと思います。今後、天栄地区の子どもの減少により、ますます他地域との格差も生まれてくると思うと、早急に適正化・適正配置を求めます。人間関係もずっと固定され、良くなるどころか悪化していく一方です。このような状況から考えても統廃合をして、この時期だからこそできる人間関係の基盤を子どもたちに伝えてあげたいです。
その他	30代	少ない小学校の子供さんは急に中学校で人数が多くなり、同じ小学校の友達も少ない為、学校生活に慣れるのに大変だったのでは？と周りの話を聞いて感じました。私は、人数が多い環境で色々な人と関わることがいいように思います…。統廃合がいいのかな…と思います…。
その他	40代	少子化が進行している昨今、息子の学区でこのような問題がひたひたと迫ってきているのだと、驚きとともに、真剣に考えるべきだと感じています。個人的には、複式学級には反対というか、避けたいとは思いますが、様々な事情や教員の方々の負担を思うと、仕方がないし、受け入れるべき現実なのでしょう。子供達の未来の為に、より良い方向へ導きいただきます様、お願いします。
その他	40代	学区外からなので登校については問題なしですが、学校を新設する予定であれば統廃合を望みます。複式学級は絶対に反対。
合川	40代	合川校区は著しい高齢化が進んでおり、今後も一層加速化していくことは間違いない。児童の就学地としては、甚だ不適切な場所であるといわざるをえない。一日でも早く統合されますよう、期待しております。
合川	40代	子供が少なくなっていっているから、早めの統合をしていくのがいいと思う。だから、このようなアンケートをしなければならない。
合川	40代	小規模校のメリットもいろいろあり、理解はできるのですが、子供たちの人間関係の固定化や多面的な考え方ができなくなる等の心配があります。これから、集団社会へ出て行く子供たちのためにも、近隣校との統合をした方が良くと思います。
合川	40代	人それぞれですが、私は、社会性も考え人数は多い方がいいのかなと思います。
合川	50代	小学校の統合が必要と考えます。1クラス30人程度で、多人数の中でもまれる事が大切。
合川	60代	複式学級から統廃合へと徐々に移行していくよう（新1年生から適用等）きめこまかく時間をかけて進めるべき。子どもは地域の宝、国家の基本であり、生徒数に比例した教職員の数といった、合理的手法のみで判断すべきではない。少子化時代は、自ずと少ない子どもに多くの大人が関わるべき時代であり、むしろ大人の関心と、愛情を十分に注ぐべき時代と考える。心豊かで、人間力ある子どもを育てるべき時代であり、学力や効率、効果のみで教育（小・中学校）をとらえるべきではない。
合川	60代	学校の統廃合により、教職員のコストでスクールバスは運営できる。多様な人間関係を作るためには統廃合は必要。

合川	60代	合川小の場合、市全域から児童を受け入れているのでよいと思うが、将来的には統合を考えた方がいいと思う。子供はある程度的人数の中で育つべきだと思う。0才～5才の人数を見ると合川、天名は少なすぎる。
合川	60代	全国的な人口減少に伴い子供（小学生、中学生）の減少も続いています。この現象は今後ますます加速していくと思います。小中学校の統廃合が必至であると考えます。小中学校の統廃合については、スクールバス等の運行も考え、同敷地に小学校、中学校が有るほうが望ましいと思う。時代の流れとしては、統廃合にむかっていると思うので、英断をお願いしたい。
合川	70代以上	今後も子供が増える地域ではない。早い段階で現在ある学校施設を活用し統廃合を進めるべきと考える。
合川	70代以上	当校区は市のはずれで、過疎化が進み児童の減少が避けられない状況です。ただ、複式学級は好ましいと思われず、学校の統廃合を考えてほしいし、適当な場所に学校を移転・新築するぐらいの施策もしてほしいと考えます。
天名	50代	複式学級は絶対にしないでほしい。子供の成長を第一に考え、多くの児童と関わることのできる教育環境を考えていくべき。そのためには地域に学校がなくなっても仕方がないと考える。
天名	50代	今の状況を見て考えた場合、学校統合は避けられないと思います。複式学級は指導方法を見直す必要があり、偏りが生じてしまう可能性もある。統合の問題は通学方法を構築し、安全の確保ができれば、教員不足の問題の解消や、教育に関する変更は不要と考えられる。一時しのぎの対策は状況の悪化となりかねないと思います。
天名	50代	地元に小学校が無くなるのは非常に残念だが、統廃合があってもやむを得ない。また、地区行事と小学校の関わり方も非常に難しいが考えて行かなければならない。
天名	60代	子供の減少が顕著化することから、天栄中学校区内にある4小学校（栄・天名・合川・郡山）を統合し、（仮）天栄小学校又は小中一貫校とする。学力の向上は個人的に達成することができるが、集団教育による社会性等は学校でしか達成できない。将来、社会に出たときに、多様な人間関係に適応しなければならないことから、集団教育の重要性を強く感じている。
天名	70代以上	4つの学区を統合して「天栄小学校」をつくってください。
天名	70代以上	合川小学校でも遠からず生徒数は減少するものと思う。だったらはじめから統廃合したほうが良い。課題はいくつもあるだろうが、全国で多くの学校が統廃合されているがいずれもクリアされているのだから、そう心配することはない。やる前からとりこし苦労しても始まりません。
天名	70代以上	統廃合を早急に進めるべき。

郡山	40代	自分や子供（10代後半）の学校生活を思い返すと、1学年3~4クラス100人くらいはいないと、活気がないと感じられた。誰とでも仲良くできる年頃のうちに、多くの出会いを経験した方が、高校以降の社会生活を営む上で必要とされる、コミュニケーション能力が養われてよいのではないのでしょうか。
郡山	40代	補足資料を見るかぎり、郡山小学校の子供の数の減少も明らかです。郡山小学校もまだ少し先かもしれませんが、複式学級を考える時は来るはずで。こういう話はすごく時間がかかります。地域の方の意見も大切ですが、行政的判断も必要だと思います。
郡山	50代	子供の減少での統廃合は仕方のない事かもしれないが、他地区と同じ様なレベルで、小学校、中学校共、教育のできる場であってほしいと思います。
郡山	50代	少子化の著しい地域に、子どもを呼び込むような若い世代を呼び込むような、大胆な施策が行われな限り、今後、あちこちでこのようなことが起きてくると思います。現実的には、統合がよいと思います。その際、スクールバスを運営する人物、物的支援が必要となります。
郡山	50代	鈴鹿市の学校施設が一斉に老朽化していると聞いています。鈴鹿市の予算も限られている中、教育予算のかけ方を考えていく必要があると思います。1校にすることで人件費もおさえられ、その分少人数教育（ITの先生？）にたずさわる教員増をしていくとよいと考えます。
郡山	60代	学習形態や内容に制限ができないよう工夫して欲しい。また、生徒の自主性や自ら考えて行動するのに十分な時間を与え、先生による指導要領の画一的な押しつけが起きないようにして欲しい。そのためには、小学校の統合による学年毎の生徒数の確保を図ることが最良では…と考える。
郡山	60代	現状を考えると統廃合は必要であると思う。どこかで思い切る決断をしなければならぬと考える。多様な意見、考えがあると思うが、大切なことは子どもにとって最もよい学校環境をつくることだと思う。大人の学校に対する思い入れだけで判断すべきではないと考える。
郡山	60代	子どもたちの事を一番に考えて、統廃合や一貫校を選択してほしい。統廃合の場合、スクールバスは絶対必要と考えます。安全面も考えて。少人数の学校では、交友関係が固定化してしまうのが問題だと思う。多い人数の中だと、自分に合う子を選ぶことができる。また、たくさんの意見を聞き、成長できると思う。
郡山	60代	子供の教育上、複式学級に問題が多いのであれば、統廃合などを考えていかなければと思います。大人の都合、例えば予算面の問題はあっても、子供の為に何がベストかを考えて、解決していくべきです。
郡山	60代	地域性などは、天栄中校区内なのでさほど問題はないのではないかと、色々な面で複式学級よりは統廃合の方が良いように思います。



郡山	60代	私の出身地では、昭和の時代（30年代）ですが、学区に分校があり、分校で1学年・2学年を過ごし、3年生から本校に通学する制度でした。小学校を卒業するとそのまま中学校へ進学しました。人件費、施設の維持費はかかるかもしれませんが、私の小学校時代に実際に行われていた制度です。天名小と合川小の施設が大きい方に統合したら良いと思います。
郡山	60代	小中学校の統合を行い、1学年50～100名以上とする。できれば100名以上。通学のためのスクールバスを充実する。教員の数が増し、レベルアップを期待できる。学校の施設を充実できる。（分散では不可）将来はさらなる統合が必要となるので、長期ビジョンを考えてください。
郡山	60代	早めに学校統合する事で、今後の少子化、過疎化に備えるべきだと思います。
郡山	70代以上	小学校の統合に賛成である。子どもたちの成長という観点にしばってみれば、統合の方がメリットが大きく、より現実的な方法であると思われる。しかし、高齢化・過疎化が進む地域にとっては、村から学校がなくなるということは、村の消滅さえ危惧させる重大事である。議論を尽くして、より多くの住民の意見を集約する必要がある。
郡山	70代以上	統廃合により、生徒数の多い学校にすることが大切です。小中一貫や複式学級では恒久的な解決策にはなりえない。どのように統廃合するかは、行政が30年先をみすえて画策することが行政の責務であると思います。
栄	50代	今後の施設維持の問題からも統廃合するべきと考えます。ただし、学校施設は地域住民にとって最も身近な公共施設であり、地域の防災拠点となっていることから、さまざまな問題について検討する必要があると思います。子供たちにとって、より良い学習環境を考えてください。
栄	60代	補足説明資料を拝見し、子供の少なさに愕然としました。一クラス10人未満では、生徒数、教員数など、教育に関して、偏ったことになるのではと思います。ある程度の人数がいて、子供の協調性や、それぞれの役割分担などが身に付くのではと考えます。
栄	70代以上	学校はある程度大きい規模で、多くの友人と交わったり、設備も集中できると思われるので、統廃合していく方がよいと考える。

#### (5) 小中一貫型小学校・中学校について

合川	70代以上	複式を考えるより、小中一貫校を考えるべきです。又、10年後に同じ事になるのでは。是非良い方向に検討して下さい。
天名	30代	天栄中学校付近に小学校を作り、小中一貫にすれば人間関係の選択もできるし、上下関係等も学べると思います。そしてスクールバスを用意していただけると、保護者としては大変安心です。

天名	40代	周りの反応を見ていると、地域に学校がなくなることには不安はあるものの、現状を考えると統廃合も致し方ないという感じです。十年二十年先をみて、小中一貫教育を推進していただきたいと思います。4、5年で慌てて答えを出すのではなく、今後の学校のあり方を考えるのであれば、いろいろな改革案を議論してほしいと思います。現在、小学校と中学校がしっかりと連携していると思えない事案が多く、せっかく教育環境を見通すのであれば、簡単な合併に流れるのではなく、他市にも誇れるような教育改革をしてほしいです。
天名	40代	基本的に廃校には反対ですし、複式学級には肯定的です。様々な状況を鑑みて、学校存続が望めないのなら、小中一貫教育を望みます。児童減少による統廃合が避けて通れないのなら、単に複数校を1つにするのではなく、中学校までの9年間を見通した、新しい学校作りを考えていただきたいと思います。現存の小学校への単なる合併は、メリットがあまり見えず、反対です。
その他	40代	4校の生徒たちが一つの小中一貫校に集まる…だけでなく、全国的にも注目されるようなことに特化してみてもはどうでしょうか。私たちの母校は無くなってしまいましたが、良い中高一貫校であれば大歓迎です。
合川	50代	まだ鈴鹿市内にない、小中一貫校にチャレンジしてみても良いと思います。
合川	70代以上	市も思い切って小中一貫校に踏み切るチャンスと思われる。真剣に考えてほしい。空き校舎等は、自治会に管理を依頼するのも一つの方法と思う。
合川	70代以上	複式学級にしても、統廃合にしても、ある期間は問題解決となりますが、その先何年か先に同じ問題になるかもしれず、小中一貫校にしておく事が良いのかもとも思います。
天名	60代	近隣の小学校の統合だけでなく、新しい校名・校歌の小中一貫校を設置する方が望ましいと思う。ただ、地域と小学生の行事への参加等、今後検討していく必要があると思う。
天名	60代	現状では既に天名と合川の統合では適正規模を確保できない。他の学校においても、ほぼ各学年1クラスの状況では、統廃合ではメリットは享受できないのでは。天中校区においては小中一貫をめざすべきではないでしょうか。行政による人口増加策が望めない今、早急に小中一貫に向けた方向性を行政みずから示すべきではないでしょうか。
天名	60代	天栄中学校区4小学校の子供の数は年々減少。何年か後にはどの学校も1クラス以下という状況。今から小中一貫校とする案を考えていった方がよいのではと思います。問題・課題は山積みですが、現在小中一貫校として教育が行われている地域・現場を参考にしながら、進めていってほしいと思います。
天名	70代以上	小中一貫校の定義がはっきりしない。4つの小学校を統合して1つの小学校にすると天栄中学校の校区と同じになるが、直ちに小中一貫校になるわけではないと思う。4つの小学校を統合すれば、小中一貫校にしなければならないと考えているのか。

天名	70代以上	人口減少社会の流れをみすえ、鈴鹿南部地域での小中一貫校のモデルケースとして進まざるを得ないのではないのでしょうか。
郡山	40代	小中一貫校となれば、小6の最高学年としての意識や役割がへる事もあり、子どもの成長を望む親としては、一貫校ではよくないと思っている。
郡山	50代	天栄中学校の構成においても、稲生小学校からの編入者が半数を超える現状を考えると、小中一貫とするにしても、合川・天名・郡山・栄に稲生を含めることも考えないといけないのではと思う。
郡山	60代	近隣小学校の統合については、どちらの学校へ統合するのか昔から各地域の思いもあり、たいへん難しいと思われま。複式学級については、教員が少ないことできめ細かな子どもとの関わり（学習、生活含め）に課題がありそうです。以上のようなことを考えると、小中一貫校としての学校のあり方を一考されることを望みます。
郡山	70代以上	現在の0歳児が小学生になるころには、合川、天名、栄、郡山の4小学校をあわせても400名程度であり、天栄小中学校もありかな。
栄	50代	複式学級は可能な限り避けるべきであると思う。統合の弊害も考えられるので安易に解決策とするのではなく、人口減少が予測される地域に転居者が増えるような施策が大切であると思う。小中一貫校は、複式学級に関する解決策になり得るとは思えないが、別の意味（小学校高学年の教科担任制）で重要であり、ぜひ、進めていただきたい。

## （6）校区の再編や学校選択制度等について

合川	40代	この地域は農地が多く他の地域の方が住みにくい環境にあるため、学校云々ではなく、その対応を変えて、いろんな方が引越して来れる場所にしていく必要があると考えます。
合川	70代以上	天栄中学校区の4小学校区内の、入学、転校等を自由選択制にする。小中一貫校設置ありきの前に小学校生徒数の平準化が図れればと思います。
郡山	50代	鈴鹿市全体で、一度、区画整理の見直しをした方が良いのではないかと思います。
栄	20代	人数が少ないので、学区を広めて選べるようにして、これる人を増やしてほしい。
その他	40代	天栄中学校にて、通学区域の弾力化が行われているように、小学校も導入してはどうか。大都会でも離島でもないのに、地域に学校がなくなってしまうと、過疎化がさらに進んでしまうと思う。
その他	50代	学区の見直しが必要。どっちみち統廃合はやむを得ないと思う。この辺は農業が盛んである為、その土地がこれからどの様になるのか、そのビジョンが大切だと思う。
天名	70代以上	校区再編を行い生徒数の平準化を行うこと。そうすれば過少校に対しても過多校に対してもメリットがでる。

郡山	50代	郡山小学校は、津市河芸町とも近いことから、鈴鹿市だけではなく津市の千里小学校とどちらかを選んで入学できたらいいと思います。市の枠にとらわれず、対応していただきたいです。
郡山	60代	市境に近い地域（市をまたいだ）通学校への選択を検討、県とし全体的に取り組むべき。
郡山	70代以上	鈴鹿市だけを考えずに。例えば津の杜の街の人は、郡山小か千里ヶ丘小→天栄中へ。

### (7) 通学方法や通学路の整備について

天名	30代	安全な通学方法で通わせたいです。
郡山	30代	仮に小学校を統合するなら、通学がとても心配。小学校からの距離がある場合は、登校時に待ち合わせ場所を決め、そこから集団でバス通学だと安心かと思う。
郡山	30代	集団登校がないのが不安です。1年生の子が1人で歩いていることもあり、登下校への安全面が心配です。
栄	30代	周辺を田畑で囲まれているため、通行人も少なく、子供の通学に不安を感じることがある。遠方に通学になる場合、スクールバス等通学方法を考えて頂きたい。
合川	30代	一番なのはこのままかと思いますが、統合等するとなると、通学等などの問題や子供同士の関わりなどの問題についてどうしていくのか一番考えなければいけないと思う。
郡山	40代	子供達は柔軟性があるので、人間関係は心配しておりませんが、かなり通学時間が増えてしまう子供の安全性や保護者の心配が増えるのが気の毒に思うだけです。
郡山	60代	どの親御さんにとっても、登下校時が心配です。スクールバスを使っても交通事故等不安はつきものです。地域を活性化する意味で、中学校区内を走るCバスを利用できるようにできないものでしょうか。児童・生徒はもちろん高齢者が利用できる方法も考えていただくわけにはいきませんか。
郡山	60代	特に、通学路の安全確保をお願いしたい。
郡山	60代	廃校にしたら、スクールバスが必要。C-BUSの活用。
郡山	60代	送迎方法を確立できたら統廃合も止む無しと思います
郡山	70代以上	統合した方が良く考えている方ですが、いざそうなると遠くなった子供達の通学が心配になります。特に低学年の児童においては…。
栄	40代	子どもたちの安全な通学方法の確保を検討いただきたい。スクールバスの整備と予算化、または、保護者の送迎にするにしても、ロータリーや駐車場等の学校での昇降場所の整備等。
栄	70代以上	旧学校区域により、学校が近くても行けないことがあり、不合理が発生している。近くの学校へスムーズに行ける様にしたらどうか。通学路の問題で、安全な近くの学校へ通わせたい。

## (8) 他校との交流について

合川	30代	1クラス15人程で6年間同じ仲間と過ごして少人数でとても楽しかったのですが、中学校に入学した際、1クラスに同じ小学校からの友達が3人しかおらず、非常に困惑したことを覚えております。その為、中学で一緒になる校区の小学校との統合が、子どもにとって中学になった時もコミュニケーションがとれやすいかと思います。しかし、統合不可の場合は、もっと中学で一緒になる校区の小学校との交流を深める為の行事や授業を増やすべきではないでしょうか。
合川	40代	交流会をするとよい。4校集めて(学年別で)コミュニケーションの場をとるといいと思います。統廃合になった時、少数学校にとって不安が減ると思います。地域の方々も校区内交流をぜひ。
合川	50代	中学校との交流や中学校区小学校同士の集まり等、積極的に行うと良いのではと思います。
天名	30代	他学校との交流会の場を作る(スポーツや発表会など)。少人数でアットホームなきめ細やかな対応をしてもらえると嬉しい。
天名	40代	現在も小学校によって子供たちの環境の違いがあり(お小遣い、スマホ、コンビニ、店など)、中学校に入学すると活発な子、おとなしい子など、同じ小学校の子で友達が分かれているように思います。進学する前に交流する場が数回あると、中1ギャップは減少するのでは?
天名	70代以上	小学校間の交流を6年生の時にさせてほしい。
郡山	40代	少人数なら少人数なりの利点もあると思います。金銭的な問題もあると思いますが、いきなり統合ではなく、今年行われたキャンプのように、イベントを取り入れて交流していくのはすごく良いと思います。
栄	30代	交流のキャンプはいい経験、思い出になりました。スポーツ大会や遠足、カルタ等、交流できる機会は今後増やして欲しいと思います。小学校は地域にとっても大切な場ですし、周囲の大人に関わってもらっている事を学ぶ場にもなっていると思うので、顔の見える距離を保ってほしいです。
天名	60代	統合になった場合に、子どもが不安にならないように各小学校との交流をしっかり行い、安心して新しい学校に通えるようにしてほしい。今からでも栄・郡山・合川・天名の小学校同士が交流(はじめは2校ぐらいから)してほしい。
郡山	30代	今年初めての試みで行った4校合同宿泊学習(キャンプ)、こういった機会を増やしていく事で、子供同士の間関係の幅も広がり、活発なコミュニケーションが自然に出来るようになっていくのではないかと思います。

郡山	40代	近くの小学校、中学校の交流の場をもっと増やし、休みの日などに、地域との交流としてイベントなどを増やし、この地区に住んでいて良かったと思える様にしてあげたい。
栄	50代	子どもたちの人数が少なくてできない行事は、中学校区合同で行うなど考えてみてはどうでしょうか。中学生になったとき顔見知りの子がいるというのは心強いと思います。
栄	70代以上	他校との交流を持つ事で、お互いに刺激し合い、社会的視野を広げる機会になれば良いと思う。

### (9) 教育環境について

合川	40代	様々な専門家を含めた中での協議してもらいたい。教育学以外の分野で、新しいコンセプトを元をお願いしたい。子どもが少ないことをチャンスにしてもらいたいです。
天名	30代	人数が少ないからこそ、しっかりと一人ひとりの学力の向上をしてほしい。体験型の学習など、様々な経験をさせてほしい。コミュニケーションツールとしての英語力が身につくような学習をしてほしい。
郡山	30代	人数が少ないからこそできる教育、地域の人を巻き込んだ活動を期待します。
郡山	30代	先生との信頼関係が必要なので一対一で話す機会を増やすこと
郡山	30代	子ども達が安心して通える学校が一番です。子ども達は友達関係や、苦手な授業などで不安を感じやすいのでその不安を解消出来るように地域の方が学校へ入っていただき手助けをしていただけるととても安心します。PTA活動においても一番は子ども達の学校生活が安心出来るように保護者と先生で話し合える事が望ましいです。
郡山	40代	未来を担う子供達に対して、本来一番手厚く環境を整える事が、行政、地域、保護者など全ての大人の役割だと思う。子供は柔軟で適応力も高いとは思いますが、必ずしもそんな子供ばかりでない事も事実。画一的な方法でなくいかに1人1人に添った指導、配慮ができるかが大事だと思う。
郡山	40代	職員（先生）の負担をできる限り少なくし、一人一人の子供に向き合って適切な指導ができるシステムづくりが必要だと思います。
栄	30代	いかなる形であれ、子供1人1人に目が行き届いた学校になればいい
その他	30代	小学校のうちから子供達が打ち込めるようなクラブ活動があると、個人的には嬉しく思います。
合川	60代	保護者の方、子供らが一番どうすればいいのかを聞いてみてほしいです。少人数の中のんびりでいいと思う反面、大勢の生徒達と中学で一緒になった時、心配にもなります。
天名	50代	メリット・デメリットはあると思います。子供にとって何が一番良いのかをじっくり考えてもらい進めてもらいたいです。

天名	50代	児童の減少により、このまま天名・合川小学校を続けていくのは無理かと思いますが、鈴鹿市の児童は皆平等な教育が受けられるようお願いいたします。
天名	60代	たとえ子供の減少があったとしても、子供がよりよい教育を受ける権利は変わるものではないと思います。また、たとえ小規模校とはいえ、地域とのかかわりも深く、地域全体で子供たちの成長を見守っております。子供にとってよりよい教育環境になるよう願っております。
郡山	50代	いじめ等がない環境作りに力を入れてほしい。
郡山	50代	自身の経験から、少人数過ぎると固定化された人間関係となり発展性が無い。自立した環境が無いと社会に出てから困難を伴うと思う。
郡山	50代	児童数の多い少ないはそれぞれ利点欠点があると思いますが、先生方がそれを認識され、子供達にとって居心地の良い環境を作れるか、問題を見逃さず如何に対応できるかによるのでは。社会が激変する中で自分を見失う事なく生きていける土台を作ってあげてほしいと思います。通学方法は学童保育や地域のまちづくりと連携するなどで解決を。全ての子供が学校で楽しく過ごせることを願います。
郡山	70代以上	むずかしい年頃の子供達を見ていただく先生方の方がえらいと思いますが、志摩地方の様に少なくなったらなつたで、良い事もあると思います。今の時代、個人となり、近所の事を見知らぬ様な事ではなく、近所まわりと仲良くやっていける様にし、運動会もみんなで楽しくやれる様にして、ここしかない学校作りをしていてもらいたい。
郡山	70代以上	少子高齢化の中で、子どもたちに手あつい教育環境をつくることは未来にいけると思っています。予算を削ることには反対です。
栄	30代	どちらの形にしても、メリット・デメリットがあると思います。今現在も1学年単級だと、人間関係が固定されてしまう心配はあります。(上下関係なども含めて) クラス替えをし、色々な人と関わり成長し合える事が理想です。
栄	50代	低学力学生を発生させないということを最重点においた教育施策が必要である。その結果として、単・複併存となるならば、それもやってみる価値はあるものと思う。
栄	50代	どんな形であれ、その時のその時代にあった生き方をしなければならない子供達だから、その時の子供の為だと思える事を子供目線で大人達がいい方向に教えてあげたい。
栄	50代	学習・知識は大切ですが、もっと心と身体を鍛える必要があると思います。さらに子供達には、指示待ち人間ではなく自分で考えて動けるように感性を磨きコミュニケーション能力を高める事が大切だと思います。
栄	50代	子供たちは順応性を持っています。どんな状況でもそれなりに対応すると思います。やはり、問題があり、心配なのは周りの大人たち(先生も)。子供たちの教育環境を良くするには、大人たちの行動です。

栄	50代	この地区には人生経験の豊富な年齢層の幅が広い方々が多いので、幼稚園から中学生までの成長を通して長期に渡って接する機会を作って欲しい。災害時や身の上に危険なことが及んだ時や子供同士のトラブル時にも親や教師以外の方々にも気付いて貰いやすいと思います。
栄	50代	今後の学校のあり方については様々な意見や考え方があると思いますが、どのような結論になろうとも、子ども達が安全安心に充実した学校生活が送れるように、行政も地域も皆が力を合わせて環境整備を進めていかなければならないと考えます。
栄	60代	地域一般の大人が学校の授業を参観が出来て今と昔との教育現場の相違をはだで感じる場面を造って見ては。現在のIT教育も良いが、時々農業体験して物造りを生で感じる経験をさせ、苦労、良さを知ってもらう。
栄	60代	ひとりひとりの個性が大切にされて、どの子もみんな、子どもたちが楽しく、元気に活動できる場にしていただければよいです。
栄	60代	少子化は、全国的な問題であり、すぐに解決できるとは思えないが、子供達がのびのびと育つことができることを目指して欲しい。
栄	70代以上	通学の時間に子供同士、地域住民とのちょっとしたつながりがあると、人間形成にも少しは役立つのではと思います。
栄	70代以上	小学校の一番大切な役割は、児童の健やかな成長を育むことである。成長には、いわゆる学習上の成績といった学力の成長は当然ながら、身体の成長、精神的な成長も含まれる。また、副次的ではあるが、小学校は地域コミュニティの連帯を生み出し、維持する役割も担っている。この様なことをよく考えた上で、今後のあり方を決めていただきたい。

### (10) 教職員について

合川	50代	子供たちが健やかに育つためには、学校規模というより、その学校の先生方の高い専門性や教育に対する意欲、チームワークが大切だと思います。
合川	60代	子どもたちを良くする教育環境と言いますが、学問に重きを置き、モラル面をあまり重視していない教育文化になっているように思います。そのためにも、先生方のモラル向上を図る必要があると思います。
郡山	30代	先生1人1人の業務を減らして、余裕を持って仕事に取り組めるように（子どもに向き合えるように）してください。
郡山	50代	1つの学校に教員が少なくなるということは、教員の負担が多くなるということ。教員にゆとりがなくなれば指導を受ける子供に良い影響があるとは思えない。現場の教員が子供を指導しやすいような環境が一番。私達にはそれはわからない。



郡山	60代	子どもたちの教育環境を整えることを考え、一人ひとりに目が行き届いたきめ細かな指導を受けることができることが可能となるよう対策すべきではないか。リタイヤ教員に限らず一般のリタイヤ会社員を再雇用的に採用して、クラスをフォローする人員を配置するなどの方策も1つではないか。いろいろ考えてください。
栄	40代	子供の人数が減ってきて、昔より目が届く環境だと思いますが、先生の指導力が不足していると感じます。
栄	50代	2学年同時でも、自分の意見を持ち展開できる先生の指導は心配してない。他学年学級なら将来の人間関係作りには問題ないのではないか。社会に出たら後輩～先輩まで他学年だし、幼い頃からかかわることはむしろ、人間力を伸ばすのではないか。
栄	50代	先生の人数を減らすことには反対です。
栄	50代	特に教員の指導・支援について、疑問を感じる場面が多く見られるので、教員の採用試験や新任指導、教員同士の研修について、より一層真摯に取り組んでいただきたい。
栄	70代以上	保護者の価値観の多様化、学習内容の多さ、子ども達の人間関係を作る力の弱さなどの問題もあり、一クラス30人以上は先生方の苦労も大変だと思います。国の基準、予算があって動かせないかもしれませんが、市の補助などで、先生を増やすことはできないものなのでしょうか。保護者の間では、「一クラス20人位で、ゆったりときめ細やかに指導してほしい」という声があります。
栄	70代以上	子どもの個性の把握はできにくくなると思います。副担任の配置を加えるか、資格をもったOBでサポートできる体制も必要だと考えます。
郡山	50代	教員の負荷が大きすぎる為、教員の数を増やし、将来の子供達の為にきめ細かい指導が必要。複式学級や学校の統廃合など有り得ない。税金がムダにかかる為、上記の様な施策を考えていると思うが、教員を減らしたりする事は逆効果。教員等を減らす様な施策は許せない。教員の現状を直視すべき。
郡山	50代	教員の人数が少ないので、子供に目が行き届かなくなっていると思います。教員の定数を少し多くしていただきたいです。

### (11) 通学区域の弾力化について

郡山	40代	現在、稲生小からも天栄中へ通学している生徒がいます。毎年、希望数なので同じではないものの、人数表をのせてほしかったです。天栄中の出身小別人数も知りたかったです。人数が少なすぎるのは困る。年配者の意見ではなく、対象の子どもたちを育てている年代、保護者の意見を尊重してほしい。
その他	30代	現在、天栄中では、「稲生小校区は地区外」ととらえられている節があるように思います。天名や合川などは小中の交流もさかんですが（人数の問題でしょうか）、稲生に関しては小中の学校を通しての交流がありません。

郡山	40代	2018年頃から本格的に稲生地区の参入がスタートしたので、稲生地区の方々にもどんどん活躍して頂いたりして、天中校区全域がひとつにまとまり行事等していく。
郡山	50代	天栄中学校区（栄・郡山・合川・天名）では、人数が少なく、白子中学校区の稲生が入ってきた事で、天栄の人数が多くなりました。地域の差があまりにも違いすぎますが、地元としては違う校区の子供さんが入ってくるのは少々とまどいもあります。

## (12) 人口増加施策やまちづくりについて

天名	30代	地域に学校があることこそが、子育てにとって重要であり、減少させることで地元へ戻ってこなくなることが心配です。人口減少である昨今、いかに地元で生活しやすくするかが大切だと思います。
天名	40代	この先もっと大変になると思います。若い人口が住みやすい環境をつくるべきであると思います。
天名	40代	他の地域からの受け入れや地域に新たに住民を受け入れる条例を策定。徳田地区は特に新たに家を立てることも出来ない。
天名	50代	地域が活性化するように、若い世代が住みやすい地区にして、人口を増やしていく。
郡山	30代	宅地造成計画や商業施設の誘致と教育環境の整備を一体となってやるべき。新たな土地に引越して来る人は、そういった将来計画も査定のポイントになる。
郡山	40代	昔と道路状況や池、沼などあまり変わりません。中勢バイパスもでき、車は昔より格段に増えているのに、歩く道路（特に団地じゃない天名、合川、郡山の昔からある地域など）は整備もされず、車の対向は当然、自転車との対向も困難や危ない所も多いです。小学校付近の整備や、子供が通いやすい地域にしていく事は重要だと思います。空き家、空き地、山林などたくさんあります。市で整備していく、再開発など進めば元々いた人間も戻るきっかけになると思います。
栄	30代	合川も天名も新しく住む場所がないから、人がいなくてあたりまえ。合川、天名地区に家があれば住みたいけど何もないから引っ越しできない、と言った声を10人近くは聞いている。学校の前にそちらをどうにか考えた方が早いと思います。
その他	40代	新しく中勢バイパスもできて、津へアクセスも良くなっていると思います。農地転用や空家対策等して、人を来るようには考えられないでしょうか？子どもがのびのび過ごせる小学校であってほしいです。
その他	40代	農地も大事ですが、対象の地区にもう少し人口が流入できるようにできないのでしょうか？複式学級は、離島や山奥とかの分校ならわかりますが、サーキットやホンダなどで有名な鈴鹿市の中で、なぜこんなにも地区によって差が出るのでしょうか？市内の一部の地区で育つ子どもだけ不便を強いられるのはおかしいと思います。合川小学校は、少人数で細やかな指導と教育が受けられて、とても良い所だと思います。その良い部分がこれからも天栄地区の子どもの教育に生かされることを希望します。

合川	40代	現在の状況に致った原因として、市街化調整区域と市街化区域の線引が大きいと思われます。線引きの制度が実施された頃と現在とは大きく時代が違います。複式学級や統廃合も根本的な解決策とは思えません。まちづくり、都市計画の見直しを柔軟なものにしていくことが必要ではないでしょうか？都市部からの就農希望者の受入れ、定着化も進めていくのも良いかと思えます。
合川	50代	このままだと、統廃合はやむを得ないと思います。教育委員会の問題ではなく、人を増やす施策をとらなければ、これらの自治体はいつか消滅すると思います。
合川	50代	子供が少ないという事は、その地域が若い世代にとって魅力がないという事のあらわれ。学校のみならず、地域として若い世代が住みたいと思うような町づくりをすべき。今まで、何の対策も取ってこなかったツケが小さな子供達にシワ寄せが行くのはおかしい。市の責任、大人の責任をもっと追及すべき。
合川	50代	単なる小学校をまとめるだけの話なら簡単なのかもしれないが、地域住民のプライドと小学校が重なる部分が多いので、大変難しい。子どもは学校と地域とが一緒になって育つもの。単に知識を詰め込むだけのものなら塾で間に合う。
合川	60代	できる限り小学校を残す必要がある。小学校を統合すると、廃校地区の高齢化が加速する可能性が高い。
合川	60代	近年の人口減少化をどう食い止めるか、少子化対策をどのように講じるのが課題であり、単に児童が減少しているから、こことあそこの学校を統廃合するといった方法では、真の対策にはならず、結局負担は、通学する児童とその父兄に影響が生じると思われる。市街化調整区域における人口増対策を講じない限り、人口減少、児童減少はますます深刻な問題となります。
合川	70代以上	人口を増やす方法を考える。自然豊かなこの地区に子供達を育てるよい環境とアピールして若い家族を呼びこむ。農地を埋立てたり、空き家を有効利用したりする。小学校をなくせば、この地区がもっと過疎になってしまう。
天名	40代	学校区内への定住人口を増やす政策を早急に行わなければ、いずれ消滅する。これは学校の問題ではない。街づくりの問題である。
天名	50代	そもそも大人になったら出て行ってしまふのが問題。この不便な地区をなんとかしたい。この地区が良くなれば問題は解決します。
天名	60代	小学校は残すべき。地域住民と小学校の関わりがなくなってしまう。まずは若者を増やさないと子供の数は増えない。現状は若者は地域外に出て行っている。
天名	60代	市街化調整区域をなくし、宅地化を進め、地域差を無くしてゆくようにする。それまではどんなことをしても今の学校区は守ってほしい。
天名	70代以上	市街化調整区域を廃止して、住宅を多く建てられるようになれば、人も集まり家族もでき、子供の成長を見守り、活性化するのではないかと思います。でも、色々な人の出入りで、問題もできてくるかもしれません（のどかな環境がおびやかされる懸念も心配されます）。

天名	70代以上	市の方の政策で他の県（又は他の市町）からでも移住しやすい環境をつくり、若い人を呼び込めるようにしてはどうかと思います。そうすれば自然と子供の声を多く聞けるようになってくるのでは。
郡山	40代	栄・合川・天名小学校の3校だったのが郡山小学校ができて今となっては、その郡山小学校の人も少なくなっている。太陽の街以降住宅地もなく人口が増えていない。子どもたちの教育環境が充実するには、やはり人が集まる町づくりだと思う。

### (13) その他

天名	30代	もう、おとしどころが決定されているのではと、うたがってしまう。手おくれ（決定されたあとの説明）になる前に建設的な説明をしてほしい。
天名	30代	教育の観点でなく、小学校には地域のコミュニティとしての大きな役割がある事をきちんと考慮すべき。複式学級と廃校の問題は別。
天名	30代	10代・20代・30代世代が将来家庭を持ち、地元に戻ってきたときに、地元の小学校に通わせたい、通わせてよかったと思える強みが、1つでもあれば良いと思う。
郡山	30代	少子高齢化の時代の中、地域によっては子どもの数が減っていくことは避けられないことであり、その時代の流れにあわせて、学校のあり方が変化していくことは必然の話。現在やこれまでの学校のあり方をベースに今後のあり方を考えると行き詰るので、子どもが少ない、教師が少ないという学校だからこそできることは何であるかを1つずつ検討し、今後の小学校のあり方をつくり上げてほしい。
郡山	30代	5月にも適正化のお話をお伺いさせていただきました。その時保護者の方は通学方法などが不安にあがってましたが、高齢の方は違うことが不安に上がっていて、考え方の隔たりがあるなと思いました。その後NHKで小規模の小学校の取り組みで地域の協力をあげておられました。昭和と違い、共働き世代の増加、祖父母も孫の世話や自分の趣味など、多様な生き方があり、協力は中々難しいかもしれませんが、それも一つの方法かと思います。
郡山	40代	急激に子どもの数が増える事は考えにくい為、早い段階から周知し議論する事が重要ではないか。
郡山	40代	早いうちから、対象児童だけでなく地域みんなで小学校のあり方を考えるのは良いことだと思います。地域の方々みんなが関心、興味を持ち、地域のこれからを考えるきっかけになると思います。
郡山	40代	時間がもうあまり無いと思います。
栄	30代	子どもの数が少なくなってきた為、仕方がないと思います。今までとやり方を変えるのであれば、経験した事がない人（保護者も含め）がほとんどなので、不安や心配を少しでもなくして判断してほしいです。
栄	40代	子どもの成長を考えて、家を建てたり、住む土地を探している人が多いと思うので、計画的に（統廃合するにしても）考えてほしい。

栄	40代	大人の都合（母校をつぶしたくない等）で子供が不利益をうけるようなことはやめて下さい。4校まとめて津波の心配のない地域に新しい校舎をたてたら、だれも文句を言わないのではないかな。
栄	50代	中学に入って初めてクラス替えも経験しました。人数が多いと子供も人との距離をとりやすいのかなと思いました。離れられる年になったのかもしれませんが、人数が増えたおかげもあると思っています。
その他	40代	統廃合はやむ得ないと考えます。資料提示で語られている4校統合が仕方ないと感じました。色々な地域の顔を伺った結果、新しく作る、という事は避けるべきと考えます。しかし、今の進め方は地域の感情を十分に考慮したものではないと考えます。再検証して地元軋轢がなく子供達ファーストの議論をお願い致します。
その他	40代	教育委員会が複式学級や小規模特認校についての今後をどのように考えているのか、長期展望があるのか、現状を把握しているのか、鈴鹿市を全国的な視点でとらえているのか、地域の意見を尊重するのかが、これまでの説明では疑問。
合川	60代	周囲から見た意見もいろいろあるでしょうが、実際小規模校で育ち、広い世界を経験した世代の意見に考えさせられる点がある。いろんな思いをしたのだろうと推察される。大事にされるべきは子供達ではなからうか。
合川	60代	校舎や跡地の取り壊しを前提としない活用ができるよう考えてもらいたいし、地域の要望を充分取り込んだ対応を考えてもらいたい。地域としては非常に重要な問題と考えている。
合川	70代以上	合理性ばかり考えないで、地域に合った心のかよった学校運営をお願いします。鈴鹿市は他市より頑張っていると言われる教育行政を希望します。
天名	50代	小中一貫のメリットはわかりますが、地域コミュニティの核となる地域の学校がなくなることは残念です。存続が難しい状況もわかります。どのような形をとるにしろ、いずれこの地域に帰ってくる子を育ててほしいと思います。
郡山	40代	幼・保・小のつながりを大切に、みんなで天栄地区の子どもたちを育ててほしいです。
郡山	50代	校区の中でも児童数の多い郡山地区でさえ、児童数の減少と学童加入率の高さを肌で感じています。私自身、仕事と家庭で手一杯で、地域イベントの機会さえも参加を見送ることが多く、この件に関しても、どう方向性をもつのがベターなのか、想像がおよびません。
郡山	50代	今回の児童数減少は、天名小、合川小について具体的に問われるアンケートですが、栄小、郡山小も決して他人事ではありません。両校区も子どもの数が減少してきているので、天栄中学校区の地域の問題として、今後も考えていく方が良いのかと思いました。
郡山	50代	天栄中学校区の小学校の児童数が少ない事は認識しています。合川・天名小学校区は地域との関係が深いので地域との関係が薄れることの無いよう配慮が必要です。

郡山	50代	学校を統合するにしても、このまま少子化が進めばそれにも限界が来ます。少子化はピンチでもあります。少ない子供を大切に、認知能力のみでなく非認知能力を伸ばす丁寧な手のかかる教育に改めることにより、ピンチをチャンスに変えられるのではないのでしょうか。10年後、20年後に今の子供たちがAIに負けてしまうことがないような教育を、鈴鹿市の小学校教育から始めて頂けることを期待します。
郡山	50代	小学生以下の子どもを持たない方の本件への関心は少ないだろう。多くの方に天栄中校区の実情を知っていただかなくてはならない。すでに時間がないことも考えれば、自治会の会合や公民館でのサークル活動など、日常の様々な”人の集まる機会”に話題としてもらってはどうか。「他人事」ではないという共通意識が持てれば、「他所へ行ってしまう」不安も少し軽減されるだろう。
郡山	60代	自分が学んだ学校が無くなるのはさびしく思うだろう。何らかの形で学校施設は残して欲しい。
郡山	60代	どの子ども同じように見る事のできる先生がどれだけいるでしょう？良い思いを持っていない小・中生活、何を協力する気になれますか？
郡山	60代	非常に重要かつ難しい事案ですが、まず、子供達の事を第一に考えて、あらゆる面から良い方法を出して下さい。
郡山	70代以上	学校のあり方（統廃合および小中一貫校）の変更に対しては、生徒・子ども達は素早く対応できると思うが、大人社会（PTA、教育委員会含む）の対応が心配です。学校側も積極的に自治会・老人会等と交流するチャンスを、教育を通じてできないものですか？
栄	50代	小中学生の全員の意見を聞くべきでは。
栄	50代	栄小学校の体育館等の施設は市直轄の防災施設として残し、4階建ての校舎も海岸付近の住民からすれば、津波避難先として絶好です。ぜひ、防災施設として残してほしいです。施設管理は、教育委員会から切り離し、防災危機管理部門が行うようにすればよいでしょう。
栄	50代	豊かな自然・地域の人々との関わりが深く、子供を育てるのにはとてもいい環境の所です。子供達の未来のために、こういう地区の学校は残すべきだと思います。その辺を含んで統合するなら、意味のある統合にして欲しいです。
栄	60代	私たちの地域でこのような問題がある事を始めて知り驚いています。
栄	70代以上	なかなか難題です。私どもの年代では想像できないのですが、これから未来を見据えて真剣に考える問題です。なかなか素人が考え及ぶものではないと思います。まずは子供達が平等な教育環境の中で過ごせることを第一に考えて上げてください。



『学校規模適正化・適正配置に関するアンケート調査』用紙

問1 あなたのお住まいの地域をお答えください。(1つに○)

1 合川小学校区 2 美名小学校区 3 郡山小学校区 4 粟小学校区

5 その他(小規模特設校制度、通学区の弾力化、学区外通学の利用者など)

※ 校区が分からない場合はお住まいの町名をお書きください。( )

問2 あなたの年代をお答えください。(1つに○)

1 10代 2 20代 3 30代 4 40代 5 50代 6 60代 7 70代以上

問3 小学校・中学校に就学中、または未就学(小学校進学前)のお子さんはいいますか。(当てはまるところに○)

1 はい → 【 未就学児(小学校進学前) ・ 小学生 ・ 中学生 】

2 いいえ

問4 学校規模適正化・適正配置を考えると、特にどのような教育環境を求めますか。(複数回答可)

1 子ども同士が刺激し合い、学力、体力を高め合うことができる

2 集団の中でいろいろな役割分担を経験できる

3 子どもたちが社会性や協調性を身に付ける機会がある

4 多様な学習形態の授業や指導を受けられることができる

5 学校行事で一人ひとりが主体的に活躍できる場がある

6 一人ひとりに目が行き届いた、きめ細かな指導を受けられることができる

7 子ども同士で活発なコミュニケーションがとれる

8 学校施設、遊具やICT機器など設備の整った場である

9 その他 ( )

問5 児童数が少なく複式学級発生の予測がある小学校について、どうお考えですか。(1つに○)

1 複式学級が発生しないような方法をとるほうがよい → ア のあとに 問6へ

2 そのままでよい → 問6 へ(裏面へ)

ア 具体的にどのような方法が良いと思われますか。(1つに○)

1 学区外からの通学者を増やす方策(小規模特設校制度等)

2 近隣の小学校との統合

3 小中一貫校(中学校も含めた9年間を通した教育)の設置

4 その他 ( )

第2面(裏面)もお答えください。

問6 複式学級に関して、心配なことは何ですか。(複数回答可)

1 教員が少なくなること(2学年で担任は一人)

2 2学年同時に行う授業の方法や指導

3 多面的や発展的な考え方にふれる機会の減少

4 人間関係の固定化

5 中学校への進学時の適応(中1ギャップなど)

6 特にならない

7 その他 ( )

問7 学校のあり方が変わること(統廃合や小中一貫校)に関して、心配なことは何ですか。(複数回答可)

1 子ども同士の関わり(新たな人間関係づくり)

2 子どもと教員の関わり(指導を含む)

3 通学路や通学方法

4 通学する学校の施設や設備

5 地域に学校がなくなること

6 特にならない

7 その他 ( )

問8 子どもたちの教育環境をより良くするために、今後の天栄中学校区の小学校のあり方についてご意見がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

第2面

『学校規模適正化・適正配置に関するアンケート調査』補足説明資料

2019年11月

教育委員会事務局教育政策課

1 今後の児童数について

天名小学校では、住民基本台帳人口では、現在の0歳-1歳が、2年生-3年生になる2026年度から、複式学級※1の発生が予測されます。

合川小学校では、今後の小規模特認校制度の利用者数にもよりますが、住民基本台帳人口では、現在の2歳-3歳は、2年生-3年生になる2024年度から、現在の0歳-1歳は、2年生-3年生になる2026年度から、複式学級の発生が予測されます。

※1 複式学級・・・連続する学年の合計が16人以下（第1学年を含む場合は8人以下）の場合、2つ以上の学年を1つの学級に編制すること。

天栄中学校区4小学校の住民基本台帳人口（0歳～5歳）及び児童数（小1～小6）（人）

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6
栄小	17	19	28	23	32	22	25	28	34	38	36	32
郡山小	21	19	29	27	27	29	35	32	33	48	58	43
天名小	6	7	11	16	12	14	12	13	23	15	18	13
合川小※2	6	8	4	5	13	5	18	14	15	12	25	14

住民基本台帳人口（2019年3月末）、児童数（2019年5月1日）

※2 合川小学校では、2015年度から小規模特認校制度（特色ある教育活動を行う小規模な学校の一層の活性化を図るとともに、市内全域を通学区域として認める制度）を実施し、現在は、全校で30人程の利用者がいます。

2 複式学級について

複式学級になると、2学年に担任は一人となり、2学年の児童は同じ教室で過ごします。一人の指導者で行う授業の方法としては、2学年に同じ内容を指導する場合と2学年にそれぞれ違う内容を指導する場合があります。

また、教科によっては、2学年を分けて別々の教室で指導する事例もあります。複式学級を有する学校の特徴について、他市の事例などから、次のとおりまとめました。

	特徴（一例）
学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりに目が届きやすく、個に応じたきめ細かな指導が行われやすい。</li> <li>○落ちついた雰囲気や授業が進みやすい。</li> <li>○自主的、協力的な学習態度を身につけやすい。</li> <li>○異学年間で相互に考えを伝えあい、学び合える環境にある。</li> <li>○教材や教員が一人ひとりにいきわたりやすい。</li> </ul>
生活面	<ul style="list-style-type: none"> <li>△1時間の授業の中で半分の時間しか直接指導してもらえない教科ができる。</li> <li>△多様な意見を引き出しにくく、授業展開に制約が生じることがある。</li> <li>△班活動やグループ学習や人数の必要な学習活動が成立しない。</li> <li>△学習内容の系統性をふまえた指導が行われにくい場合がある。</li> </ul>
生活面	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりの役割があり、リーダー性が育ちやすい。</li> <li>△人間関係が固定される。</li> <li>△多面的、発展的な考え方を育てにくい。</li> </ul>

生活面	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりの役割があり、リーダー性が育ちやすい。</li> <li>○異学年での協力的な態度を養いやすい。</li> <li>○児童同士、児童と教師の関わりが深く温かい雰囲気形成しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△人間関係が固定される。</li> <li>△多面的、発展的な考え方を育てにくい。</li> <li>△教職員への依存が強くならない。</li> <li>△兄弟姉妹や親戚同士が同じ学級にいる場合がある。</li> </ul>
学校運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員間での共有・連携が図りやすい。</li> <li>○全校児童での行事や活動が行いやすい。</li> <li>○地域や保護者の協力が得られやすく、地域に根ざした活動を行いやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△教育課程を編成し直す必要がある。</li> <li>△教職員の人数が少くない。</li> <li>△教員一人当たりの担当校務が多くなる。</li> <li>△特別な指導技術が求められる複式学級担任経験者が少ない。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域に学校がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△学習内容が複雑なため、転入や転出する児童への対応が困難になる。</li> <li>△保護者の役割や金銭的な負担が大きい。</li> </ul>

3 統廃合について

統廃合は、隣接する学校を統合することによって適正規模を確保するものです。国の手引きや他市の過去の統合事例などから、統廃合において、期待できる効果と想定される課題について次のとおりまとめました。

なお、小学校統合の際には、中学校を含めて、小中一貫校とする事例もあります。その場合には、教育カリキュラムや校種による教員配置などについても考慮する必要があります。

	期待できる効果（一例）	想定される課題（一例）
学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習形態に工夫ができ、班活動やグループ学習が活性化される。</li> <li>・多様な考えに触れる機会が増える。</li> <li>・人数の必要な活動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの人数が増えるので、先生に丁寧に見てもらえないという不安と不満が生じられる。</li> <li>・地域学習の内容が変わる。</li> <li>・教材や施設の使用に制約が出る。</li> </ul>
生活面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同学年の仲間が増える。</li> <li>・クラス替えができる。</li> <li>・一人ひとりの仕事が増える。</li> <li>・自立心が高まる。</li> <li>・複数教員で対応できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化による不安が大きい。</li> <li>・通学方法による安全面や体力面の心配。</li> <li>・子ども間でのトラブルやいじめ、不登校が増えるのではないかと不安が増える。</li> </ul>
学校運営面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事等に活気が出て充実する。</li> <li>・教職員の増加により、効果的な教員配置や校務・業務の分担ができる。</li> <li>・施設の改修等を含め、教育環境を整備できる。</li> <li>・複数学級により、学年間で研修や相談等ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧学校ごとの伝統や文化、行事等をまとめることが難しい。</li> <li>・児童の大きな環境の変化に対応する教職員の不足。</li> <li>・地域、保護者、教職員等の関係を再形成し直す時間がかかる。</li> <li>・校名や校歌の決定、PTA規約や会計の整理などの膨大な諸事務が発生する。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級が解消される。</li> <li>・PTA活動が活性化される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の学校がなくなることや過疎化が進むのではという不安感が増す。</li> </ul>